

第七十五回帝國議會
衆議院
國民優生法案委員會
議錄(速記)第三回

會議

昭和十五年三月十五日(金曜日)午前十時四十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 八木 逸郎君

理事村松 久義君 理事伊藤東一郎君

理事江原 三郎君 理事中野 寅吉君

青木 亮貫君 信太儀右衛門君

西田 郁平君 野方 次郎君

山川頼三郎君 曾和 義式君

世耕 弘一君 伊東 岩男君

杉山元治郎君 田中 養達君

太田 正孝君

三月十四日癩癧防法中改正法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 吉田 茂君

出席政府委員左ノ如シ

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生書記官 床次 徳二君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

厚生技師 青木 延春君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民優生法案(政府提出)

癩癧防法中改正法律案(政府提出)

○八木委員長 是カラ委員會ヲ開キマス

○江原委員 私條文ニ從ツテ疑ヲ質シタイ

第六類第十三號 國民優生法案委員會議錄 第三回 昭和十五年三月十五日

ト思フノデアリマス、政府ノ説明ガアリマシタ時ニ立會ツテ居リマセヌデシタカラ、

若シ私ガ質問スルコトニ付テ既ニ御答辯ガ

アツタモノニ付キマシテハ、追テ速記録ヲ

見マスカラ御答辯ノ必要ハナイト思ヒマス、

ソコデ第四條ニ付テ一寸御伺シタイノデア

リマスガ、第四條ノ括弧ノ中ニ「婚姻ニ依リ

其ノ配偶者ノ家ニ入リタル者ニ在リテハ其

ノ配偶者ノ父母トス以下之ニ同ジ」此ノ意

味ハドウ云フ風ナコトニナリマスガ、是ハ

嫁ニ行ツタ場合ニハ嫁ノ實家ノ父母ノ同意

ヲ要スルト云フコトニナルノカ、ソレトモ

又ドウナ風ナ意味ニナルノカ、一寸疑問ガ

アリマスカラ、之ヲ説明シテ戴キタイト思

ヒマス

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ、第四條

第一項ノ四行目ニアル「婚姻ニ依リ其ノ配

次者ノ家ニ入リタル者ニ在リテハ其ノ配偶

者ノ父母トス以下之ニ同ジ」此ノ事項ニ付

テノ御質問デアリマスガ、嫁ニ參リマシテ

配偶者ノ戸籍ニ入リマシタ者ハ、其ノ配偶

者ノ父母ト云フ意味デアリマス、籍ニ入リ

マシタ其ノ家ノ父母デアリマシテ、實家ノ

父母ハ之ニ當ラナイ意味デゴザイマス

○江原委員 サウスルト其ノ上ニアル「其ノ

家ニ在ル父母」ダケデ十分ノヤウニ思ハレル

ノデスガ、嫁ニ參レバ、嫁ニ行ツタ先ノ家

ニ籍ガ入ル、サウスルト其ノ家ノ父母、即

チ括弧ノ關係デハナシニ、「其ノ家ニ在ル父

母」ト云フ意味デ十分ノヤウニ思ハレルノ

デスガ、殊ニ括弧ヲシテ之ヲ書キマシタ理

由ハ何處ニアルノデスカ

○床次政府委員 只今ノ點デアリマスルガ、

婚姻ニ依リマシテ配偶者ガ其ノ家ニ入リマ

シタ時ニ、配偶者ト例ヘバ配偶者ノ夫ノ父

母ト云フモノトノ關係ガ一應父母ノヤウニ

考ヘラレルノデアリマスガ、併シ當然其ノ

家ニアル父母ト云フ扱ヒニハナラナイノデ

アリマス、夫ノ父母デアリマスケレドモ、

自分ノ父母デハナイ、戸籍上サウ云フ形ニ

ナツテ居リマスノデ、ヤハリ配偶者ノ父母

ヲ此ノ際現ハスニハ括弧ニ入レマシタヤウ

ナ字句ヲ以チマシテ、之ヲ明瞭ニ致シテ置

ク必要ガアルト存ジタノデアリマス

○江原委員 能ク分リマシタ、次ニ今ノ條

デスガ、「前條ノ規定ニ依リ優生手術ヲ受ク

ルコトヲ得ル者心神喪失者ナルトキハ」云々

ト云フコトガアリマスガ、此ノ心神喪失デ

アルカナイカト云フコト、例ヘバ心神喪失

デアル、ナイト云フ争ノ起ルヤウナ場合モ

アルト思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ニ心神喪

失デアアルカナイカト云フコトノ認定權ハ、

是ハ誰ガ御持チニナルノデスカ、之ヲ一ツ

確メテ置キタイト思フノデアリマス

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ「心神喪失

者ナルトキハ」ト云フ風ニナツテ居リマスガ、

心神喪失者ノ認定ハドウスルカト云フ御質

問デアリマスルガ、此ノ手術ノ申請ヲ受ケ

マス際ニハ、先ニ規定モアルノデアリマス

ガ、本人ノ健康診斷書其ノ他關係書類ヲ提

出スルコトニナツテ居ルノデアリマス、第

七條ニアルノデアリマス、此ノ健康診斷書

付託議案
國民優生法案(政府提出)(第九五
號)
癩癧防法中改正法律案(政府提出)
(第一〇四號)

ハ勿論醫師ノ診斷デアリマシテ、此ノ時ニ

本人ガ果シテドウ云フ状態ニアルカト云フ

コトハ能ク調べテ診斷致シマスル關係上、

此ノ者ガ果シテ心神喪失状態デアルカ、或

ハ耗弱ノ状態デアアルカト云フコトハ明瞭ニ

ナルト存ズルノデアリマス

○江原委員 私ハ心神喪失者デアアルカナイ

カノ認定權ハ醫師デハナクテヤハリ知事デ

ヤナイカト思フ、心神喪失者デアアルト云ウ

テ願ガ出タ場合果シテソレガ心神喪失者デ

アルカナイカト云フコトハ、結局知事ガ認

定スル、斯ウ云フコトニナルノデヤナイカ

ト思フ、サウ云フ風ナ場合ニ、私共ガ非常

ニ心配ニナルノハ、斯ウ云フ風ナ問題ニ付

テ能クアリ勝チナ戸主ヲ繞ツテノ財産争ト

云フモノガ起リ易イ場合ガアル、隨テ斯ウ

云フコトヲ考ヘテ見ル時ニ、心神喪失者デ

アルカドウカト云フコトノ認定權ヲ、行政

官廳ノ知事ニ與ヘルト云フコトハドウカト

思フ、行政官廳ノ知事ト云フモノハ兎角財

産關係ノ訴訟事件ト云フモノニ付テハ疎イ、

隨テ之ニ付テハ何等カ訴訟關係ニ付テノ知

識アル裁判所ノ裁判官トカ、或ハ檢事ト云

フヤウナ者ヲヤハリ此ノ認定權ノ中ニ加ヘ

ル必要ガアルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ

私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ

御用意ハドンナデアリマセウカ

○床次政府委員 只今ノ點ニ付テ重ネテ御

質問ヲ戴キマシタガ、心神喪失者デアアル時

ハ一應此ノ手續ニ依ツテ申請致シマスルガ

此ノ申請ヲ受理致シマシタ地方長官ニ於キ

マシテハ、本人ノ状態ニ付キマシテ十分ノ審査ヲ致スノデアリマス、尙ホ此ノ審査ニ付キマシテハ地方長官ガ勝手ニヤルノデハナイノデアリマシテ、茲ニ地方優生審査會ト申シマスル專門家ヲ以テ組織シマシタ審査會ノ意見ヲ聽イテ、決定致スヤウニナツテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ審査會ニ於キマシテハ、只今ノ御質問ガアリマシタヤウニ、判事、檢事、或ハ醫師、醫學者或ハ遺傳學者等ノ專門知識ヲ持ツテ居リマスルモノヲ以テ組織ヲ致シマシテ、十分本人ノ状態ニ付キマシテ專門的立場ニ於テ審査致シマシテ、サウシテ意見ヲ述ベルヤウニナツテ居リマス關係上、本人ガ果シテ心神喪失者デアツタカナカツタカト云フ問題ニ對シマシテハ、正確ナ判斷ヲ下シ得ルト存ズルノデアリマス、特ニ裁判所ノ手續ニ致シテ居リマセスガ、其ノ構成ニ於キマシテハ十分遺憾ノナイ所ノ審査委員ヲ以テ之ニ充テマシテ、是ガ審査上ニ於キマシテ缺陷ノナイヤウニ致シタイト存ズルノデアリマス

○松政府委員 只今床次政府委員カラ御答シタコトデ十分ダト思ヒマスガ、併シナガラ尙ホソレデモ心神喪失ノ狀況ニアルノデアルカドウカト云フヤウナコトガ、爭ニナリマス場合モアラウト思ヒマスカラ、サウ云フ時ニハヤハリ民法ノ第七條ノ規定ニ依リマシテ、オ五ニ等フ方面カラ裁判所ニ向ツテ心神喪失ノ狀況ニアルノダトカ、ナイノダトカ云フ確認ノ訴ヲ起シテ、尙ホ爭フト云フコトハ出來ルダラウト思ヒマスガ、恐ラクソコマデ行カヌデ途中デ解決シヨウト思フノデアリマスガ、併シ最後ニ何處マデモ爭ハナケレバナラヌト云フコトニナレ

バ、此ノ心神喪失ノ狀況ニアルカナイカト云フ點ニ付テハ、裁判所デ判定ヲ受ケルト云フコトガ一番宜イコトダト思フノデアリマス、ソレハ唯御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○江原委員 ヤハリ第四條ノ問題デスガ、此ノ四條ヲ見マス、心神喪失者デアツテ親モナイ、妻モナイ、斯ウ云フ風ナモノニ付テハ心神喪失者ノ後見人ガ假ニ出來マシテモ、後見人及ビ親族會ハ同意ヲスルコトガ出來ルト云フヤウナ規定ニナツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ親モナイ、配偶者モナイ心神喪失者、是ガ男デアル場合ニ於テハ此ノ手續ヲスル必要モ考ヘラレナイノデゴザイマスガ、女デアルヤウナ場合ニ於テハヤハリ考ヘラレルノデアリナカト云フコトガ、想像サレルノデアリマスガ、サウ云フ理由デハハ親モナイ、妻モナイト云フ心神喪失者ダケハ、此ノ適用ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フ建前ニ出來テ居ルノデアリマス、其ノ理由ヲ一寸御説明願ヒタイト思ヒマス

○江原委員 只今ノ御質問ノ場合ニ於キマシテモ此ノ最後ノ項ニアリマスガ、其ノ家ニアル父母ノ同意ガ必要デアリマスガ、其ノ父母ガナカツタト云フ時ニハ、其ノ父母ノドツチカガ一方ヤル、尙ホ其ノ父母ノ一方モナイ時ニハ後見人ガヤル、又後見人ガナカツタ時ニハ戸主ガヤル、戸主ガナカツタ時ニハ親族會ガヤルト云フ風ニ順位ヲ附ケテ順次其ノ意思ヲ表示スルヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ但書ニ於キマシテ特ニ後見人及ビ親族會ト云フモノヲ申請カラ除キマシタノハ、是ハ戸主或ハ親ト云フモノトハ大分後見人、親族會ト云フモノガ立場ガ異ツテ居リマス所ヲ考慮致シタノデアリマス、即チ後見人ニ於キマシテハ必ズシモ身内ノ者デナイコトガ出來ル、又親族會ニ於キマシテモ、直接本人ト餘程關係ノ近い密接デナイ者ガ寄ツテ居リマス關係上、所謂此ノ手術ヲ受ケマスルヤウナ一身ニ關係致シマスコトニ付テ申請ヲ爲スト云フコトニ付キマシテハ、餘リ重要ナ權限デアルノデアリマシテ、今日ニ於キマシテモ後見人、親族會ト云フモノニ付キマシテハ、斯ル一身上ノ重要ナ問題ニ付キマシテ餘リ其ノ權限ヲ與ヘテ居ナイノデアリマス、隨テ本文ニ於キマシテモ同様後見人、親族會ハ申請カラ除キマシテ、同意ダケハヤハリ爲シ得ルヤウニ規定致シタノデアリマス

○江原委員 サウスルト申請ハスルコトガ出來ナイ、同意ダケハ出來ル、斯ウ云フ趣意ニナルノデアリマスガ、サウスルト、ヤハリ親モナイ、ソレカラ妻モナイト云フ者デアツテモ、例外ナシニ苟モ必神喪失者デアル場合ニ於テハ、其ノ關係人ガアレバ、例ヘバ戸主ガアルトカト云フコトナラ、是ハ出來ルト云フコトガ出來ルノデスカ、サウスルト心神喪失者ハ自分竝ニ其ノ關係人ガ此ノ手術ヲ受ケタイト云フ場合ニ、例外ナシニ出來ルト云フ解釋ニナルノデゴザイマスガ

○床次政府委員 普通ノ場合ハ順次申請ヲ爲シ得ルモノガ規定シテアリマスカラ、或ハ父母ガ居リマセデモ戸主ガ爲シ得ル、全然サウ云フ者ガナイ場合ハ、此ノ條文ニ於キマシテハ申請ヲ爲シ得ナイノデアリマスガ、何人カ申請スル者ガ實際問題ニ於テハアリ得ルト思フノデアリマシテ、只今ノヤウナ場合ニ於キマシテハ戸主ガ申請ヲ爲シ

得ルコトニナツテ居リマス

○江原委員 ソレカラ第七條デ「優生手術ノ申請ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ之ヲ爲スベシ」ト云フ此ノ命令案ガ出來テ居リマシタナラバ、後デ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第十條ヲ見ルト「厚生大臣ハ前條ノ申立ヲ受理シタル場合ニ於テ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ之ヲ却下シ申立ヲ理由アリト認ムルトキハ地方長官ノ決定ヲ取消シ且手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否ヲ決定ス」斯ウアルノデス、是ハ大體質問其ノモノガ惡イカモ知レマセスガ、同意ヲ得テ本人ガ承知シテ手術ヲ求ムルノデアリマスカラ、隨テソレニ付テハ知事ノ決定ガ手術ヲシテハ相成ラスト決定シタ時ニ、ソレハ不服デアアルカラト云フノデ厚生大臣ニ不服ノ申立ノ道ヲ求メテ行クノガ當リ前ダト思フノデアリマス、隨テ厚生大臣ガ地方長官ノ決定ヲ取消シテ、サウシテ且ツ優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否ヤト云フノハ、行フベキモノト大體決マルノダラウト思フノデスガ、優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否ヤヲ決定スルト態、否ヤト云フ字ヲ入レタコトハ、立法技術ノ上ニ於テ何カ特ニ用意スベキモノガアツテシタノデアリマセウカ、其ノ點一ツ……

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ第十條ノ中ニアリマス「優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否」ト云フ言葉ニ付テノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、普通ノ場合ニ於キマシテハ任意ノ申請デアリマスカラ、ソレニ對スル決定ニ對シテ異議ノアル場合ハ割合ナイノデアリマス、併シナガラ本文ノ規定ニ於キマシテハ特別ノ場合、即チ非常ニ病氣ガ惡質デアツテ、ドウシテモ之ヲ

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ第十條ノ中ニアリマス「優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否」ト云フ言葉ニ付テノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、普通ノ場合ニ於キマシテハ任意ノ申請デアリマスカラ、ソレニ對スル決定ニ對シテ異議ノアル場合ハ割合ナイノデアリマス、併シナガラ本文ノ規定ニ於キマシテハ特別ノ場合、即チ非常ニ病氣ガ惡質デアツテ、ドウシテモ之ヲ

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ第十條ノ中ニアリマス「優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否」ト云フ言葉ニ付テノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、普通ノ場合ニ於キマシテハ任意ノ申請デアリマスカラ、ソレニ對スル決定ニ對シテ異議ノアル場合ハ割合ナイノデアリマス、併シナガラ本文ノ規定ニ於キマシテハ特別ノ場合、即チ非常ニ病氣ガ惡質デアツテ、ドウシテモ之ヲ

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ第十條ノ中ニアリマス「優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否」ト云フ言葉ニ付テノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、普通ノ場合ニ於キマシテハ任意ノ申請デアリマスカラ、ソレニ對スル決定ニ對シテ異議ノアル場合ハ割合ナイノデアリマス、併シナガラ本文ノ規定ニ於キマシテハ特別ノ場合、即チ非常ニ病氣ガ惡質デアツテ、ドウシテモ之ヲ

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ第十條ノ中ニアリマス「優生手術ヲ行フベキモノト認ムルヤ否」ト云フ言葉ニ付テノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、普通ノ場合ニ於キマシテハ任意ノ申請デアリマスカラ、ソレニ對スル決定ニ對シテ異議ノアル場合ハ割合ナイノデアリマス、併シナガラ本文ノ規定ニ於キマシテハ特別ノ場合、即チ非常ニ病氣ガ惡質デアツテ、ドウシテモ之ヲ

社會的立場から優生目的の達スル上ニ於テ、優生手術ヲ受ケサセナケレバナラナイト云フ必要ノアル者ニ付テハ、特ニ本人ガ申請致サナクモ、本人ノ同意ガ得ラレマセズデモ、之ヲ強制シテ申請スル途ヲ規定シテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合モアリマスノデ、ヤハリ手續上ニ於テ厚生大臣ガ地方長官ノ決定致シマシタ所ヲ其ノ儘承認スル場合モアリマセウシ、或ハ承認シナイ場合モアリ得ルノデアリマス、ソレデ認メナイ場合モ規定致シタノデアリマス、念ノ爲ニ申上ゲマスガ、「行フベキコトヲ認ムルヤ否」ト云フコトハ、實ハ判定ヲ意味シテ居ルノデアリマシテ、直グニ行ヘト云フ意味ノモノデハナイノデアリマス、行フベキモノト認メル疾患ガ、サウ云フ疾患ニ當ツテ居ルト云フ一ツノ判定ヲ現ハシタノデアリマス、ソレカラ先程御尋ガアリマシタ第七條ノ命令ニ付キマシテハ、申請ノ書式、其ノ他ニ付テ命令ヲ以テ規定致シタイト存ズルノデアリマス、書式ニ於キマシテハ餘リ喧シイコトヲ規定致シマセズデ、出來ルダケ申請ニ便利ナヤウニコナラデ書式ヲ作ツテ簡單ニ記入シテ出セルヤウナ様式ニ致シタイト存ズルノデアリマス

○江原委員 第十三條ノ「優生手術ハ厚生大臣又ハ地方長官ノ命令ニ依リ命令ヲ以テ定ムル醫師命令ヲ以テ定ムル場所ニ於テ之ヲ行フ」ト云フ此ノ命令ノ内容ト、又第十五條ノ「優生手術又ハ前條ノ妊娠中絶ニ關スル費用ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ此ノ命令ノ内容ノ御用意ガ今アリマシタナラバ御示ヲ願ヒタイ、又御示願フコトノ必要ノナイヤウナ命令竝ニ命令ガ豫想サレルナラバ、其ノ點ヲ御説明願フテ置キタイト思ヒマス、ソコデ私ハ十七條ニ付テ御尋ヲシテ置キタイノデスガ、十七條ニ依リマスト、「第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外醫師生殖ヲ不能ナラシムル手術若ハ放射線照射又ハ妊娠中絶」云々トアルノデアリマスカラ、隨テ是ハ有ユル場合ヲ含ムダラウト思ヒマス、要スルニ醫者ガ生殖不能ナラシメル手術モ入り、妊娠中絶ノ手術モ入り、有ユル手術ガ入ルノダト思ヒマスガ、前ノ規定カラ考ヘテ來ルト、從來モ惡質ナ患者デアツテ、生殖ヲ不能ナラシメルヤウナ手術ヲ法規ハナクテモ致シテ居ツタ者ガ相當アルヤウニ思フノデス、今度ノ規定ニ依ルト一定ノ組織ノ下ニ一定ノ醫者ニ依ツテ惡質遺傳ヲ防グ手術ヲ受ケルコトガ出來ルノダト規定シテ居ル、ソレハ受ケルコトガ出來ルノダガ、其ノ受ケル場合ニ於テハ斯ウ云フ設備ノ下ニ斯ウ云フ命令ニ依ツテ受ケルノデアル、ソレ以外ノ場合ニ醫者ガヤル時ニ於テハ、是ハ届出ヲシロト云フコトニナツテ居ル、届出ヲシロト云ツタ所デ、届出ノ義務違反ノ場合ニハ罰則ガアルノデアリマスガ、ソレ以外ニハ何ニモアリマセズ、隨テ監督官廳ニ届出ヲサセルコトニシテ居ルノハ、是ハドウ云フ效果ヲ狙ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○床次政府委員 第十三條ニ於ケル命令デゴザイマスガ、第十三條ニ於テ規定スル醫師及ビ場所ニ付キマシテハ、是ガ特殊ナ手術デアリマスノデ、若シ間違等ガアリマシテハ本法ノ施行上甚ダ遺憾デアリマスカラ、十分信頼ノ出來ル醫師ヲシテ之ヲ行ハシメタイ、即チ其ノ方面ニ對シテ特殊ノ技術ヲ持ツテ居ル者ヲ指定シテ、其ノ者ニ行ハセル積リデアリマス、尙ホ手術ニ付キマシテモ消毒其ノ他ニ於テ遺漏ノナイヤウニ、十分設備ノアル場所ニ於テ之ヲ行ヒタイト思フノデアリマス、命令ヲ以テ定メマスノハ、官立病院、道府縣立病院、其ノ他地方長官ニ於テ特ニ十分ノ設備ガアルト認メラレル病院、サウ云フモノヲ指定スル積リデアリマス、ソレカラ第十五條ノ費用ノ關係デアリマスルガ、是ハ命令ヲ以テ規定スルコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ手術自體ハ國家的ノ目的ノ關係デ出來テ居リマスノデ、出來ル限リ國デ費用ヲ持ツベキモノト思フノデアリマス、併シナガラ反面カラ見レバ手術ヲ受ケル者トシテ疾患豫防ト云フ意味ニ於テ、本人モ相當得ル所ガアルノデアリマスカラ、本人ニ負擔セシメテ差支ナイト存ズルノデアリマス、隨テ妊娠中絶ノ場合ニハ負擔能力ガアル場合ニ於キマシテハ、本人ニ負擔セシメルヤウニ致シタイノデアリマス、其ノ他ノ場合、強制申請等ノ場合ニ於キマシテハ勿論國ノ負擔ノ下ニ致シタイト存ズルノデアリマス、ソレカラ第十七條ノ最初ニ「第十三條又ハ第十四條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外醫師生殖ヲ不能ナラシムル手術ヲ行ハントスルトキ」ト云フヤウニ書イデアリマスガ、第十三條、第十四條ト云フノハ本法ノ規定、即チ優生手術ニ依ツテ行ヒマス生殖行為ヲ不能ナラシムルモノ、第十四條ハ茲ニアリマス如ク優生手術ヲ行フベキモノト認メル者ガ妊娠中デアリマシタ時ニ妊娠中絶ヲサシムルモノト云フノデアリマス、是ハ何レモ特殊ノモノデアリマス、普通考ヘラレマスル醫療目的ニ依ル手術ハナイノデアリマス、隨テ

茲ニ「醫師生殖ヲ不能ナラシムル手術若ハ」云々トアリマスノハ、醫師ノ醫療行為トシテ行ヒマスル所ノ手術其ノ他十七條ニ於テ規定シテ居ルノデアリマス、從來斯ウ云フ惡質遺傳疾患ノ防遏ノ爲ニ手術ヲ行ツテ居ツタカドウカト云フ點デアリマスルガ、從來ニ於キマシテハ斯ウ云フ遺傳ヲ防遏スル爲ニ、斯ウ云フ手術ヲ行ヒマシタノハ、先ヅ一般ニハナカラウト思フノデアリマス、從來行ツテ居リマシタノハ、是ハ勿論醫療ノ爲ニ行ツテ居ツタノデアリマシテ、即チ才産ヲスルトソレニ依ツテ非常ニ病症ガ重クナツタ、本人ノ生命ガ危イト云フヤウナ時ニ、妊娠中絶ヲ行ヒマス、又妊娠ヲスルト俄ニ病勢ガ惡化シテ生命ガ危クナルト云フヤウナコトヲ懼レマシテ、豫メ「レントゲン」照射ヲスルト云フヤウナコトガアツタノデアリマス、是ハ勿論醫療ノ目的ニ依ツテ行フノデアリマシテ、是ハ醫者ガ今日正當業務トシテ行フ所ノモノナラデアリマス、十七條ニ於キマシテハ醫者ガ正當業務トシテ行ヒマスル所ノ仕事ヲ、何等制限ショウト云フノデハナイノデアリマシテ、醫者ガ斯ル行為ヲ致シマスル時ニ、豫メ他ノ醫師ノ意見ヲ聽取シ、或ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ニ届出ルト云フコトヲ規定致シタノデアリマス、是ハ本法ニ於キマシテ斯ウ云フ生殖ヲ不能ナラシムル手術ト云フモノニ付キマシテ、非常ニ嚴重ナ手續ヲ致シテ居ルノト對照致シマスルト、從來ハ全然是ハ放任サレテ居ツタノデアリマシテ、其ノ權衡モ果シテドウカト云フ點モアリマスシ、又斯ウ云フ手術ハ人口ノ問題ノ點カラ見マシテ、非常ニ重要ナ手術デアリマシテ、特ニ之ヲ慎

重ナル手續ヲ以テ扱フテ戴クト云フ意味ニ於テ、此處ニ特殊ノ規定ガ出來タノデアリマス、尙ホ斯ウ云フ手術ニ對シテ手續ガ設ケラレコトニ依リマシテ、今後此ノ種ノ手術或ハ處置ト云フモノニ於キマシテ、所謂避妊ト云フヤウナ目的ニ濫用サレルト云フコトモ、併セテ防グコトガ出來ルト思フノデアリマス、サウ云フ目的ニ依リマシテ十七條ハ出來テ居ルノデアリマス

○江原委員 大體政府ノ説明デ稍、分ツテ來タノデアリマスガ、此ノ條文ハ私ハ非常ニ重大ナ條文ダと思フ、要スルニ此ノ立法ノ趣旨ヲ見テモ、人的資源ヲ擴充強化スル此ノ狙ヒガ、私ハ十七條ニアルノデハナイカト思フ、從來ノ例ヲ見ルト、政府ノ説明デモ分ル通り、先ヅ子供ガ澤山出來テハ困ルカラ、一ツ「レントゲン」手術ヲシテ子供ヲ産ムマイト云フヤウナコト、ドウモ孫ト同ジヤウニ親達ガ子供ヲ作ルノモ妙ダカラ「レントゲン」ノ手術ヲ受ケテ、避妊手術ヲシヨウト云フヤウナコトハ、實際ニ於テアル、ソレカラ又刑法上墮胎ハシテハイケナイト云フ規定ガアル、隨テ墮胎ハ普通出來ナイ、スレバ罰セラレル、併シ實際ニ於テハドウカト云フト、醫者ガ之ヲ見テ母體ノ健康上是ハドウシテモ墮胎セシメナクテハナラスト云フヤウニ認定サレタ時ニハ、是ハ墮胎シテモ宜イト云フトガ先ヅ普通常識デ判斷出來ルモノデアリマス、是等幾多ノ問題ガアルノデ、之ヲ要スルニ或ル程度防イデ、サウシテ人的資源ノ擴大強化ヲ圖ラウト云フコトニ、此ノ條文ノ狙ヒガアルノデハナイカト私ハ思フ、其ノ見地カラ之ヲ考ヘテ見ルト、行政官廳ニ届出セシメル目的ト云フモノハ、行政官廳ハ届出ヲ受ケタ

其ノ場合ニ、行政官廳トシテハ官廳ガ指定スル醫者ニ對シテ體ノ必要上生殖不能ナラシムル手術ヲスル、母體ノ必要上妊娠中絶ヲスルノダト云フ醫者ノ意見ガ、官廳ガ指定シタル醫者ノ意見ト違フト云フヤウナコトモ想像ガ付ク、斯ウ云フ風ナ場合ニハ届出ニ依ツテ結局第十六條ニ引掛ケテ行ツテ、故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ハ、之ヲ行フコトヲ得ズ、若シ之ヲ行ツタナラバ十八條ニ依ツテ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處スル云々、斯ウ云フ規定ガアル、此ノ報告義務ヲ持タシタト云フコトハ、結局官廳ハ報告義務ニ基イテ其ノ手術ヲスル機會ヲ知り得ル、又手術ヲシタ機會モ知ル、知ツタ其ノ知識ニ依ツテ果シテソレガ避妊ノ目的ノ爲ニヤツタノデアるか、或ハ又此ノ人口ノ増加ヲ防グ趣旨デ、自ラノ生活ノ享樂ヲ圖ル意味デヤツタノデアるかト云フヤウナコトヲ調査シテ、而シテ若シ故ナクシテヤツタト云フ場合ニ於テハ之ヲ處罰スル、斯ウ云フ風ナ建前デ人口ノ増加ヲ圖ルト云フ風ニ考ヘラレテ、此ノ規定ガ出來テ居ルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、左様ナ意味デ是ハ出來テ居ルノデアリマスガドウカ、御説明ヲ願ヒマス

○床次政府委員 第十六條、第十七條ニ於キマシテハ只今仰セノヤウナ效果ヲ生ジ得ルト存ズルノデアリマシテ、今日マデ濫用セラレルモノガアリマスレバ、サウ云フ濫用ハ斯ウ云フ慎重ナル手續ヲ執ルコトニ依ツテ、防止スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、ソレカラ尙ホ十六條ニ於キマシテハ、從來スル手術ヲ果シテ認メルカドウカト云フコトガ、法文上一寸不明デアリマスノデ、割合ニ十六條ノ手術ヲ輕イ氣持デ以テ受ケ、或ハ之ヲ行フト云フコトガアツタノデハナイカト思フノデアリマス、今回十六條ニ於キマシテハ明ニスル手術ハ故ナクシテ行ヘナイト云フコトヲ規定致シタ關係上、斯ウ云フ手術ヲ行ヒマスニ付キマシテ、十分慎重ナル立場ヲ執ルト思フノデアリマス、其ノ結果往々ニシテ産兒制限等ノ目的ノ爲ニ濫用サレ兼ねテ居ツタ所ノ斯ル手術、或ハ妊娠中絶ト云フモノガ防止セラレ、又之ニ依リマシテ現在健全ナル人口ガ斯ル手術ニ依ツテ減少シツツアル虞ヲナクスルコトニモナリ、此ノ點ニ於キマシテハ所謂優生上ニモ相當效果ヲ擧ゲ得ルモノト思フノデアリマス

○江原委員 只今政府ノ説明ニ依ツテモ明瞭デアリマスガ、斯様ナ目的デヤツタト云フナラバ、實ハ十六條十七條デハ政府ガ考ヘテ居ルヤウナ效果ヲ擧ゲルコトガ出來ナイノデハナイカ、十六條ノ問題ノ場合モ故ナクシタカ、故ガアツタカト云フ問題ニ付テハ結局結論ノ鑑定ハ醫者ガスル、實際素人ガ見テ是ハ避妊ダト云フコトガ分ツテ居ツテモ、醫者ガ見テ是ハ母體ノ健康上下ウシテモ墮胎スル必要ガアツテ醫者ハシタノダ、妊娠ヲ不能ナラシムル手術ヲシタ、生殖不能ナラシムル手術ヲシタ、是ガ若シ妊娠スルコトガアリマシタナラバ、此ノ人ノ健康ニ非常ニ難カシイ問題ガ起ルノデアル、隨テ是ハ故ナクシテヤツタノデハナクテ、故アツテヤツタノダ、斯ウ云フ風ニ醫者ハ必ズ答辯スルニ決ツテ居ル、サウ云フ場合ニ果シテ故ナクヤツタノデアるか、アツテヤツタノデアるか、或ハ人口増殖或ハ産兒制限ガ目的デアるかドウカト云フコトノ判斷ハ、此ノ條文デハ分リツコナイ、結局醫者ガ判斷スルコトニナル、隨テ如何ニコンナ條文ガ出來テ居リマシテモ是ハドウスルコトモ出來ナイト思フ、隨テソレヲ防グト云フコトデアレバ、モウ少シ適確ナ條文ヲ置ク必要ガアルノデハナイカ、之ヲ見マスト云フト結局産兒制限ノ目的ヲ達スルト云フヤウナ趣旨デ之ニ協力シタ醫者ガアリ、ソレハ結局母體ノ健康ガ許サヌトカ、或ハ云云ト云フヤウナ醫學上ノ口實ヲ作ルカラ、此ノ場合ニ今度ハ官廳トシテハ、官廳ガ指定シタル他ノ醫者ニ之ヲ診サセル、他ノ醫者ハ之ヲ診タ場合ニ恐ラク醫者仲間デアルカラ、前ノ醫者ト同ジ意見ニナルト思ヒマス、假ニ違ウ場合、自分ノ見タ所ニ依ツテ、ソレハ理由ニナラヌト言ウテ、醫者二人ノ意見ガ違ツタ場合ニ於テ、是ハ誰ガドチラガ本當デアるかト云フコトヲ判斷スルカ、其ノ判斷ニ付テハ何ノ規定モナイ、此ノ程度ノ規定デアツテハ徒ニ混亂ヲ惹起スルダケデアツテ、目的ヲ達シハシナイノデアルト云フコトヲ私共ハ憂ヘテ居ル、デ御尋スル次第デアリマス

○床次政府委員 只今ハ十七條ニ對シマシテ、此ノ程度ノモノデハ結局醫者ガ判斷ヲ致シマスル關係上、「故ナク」ト云フコトニ對スルコトガ、ヤハリ的確ニ履行出來ナイデハナイカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、其ノ手術ニ當リマシテ豫メ他ノ意見ヲ聽取セシメルコトニ對シマシテハ從來責任ノアル人ガ相當ヤツテ居リマシタノデ、之ニ依ツテ手術ノ慎重ヲ期セラレルト思フノデアリマス、尙ホ届出ト云フコトガアリマスノデ、其ノ點ニ於キマシテモ、從來以上ニ醫者ニ於キマシテハ慎重ニ扱ハレルコトト思フノデアリマス、又第二項ノ行政官廳ガ指

定シマシタ醫師ノ意見ヲ聽カセルト云フコトニ依リマシテ、ヤハリ相當ノ慎重サヲ増サセルコトガ出來ルト思フノデアリマス、之ニ反シマシタルヤウナ場合ガ假ニアリト致シマスレバ、是ハ固ヨリ墮胎罪ナリ、或ハ十六條ノ犯罪ガ起ル場合デアリマシテ、是ハ其ノ方ノ關係ニ於キマシテ、犯罪捜査ノ對象トナリ得ルト思フノデアリマス、併シ他ノ醫師ト雖モ各醫師トシテノ相當ノ責任ヲ持ツテ仕事ヲシテ居ルノデアリマスカラ、意見ヲ聽カレタ場合ニハ、サウ無責任ノコトヲヤルコトハナイト思フノデアリマス、又行政官廳ノ指定致シマシタ醫師ニ致シマシテモ、十分信頼ノ出來ル醫師ヲシテ之ヲ爲サシメルヤウニ致シマスレバ、此ノ程度ノ規定ニ於キマシテ、サウ云フ濫用ヲ防止スルト云フコトノ目的ニハ勿論十分役立ツモノデハナイカト存ジテ居ルノデアリマス

定ハソレガ若シ争ニナレバ、結局犯罪捜査ノ目的物ニナラウト思フ、犯罪ノ對象トナラウト思フ、サウスルト結局司法處分ニ依ツテ是ハ裁判ニ廻サレルカ、或ハ檢事ノ手デ捜査シテ有罪、無罪ヲ決定スルカト云フコトニマデ、進展シナケレバナルマイト思ヒマス、其ノ場合ニ於テ御承知ノ通り刑法ニ「故ナク」ト云フ文字ヲ使ウタ場合ガ幾ラモアル、例ヘバ住居侵入罪ノ百三十條ニ「故ナク」或ハ百三十一條ニ皇居禁苑等ニ侵入スル場合ニ「故ナク」、祕密ヲ侵シタ罪ノ百三十三條ニ「故ナク」ト云フ文字ガアル、丁度此ノ解釋ノ實地ノ運用ト同ジヤウニ行カナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、ソコマデ行クト云フコトニナレバ、只今御話ノヤウナ疑ハ解消スルト思ヒマスケレドモ、併シソコマデ行カナクトモ、只今他ノ政府委員カラ御答致シマシタヤウナコトデ、大概ツヅメハ付カウト思フノデアリマスルカラ、其ノ邊デ一ツ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

トハ私ハドウカト思フ、權限ガアツテヤルノナラ宜イガ、權限ガナイノニヤル、要スルニ權限ヲ逸脱シタルコトヲヤル、權限ヲ逸脱シタルコトヲヤルノデナケレバ、此ノ目的ヲ達シナイ、法規ニハ規定ガナイ、報告義務ダケデアアル、報告義務ヲ楯ニ執ツテイヤガラセヤル、犯罪捜査ニ強制力ヲ用ユル、而シテ結論ハ無罪デアアル、斯ウ云フ武器ヲ使ツテ人的資源ノ擴大ヲ圖ルト云フコトハドウカト思フ、マトモニ法律ガ規定サレテ、サウシタルナラ格別、本當ノ的確ナル法律ハ規定セラレズニ、報告義務ダケヲ規定シテ置イテ、サウシテ搦手カラ強力ナ犯罪捜査ノ方法ヲ用ユルト云フコトニシテ、醫者ガ現在ヤウテ居ルヤウナコトヲサセマイトスル、私ハ斯ウ云フ法律ノ建前ハドウカト思フ、之ヲ強ヒテ此ノ法律ノ目的ヲ達セシメルト云フコトニナルト、社會問題トシテ、又大キナ問題ガ起ルト思フ、人的資源ノ擴大ヲ期スルコトハ御尤モデアアル、併シ一面ニ於テ此ノ法律ヲ履行スルト云フト、私生子ノ増加ヲスルコトハ火ヲ賭ルヨリ明デアリマス、人的資源ノ擴大ヲ期スルコトハ、日本ノ國家上最モ必要ナコトデアリマス、併シ私生子ノ數ヲ殖ヤスト云フコトハ、是ハ國家トシテ人的資源ノ殖エルト云フ意味カラ見レバ、或ハ宜イカモ知レマセスケレドモ、其ノ生マレマシタ子供ハ、是ハ決シテ罪ハナイ、親達ハ罪ガアルダラウガ、子ニハ罪ガカイ、斯ウ云フ所ノ私生子ヲドン／＼殖ヤスト云フ結論ニナル、要スルニ生レナガラニシテモウ既ニ不幸ナ環境ニ立ツテ、サウシテ世ノ中ニ處シテ行カナケレバナラヌ此ノ私生子ノ數ヲドン／＼殖ヤスト云フコトニ一面ナル、斯ウ云フヤウナ問題ト絡ミ合ツ

テ見タ時ニハ、此ノ十七條ノ條文ハ果シテ適當デアアルカ、不備デアアルカト云フコトニ付テ私共ハ非常ナ疑問ヲ持ツ、人的資源ノ擴大ハ結構デアリマスガ、同時ニ私生子ガ殖エテ來ルト云フコトマデ助長スル必要ハナイ、ソレハ餘リニ可哀相デアアル、斯ウ云フコトハ私ハ餘程研究スベキ問題デハナイカト思フノデス、是等ノ點ニ付テ、政府デ考ヘラレテ居ルコトヲ一應伺ツテ置キタイト思ヒマス

○一松政府委員 只今御質問ノコトハ二ツニ分レテ居ルヤウニ思フ、第一ハ詰リ斯ウ云フ法文ヲ拵ヘテ、犯罪捜査ノ對象ニシテ、サウシテ醫者ヲ威嚇スルヤウナ結果ニナリハシナイカト云フコトガ、今一ツハ法文ヲ餘リ履行スレバ私生子ト云フモノガ餘程殖エテ來ル、其ノ私生子ニ對シテハ洵ニ氣ノ毒ダト云フコトニナル、之ニ付テ政府ハドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ御趣旨ノヤウニ拜聽シタルデアリマス、第一ノ御質問ニ對シテ御答致シマスガ、結局手術ヲ行フ醫者ノ信用問題デス、アノ病院ハ何時モドウモ斯ウ云フコトバカリシテ、名ヲ適法ナル手術ニ藉リテ其ノ實墮胎ヲシテ居ルヤウナモノダト云フコトガ、投書ナリ密告ナリ或ハ其ノ他ノ事實等ニ依ツテ、頻々トシテ是ガ社會ノ耳目ヲ聳動スルヤウナ風評ガ顯著ニナリマシタ時ニハ、ソレハ第十七條ノ二項ニアリマス所謂指定シタル醫師ノ意見ヲ更ニ聽取シテ、此ノ申請ニ對スル醫師ノ届出ガ適當デアアルカドウカヲ判斷シテ、世ノ中ノ色々ナ風評ト符節ヲ合ハスヤウニナルノカ、或ハソレハ唯一片ノ風評デ、眞實手術ノ届ハ適正ナモノデアツタカト云フコトヲ判斷シテ、慎重ニヤルコトニナラウト

定シマシタ醫師ノ意見ヲ聽カセルト云フコトニ依リマシテ、ヤハリ相當ノ慎重サヲ増サセルコトガ出來ルト思フノデアリマス、之ニ反シマシタルヤウナ場合ガ假ニアリト致シマスレバ、是ハ固ヨリ墮胎罪ナリ、或ハ十六條ノ犯罪ガ起ル場合デアリマシテ、是ハ其ノ方ノ關係ニ於キマシテ、犯罪捜査ノ對象トナリ得ルト思フノデアリマス、併シ他ノ醫師ト雖モ各醫師トシテノ相當ノ責任ヲ持ツテ仕事ヲシテ居ルノデアリマスカラ、意見ヲ聽カレタ場合ニハ、サウ無責任ノコトヲヤルコトハナイト思フノデアリマス、又行政官廳ノ指定致シマシタ醫師ニ致シマシテモ、十分信頼ノ出來ル醫師ヲシテ之ヲ爲サシメルヤウニ致シマスレバ、此ノ程度ノ規定ニ於キマシテ、サウ云フ濫用ヲ防止スルト云フコトノ目的ニハ勿論十分役立ツモノデハナイカト存ジテ居ルノデアリマス

○江原委員 實際現在アル墮胎罪ノ問題デスラ、醫者ガ母體ノ健康上必要デアルト認メタノデ避妊手術ヲ受ケタト言ヘバ、墮胎罪ハ成立シナイ、ドウスルコトモ出來ナイ狀況ニ現在アル、墮胎罪ニ付テスラサウナノデス、然ルニ此ノ條文ニ依ルニ、唯届出ヲサスダケデアリマス、届出ヲサシタ場合ニ、届出ヲ受取ツタ官廳ハドウシヨウトスルノデアアルカ、届出ヲ受取ツタ時ニハ、ドウ云フ手續ヲ執ツテ、ドウ云フ捜査ヲシテ、ドウ云フ拘束力ヲ與ヘヨウトスルノデアアルカ、ドウモ此ノ届出義務ヲ認メタダケハ私共ハ分ラナイ、別ニ何カ此ノ點ニ付テ用意サレタモノガアルカ、一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フ

○江原委員 ダカラ私ハ心配スル、私モ左様ナ答辯ガアルノデアラウト云フコトヲ豫想シテ居ツタ、サウスルト結局此ノ報告義務ヲ持ツテ、之ヲ原因ニシテ犯罪捜査ノ手續ニスル、是ダケヲ規定スル、是ダケノ手續ヲ以テ醫者ニ向ツテ威カス、患者ニ向ツテ威カス、斯ウ云フコトヲヤル、マトモノ規定ガアツテヤルノデハナイ、マトモノ規定ハナイ、マトモノ規定ハ報告義務ダケデアアル、報告義務ヲ持ツタダケデ、後ハマトモノノ規定ニ依ラズシテ官廳ハ威カシヲシテ居ルヤウニ思フ、犯罪捜査ノ上ニ於テモ是ハ必ズヤルト思フ、要スルニ醫者ニ對スルイヤガラセヤル、イヤガラセヤルト云フコ

○一松政府委員 只今御質問ハ御尤モナ御質問ダト私ハ思フノデスガ、所ガ其ノ判

思フノデアリマス、要スルニ是ハ醫者ノ信用問題デアリマス、非常ナ立派ナ信用ノアル醫者ガ必要ナリトシテ居ケテ居ル時ニ、故ナクヤツタノデハナカラウカト言ウテ、直チニ其ノ醫者ヲ司法警察ト手ヲ合ハセテ、喚ビ出シテ威嚇スルトカ、恐喝スルト云フコトハアリ得ベカラザル事デアアル、併シ非常ナ暴君ガ出テ、サウ云フコトヲヤル場合ガナイトモ限リマスマイケレドモ、此ノ法案ノ建前ハサウ云フ意味デハナクシテ、唯故ナク生殖ヲ不能ナラシメルコトハ出来ナイゾト云フコトヲ規定シテ趣旨デアリマス、其ノ點ハ政府ヲ御信賴願ヒタイノデアリマス、若シ御説ノヤウニ斯ウ云フコトニ御心配ヲシテ戴キマスルト、ドノ法文ノ適用ニデモ皆サウ云フヤウニ御心配ニナルノデアリマス、是ハ運用ノ上ニ十分注意ヲ加ヘマシテ、成ダケ左様ナコトノナイヤウニ考慮シナケレバナラス、是ハ行政官廳トシテ當然爲スベキ手續デアラウト思ヒマスカラ、其ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ今一ツ、斯ウ云フコトヲシテ、醫者ニ對シテ或ル威壓ヲ加ヘルコトニナツテ來ルト、私生兒ガ段々殖エテ來ルト云フ御話ハ、威壓ヲ加ヘナイト私生兒ガ段々減ツテ來ルト云フヤウニモ私ハ拜聴シマシタ、ソレハ間違ヒカモ知レマセヌガ、サウスルト成ダケ私生兒ヲ生マナイヤウニ、所謂手術デ闇カラ闇ニ葬ルガ宜イデハナイカト云フ風ニモ受取レルノデアリマス、御質問ノ趣旨ハサウデナカラウト思ヒマスガ、サウ云フコトニナルコトハ即チ人的資源ノ上カラ餘程憂慮スベキコトデアアル、一面アナタノ御説ノヤウニ、私生兒ガ殖エテ父無シ兒ト世ノ中カラ擯斥

ヲ受ケ、世ノ中ニ出テマトモニ向イテ歩ケナイヤウナ非常ニ同情スベキ人ノ數ガ、年々歳々殖エテ居ルト云フコトハ、私共アナタト全ク同一ノ考ヲ持ツテ居リマス、私自身ガ代議士ニ當選シテ以來、常ニ此ノ私生兒ノ名稱ヲ變ヘテ、何トカシテ斯ウ云フ人ヲ不幸ナ境遇カラ救ヒ出シタイト云フ立場ニ居ツテ、殆ド毎年ノヤウニ私生兒ノ名稱ニ關スル法律案ヲ出シテ居ルコトハ、アナタノ御承知ノ通りデアリマス、何トカシテ斯ウ云フ人ノ不幸ヲ少シデモ少クシテヤリタイト、實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、少クシテヤリタイガ爲ニ、成ダケ私生兒ノ澤山生レナイヤウニ闇カラ闇ヘト云フコトニ付テハ是ハドウカト思フノデアリマスガ、政府ハ私生兒ニ對シテ同情ヲ持ツテ居ラスト云フコトデハ少シモアリマセヌ、私生兒ダトモ立派ニ之ヲ保護シテ、陛下ノ赤子トシテ發育シ、世ノ爲ニ働イテ貰ハナケレバナラスノデアリマス、此ノ法文ト私生兒トノ關係ニ付キマシテ、此ノ法文ガアルガ故ニ、私生兒ガ殖エルノダト云フコトハ、少シハ關係ガアルヤウデアリマスケレドモ、直チニ之ト牽聯シテ私生兒ノ數ヲ減ゼシメルト云フ政策ニマデ、此ノ法文ヲ——言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、活用スルコトハ如何カト思ヒマスカラ、其ノ邊ハ一ツ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○江原委員 政府ノ狙ヒガ其ノ程度ノモノデアレバ、私ハ第十六條ダケ十分デアツテ、第十七條ト云フモノハナクテモ宜イノデハナイカト考ヘラレル、届出義務ヲ故ラニココヘ持ツテ來ナイデモ宜イ、第十六條ノ條文デ「故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ハ之ヲ行フコトヲ得ズ」ト云ツテ之ヲ罰シテ居リ、一面ニ於テ又妊娠中絶ノ場合ハ刑法上ニ於テ處罰ガアルノデアアルカラ、此ノ二ツノ條文ヲ睨ミ合セテヤレバ、故ラニ此ノ届出義務ト云フモノヲ豫想シテ、官廳ヘ書類ヲ届ケサセ、受付ヲスルト云フ程度ノコトハ要ラナイ、實際政治ヲ行フ上ニ於テ、ソレヲ宜イ方ニ運用サレレバ宜イノデアアルガ、惡イ方ニ運用サレ勝チナモノデアアル、良イ方面ニ運用サレルニハ、更ニ進ンデ届出義務ヲ認メタ時ニハ、斯ウ云フ場合ハ斯ウスル、アア云フ場合ニハアアスルト云規定ヲ玆ニ置クノデアレバ、此ノ條文ハ置イタ方が宜イ、例ヘバ意見ノ相違ガアツタ時ニハ斯ウスルト云フコトガ入ツテ居レバ別ダト思フノデアリマスガ、ソコマデ狙ツテナイノデアアルカラ、私ハ此ノ第十七條ノ條文ハ却テナイ方が宜イト思ヒマス、ソレデモ十分此ノ法律ノ目的ハ達シ得ルノデハナイカ、却テ其ノ方が「スミール」ニ行クノデハナイカ、而シテ其ノ目的ヲ本當ニ達シ得ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ届出義務ヲ置イタコトニ依ツテ、人口ノ増加ヲ圖ルコトモ必要デアアルガ、本當ニ人口ノ増加ヲ圖ルニハ、他ニモ十分方法ガアラウト思フ、私共ノ聞イタ範圍デハ、ドウモ政府デハ最近人間ヲ殖サナクテハイカヌト云ツテ居ルケレドモ、吾々小役人ハ月給ハ少イ、生活モ碌ニ出來ナイノデアアルカラ、殖セト云ツテモ殖ヤセナイト云フコトモ言ウテ居ル、有エル方面ヲ見ルト、此ノ法規ニ依ツテ殖ヤスヨリモ、更ニ人的資源ノ擴大ヲ政治ノ上ニ於テ、經濟組織ニ於テ圖ル方法ハ十分ニアル、ソレデ十分デハナイカ、更ニ届出義務ヲ持タシタコトニ依ツテ、人的資源ノ擴大ヲスルコト

ニ努力ヲスルト云フ法規ノ建前ハドウカト思ヒマス、是ハ一ツ重ネテ執拗イヤウデアリマスガ、御意見ヲ伺ツテ置キマス

○一松政府委員 只今御説ノヤウニ成程十六條ノ一條ガアレバ、後ハ要ラナイト云フコトモ御尤モノ御質問ダト思フ、併シナガラ故ナクト云フコトニ對シマシテ、然ラバドウ云フ時ガ故ガアルノカ、又故ノアルヤウニスルニハドウウスレバ故ガアルト見テ貰フノカト云フコトニ付キマシテ、手術ヲ致シマスル醫者ニ安心ヲシテヤラセルノニハ、相當ノ手續規定ヲ設ケタ方が、此ノ運用ノ上ニ於テ宜カラウ、其ノ意味デ設ケタノデアリマス、今アナタノ仰シヤルヤウニ、ソレモ要ラヌデヤナイカ、故ガアルカナイカハ其ノ時々ニ依ツテ判斷スレバ宜イデヤナイカト言ヘバ、ソレマデアリマス、併シ或ル一ツノ原則ノ法律ガアルト、ソレヲ運用スル時ニハ細則ト云フモノヲ拵ヘテ運用スルト同ジヤウナ精神カラ、特ニ慎重ヲ期スル爲ニ第十七條ノ規定ヲ設ケタノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此ノ點ニ對シマシテハ、床次政府委員カラ更ニ御答ガアラウト存ジマス

○床次政府委員 只今政務次官カラ御話ガゴザイマシタガ、刑法ノ墮胎罪ノ規定、竝ニ今回ノ十六條ノ規定ダケデアリマス、斯ル手術或ハ妊娠中絶ト云フコトノ禁止ガ強ク響キマシテ、斯ル手術ヲ行ヒマスノニハドウ云フ時ニ出來ルノカ、一寸疑問ノ場合ニハ中止セザルヲ得ナイ立場ニナルト思フノデアリマス、其ノ時ニ第十七條ノ如キ規定ガアリマスレバ、自分ノ意見ダケデハ決メズニ、他ノ醫師ノ意見ヲ聽イテ届ケテ置クト云フコトニナリマスカラ、安心シテ

必要ト信ズル所ノ手術ヲ行フコト、此ノ點ハ寧ロ積極的ナ利益ガアルノト、尙ホ半面ニ於キマシテ濫用ノ結果ニ於テ防止出來ルト云フ便宜ガアルノデアリマス、此ノ規定ガアル方ガ實際運用上ニ於テ便利デアルト云フ點ニ付テハ、只今政務次官ヨリ御答申上ダタ通りデアリマス

○江原委員 私ノ本日ノ質問ハ是デ打切ツテ置キマス

○八木委員長 デハ世耕君

○世耕委員 私ハ簡單デスカラ其ノ御積リデ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、便宜上斯ウ云フ用語ヲ使ハシテ戴キタイト思フノデス、精神的ノ不具、體質的ノ不具、斯ウ二ツニ分ケマシテ、更ニ先天的ノ不具ト所謂後天的ノ不具トアル、昨日ノ局長サンノ御説明ハ主トシテ先天的ト云フ建前カラ御話ガアツタヤウニ私諒解致シマシタガ、或ハ私ノ聽キ間違ヒカモ分リマセヌガ、先天的ノ不具モ後天的ノ不具モ原因ハ自ラ一ツニ歸スルダラウト思フノデスガ、其ノ原因除去ノ方法如何ト云フ問題ヲ一ツ御聽キシタイト思フノデス、例ヘバ先天的後天的ノ外ニ更ニ現在不具ノ狀態ニナリツツアル者、所謂加療可能ナモノ、斯ウ云フモノニ對シテドウ云フヤウナ取扱ヲシテ居ルカト云フコト、モウ一點ハ統計ヲ戴イテ居リマスガ、其ノ統計ニ依ツテ調べテ見マス、精神病院ノ數ハ公立ガ十二、私立ガ百四十二トナツテ居リマス、收容人員ガ公立ノ方ガ三千百四十四デ、私立ノ方ガ一万八千六百五十五ト云フコトニナツテ居リマスガ、斯ウ考ヘテ見マス、精神病者ノ加療取扱ニ對シ政府ノ態度ハドウ云フヤウナヤリ方ヲシテ居ルカ、殆ド是ハ私立病院任セデヤナイカト云フ感ヲ持ツノデス、

若シ私立病院任セデアルトシテモ宜シウゴザイマスガ、此ノ精神病者ノ治療方法ノ點ニ付テ政府ガ力ヲ入レテ居ルトスレバ、私立病院ニドノ程度ノ補助ヲシテ居ルカ、先ツ此ノ二點ヲ伺ツテ置キマス

○高野政府委員 精神病ト申シマス、腦神經方面ノ不具、身體方面ノ不具、此ノ二ツニ分ケマシテ、其ノ兩者ニ先天性ノモノト後天性ノモノガアラウト云フ御話デアリマス、其ノ通りト心得マス、此ノ制度ニ於テ考ヘテ居リマスノハ全部先天性ノモノノミヲ考ヘルノデアリマス、詰リ遺傳ノ關係ガアツテ發病スル、斯ウ云フ譯デゴザイマスカラ、之ヲ豫防スル爲ニハ其ノ根本ノ原因、即チ遺傳ノ素因ヲ排除クト云フ以外ニハ、根本ノ方針ハナイ譯デゴザイマス、所ガ身體ノ中カラ其ノ遺傳ノ惡イ素因ダケヲ抜イテ他ノ部分ヲ其ノ儘殘シテ置クト云フ方ノ手術ハ、是ハモウ今ノ間ハ絕對ニ出來ナイコトデゴザイマス、左様ナ譯デ、詰リ惡質ノ素因ノ著シキモノヲ持ツテ居ルモノハ、子孫ヲ造ラナイヤウニスルコトガ、斯様ナ疾病豫防ノ一ツノ實際的ノ方法デゴザイマセウ、斯ウ云フ趣意カラ此ノ制度ガ考ヘラレタノデゴザイマス、ソレカラ精神病院ノ大部分ガ私立デゴザイマシテ、公立ガ極メテ少イト仰セラレタノハ、其ノ通りノ事實デゴザイマス、精神病院法ガアリマシテ、本來カラ申シマス、府縣立、即チ公立ノ精神病院ガ少クトモ全國ノ各府縣一箇所以上相當ノモノガアルベキデゴザイマス、然ルニ此ノ精神病院法ニ依リマス施設ガ、今マデ十分發達致シマセナカツタノハ、是ハ日本ノ特色ノ實情カラ斯ウ云フ結果ニナツタノデアリマスガ、詰リ傳染性ノ病氣等ノ防遏豫防

等ニ主力ヲ盡シテ居リマシテ、傳染病デナイ遺傳ヲ主トスル疾病ト云フモノガ、其ノ對策ガ遅レテ居リマシタ結果デアリマシテ、此ノ點甚ダ遺憾デアリマスカラ、段々ト公立精神病院ノ擴充ヲ期シテ、多少ノ計畫ヲ既ニ來年度ノ豫算ノ中ニモ入レテ居ル次第デゴザイマス、但シ私立病院ト申シマシテモ公立ノ性質ヲ少シモ持ツテ居ラヌ意味デハアリマセヌデ、精神病院法ノ中ニ代用精神病院ト云フ規定ガアリマス、即チ公立ノ足リマセヌ場合ニ私立ノ病院ヲ以テマシテ公立ニ代用致シマス、其ノ代用致シマシタ精神病院ニハ是ハ相當ノ國庫補助ヲ致スコトニナツテ居リマス、府縣ノ負擔ノ六分ノ一ヲ國庫ラ支出シテ居リマス、代用精神病院ノ其ノ代用ノ範圍ニ於テ、患者ノ費用ハ縣ガ出シテ居ル譯デアリマス、其ノ縣ノ負擔ニ向ツテ國庫ガ六分ノ一ノ補助ヲ致シマス

○世耕委員 此ノ病院ニ對スル十五年度ノ新シイ豫算ト云フノハ、凡ソドレ位デゴザイマス、若シ御差支ナカツタラ御發表願ヒタイ

○高野政府委員 從來國庫ノ支出トシマシテ僅ニ一万八千圓ト云フ補助額ガ長イ間附イテ居リマシタノデスガ、明年度ニ於テハ其ノ額ヲ増シマシテ七萬圓程ノ支出ニ致シタイ、極メテ少イト感ジテ居リマス

○世耕委員 練達堪能ナ一松政府委員ガ厚生省ニ居ラレルノデスカラ、此ノ點ハ特ニ御盡力下サイマシテ、斯ウ云フ設備ニ對シテモ遺憾ナキヤウ期シテ戴キタイト思ヒマス、尙ホ精神病院ノ全貌ヲ見マシテモ、今ノヤウナ狀態デアリマスガ、之ヲモウ一步進メテ官立ノ精神病院ヲ建テルト云フ意氣込ハアリマセヌデスカ、ソレモ序デニ御尋

シテ置キマス、尙ホモウ一ツハ精神病ノ遺傳性ヲ調べテ見マス、其ノ素因ガ幾通りモアルヤウデゴザイマス、只今局長サンカ、ラ先天的ノ分ダケヲ去勢スルトカ、或ハ優生法ニ依ツテ適用スルノダト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、無論其ノ素因ヲ防止シナケレバ意義ガナイト思フノデス、素因ニ付テハ此處ニ酒精中毒トカ或ハ其ノ他色ナル例ガ出テ居リマスガ、サウ云フ素因除去ト云フコトニ付テ、ドウ云フヤウナ御考ヲ持ツテ居リマス、モツト何カ積極的ナ御計畫ガアルカドウカ伺ヒタイ

○高野政府委員 先程申上ゲマシタ國庫補助ニ付テ、或ハ私ノ申上ゲ様ガ少シ足りナカツタカト存ジマスガ、一万八千圓ト申シ七萬圓ト申シマシタノハ、病院ノ建設費ノ補助ダケデアリマシテ、經常費ニ對スル補助ハ其ノ外デゴザイマス

○世耕委員 幾ラ位デゴザイマス、カ

○高野政府委員 後程數字ヲ申上ゲマス、官立ノ精神病院ハ只今ノ所マダ計畫ハ熟シテ居リマセヌガ、但シ此ノ性質ヲ帶ビタモノハ多少アリマス、例ヘバ軍事保護院ニ於キマシテ出征軍人ニシテ精神病ニ罹リマシタ者ヲ收容スルトカ、結核療養所ノ如クニ即チ國立ノ精神病院ニ收容スルコトニナツテ居リマス、又官立帝國大學等ニモ、是ハ學校ノ設備デアリマスガ、官立ノ精神病院ガアルノデアリマス、ケレドモ一般國民ニ對スル官立ノ精神病院ニ付キマシテハ、是ハ丁度結核ニ對スル國立ノ施設ガ必要デアル如クニ、研究ヲ致サネバナラヌト存ジマス、國立ノ精神病院ヲ設ケマスレバ、國民ノ中ノ如何ナル性質ノ者ヲ容レルカ、各公立ノ精神病院ニ於キマ

シテ持餘スヤウナ特別惡質ノ者デモ國ガ受
取リマシテ、之ニ對シテ特別ノ保護ヲ
スルトカ、特別ノ治療ヲ加ヘル、斯ウ云フ
特殊ノ目的ヲ以テ作ラルベキモノデアラウ
ト考ヘテ、研究致シテ居ル次第アリマス、
ソレカラ只今遺傳性ノ精神病ノ素因ヲ除
クト云フコトノ御尋デゴザイマスガ、先程
モ實ハ申上ゲタ積リデアリマシタガ、環境
ノ改善等ニ依ツテ、精神病ノ誘因ヲ除クコ
トハ固ヨリ是ハ出來ルコトデアリマス、又
精神病ノ中ノ外界カラノ原因ニ依リマスル
者、只今御述ニナリマシタ「アルコール」中
毒、是ハ酒ヲ飲ミマセスケレバ「アルコール」
中、中毒ニナラヌ譯デゴザイマスカラ、禁
酒ノ徹底ヲ期スルト云フヤウナ意味ニ於
テ、之ヲ豫防スルコトガ出來ルト思ヒマス、
又精神病ノ原因ノ可ナリノ部分ガ微毒ニ依
リマスノデ、斯様ナ者モ除キ得ルト思ヒマ
ス、又他ノ色々ノ急性傳染病等ノ結果、精
神異常ヲ來ス者ナドモアリマスノデ、斯様
ナ所謂後天性ノモノデゴザイマスレバ、各
般ノ豫防施設ヲ十分講ジ得ル譯デゴザイマ
ス、何ト致シマシテモ内的原因ニ依ツテ發
生スル精神病ハ、詰リ生レナガラニシテサ
ウナザルヲ得ヌヤウナ、何ト申シマスガ
運命ト申シテ宜シウゴザイマセウカ、ソレ
ヲ身體ノ中ニ持ツテ來タノデアリマスカラ、
其ノ遺傳的原因ヲ各個人カラ除キ去ルト云
フコトハ、ドウモ只今ノ所不可能デハナイ
カ、仍テ斯ウ云フ優生制度ニナル次第デゴ
ザイマス

カラ、此ノ點御含置キヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、尙ホ二點簡單ニ御伺シタイノハ、歐洲
大戰當時モ可ナリアリマシタガ、戰爭ニ因
ル精神病者ト云フノガ可ナリ多クツタノデ
アリマス、今度ノ支那事變ヲ通ジテサウ云
フ者ハ出ナカツタカ、若シアルトスレバド
ウ云フ取扱ヲシテ居ルカ、差支ガアレバ數
ナドハ御發表ニナラナクテモ宜イト思ヒマ
ス、尙ホモウ一點法文上ノ問題ニ付テ御尋
致シタイコトハ、先程他ノ委員カラモ御質
問ガアツタト思ヒマスガ、此ノ優生ノ手
術ヲ爲ス場合ノ醫師ノ指定方法デス、唯何
何病院ハ相當設備ガ完全ダカラ委嘱スルト
云フノデナシニ、ドノ病院ノドノ醫師ガ專
門ノデアルカラ、之ニドウ云フヤウナ手術
ヲスルコトヲ許スト云フヤウナコトヲ、豫
メ指定シテ置ク方法モアラウト思フノデ
ス、サウスルト餘程危險性ガ除去サレルト
思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付テ何ガ御考ガ
アルカ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○高野政府委員 第一點ニ付テ先ヅ御答ヲ
申上ゲマス、歐羅巴ノ軍隊ニハ戰爭ニ際シ
テ戰爭精神病ト云フモノガ澤山出タト云フ
コトデアリマスガ、我國ノ軍人ハ素質優秀
デゴザイマシテ、精神特ニ健全デアル結果、
其ノ方面ノ患者ハ少イデアラウト云フコト
ヲ期待シテ居リマス、又サウ多クナイヤウ
ニ伺ツテ居リマスガ、實際ノ數字ハ存ジマ
セヌ、此ノ患者ハ一應陸軍ノ病院ニ於テ十
分ナル治療ヲ受ケテ居ルヤウニ承ツテ居リ
マス、又除役ニナリマシタ際ニハ、軍事保
護院ノ中ニ精神病舍ガ既ニ出來ツツアル譯
デゴザイマス

○床次政府委員 手術ヲ行ヒマス醫師ト場
所ニ付キマシテノ御質問デアリマスガ、是

ハ仰セノ通り具體的ニ豫メ指定シテ置キタ
イト思ヒマス、一府縣ニ二三人豫メ指定シ
テ、其ノ中カラ選ブト云フコトニ致シタイ
ト思ヒマス、尙ホ特別ノ場合ハ具體的ニ醫
師誰々、尙ホ場所モ何處デ何時ヤルト云フ
コトマデ致シ得ルヤウニ致シタイト思ヒマ
ス

○世耕委員 素因除去ト云フ問題ニ對シテ
ハ、現在ノ厚生省ガマダ出來テカラ間モナ
イ關係モアリマスカラ十分デナイト思ヒマ
ス、此ノ點ハ將來此ノ素因除去ニモ特別ナ
考慮ヲ御願ヒシテ、私ノ質問ヲ一應終ツテ
置キマス

○高野政府委員 先程御尋ノ時ノ數字ヲモ
ツト正確ニ申上ゲマス、昭和十五年度ノ豫
算ニ於キマシテ精神病ノ國庫補助額デアリ
マスガ、金額ガ四十四萬圓デアリマシテ、
其ノ中建設費ノ補助ガ七萬圓、經常費ノ補
助ガ三十七萬圓、其ノ三十七萬圓ノ中デ公
立ニ向ツテ九萬圓、代用精神病院ニ向ツテ
二十八萬圓、左様ニ相成ツテ居リマス

○八木委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシ
テ、午後一時半頃カラ開キマス
午後零時休憩

午後一時五十分開議

○八木委員長 是ヨリ開會致シマス

○青木委員 私ハ寧ロ此ノ斷種案ニハ遠ザ
カツタヤウデアリマスケレドモ、是ハモウ
議論ノナイ良イ事ダト根本的ニ思ツテ居ル、
之ニ相當ノ頭ヲ使ヒ、費用モ使ツテヤルノ
デアリマスルガ、モウ一ツ根本的ナ私ノ考
デハ、斷種ハ無論ヤラナクテハナリマセヌ
ガ、將來ヲ考ヘテ見ルト、恐ラク斷種ヲヤ
ルベキ事實ニ出會ハスコトハ割方少イト思

ヒマスガ、少クテモ多クテモ是ハ頗ル良イ
事ダト思ヒマス、所ガ私ノ希望トシテハ、
現在放置サレテ居ル精神病患者ガ實ニ多イ
ノデアリマス、過日モ御説明ノ中ニハ相當
精神病患者ノ隠レタル數モ御示シナツタ
ヤウデアリマスケレドモ、恐ラクハ御示
シナツタモノ位デナク、マダ多クノ隠
レタル精神病患者ガアルト思フノデアリマ
ス、之ニ向ツテ嚴重ナル何等カノ保護監督
ノ政策ヲ御執リニナルコトガ、甚ダ急務デ
ハナイカト思ヒマス、ソレカラ斷種ニ向ツ
テ甲論乙駁ノ御議論ヲ拜聽シマシタガ、僚
友田中君ノ如キハ、先ヅ根本的ニ禁酒法案
ニ依ツテト云フ御議論ノヤウデアリマス、
私共ガ考ヘルノニ「アルコール」中毒患者ガ
茲ニアルトシテ、此ノ「アルコール」中毒患
者ガ精神病ノ大部分デアルカノ如キ御説ノ
ヤウニ伺ツタノデアリマスガ、酒ガ決シテ
健康ニ宜クナイコトハ議論アリマセスケレ
ドモ、斯ウ云フ論法デ此ノ斷種法案ヲ云々
サレルコトハ、多少見當ガ外レテ居ルノデ
ハアルマイカト思ヒマス、ソレカラ會和サ
シガ仰シヤツタノニハ、我國ノ家族制度ヲ
破壊スル虞ガアル、世界ノ類ノナイ日本ノ
立派ナ家族制度ヲ破壊スル虞ガアリハセヌ
カト云フ御質問ノヤウデアリマシタガ、斯
様ナコトハ家族制度ノ上ニ及ブコト實ニ大
ナルモノモアリマセウ、併シナガラ現在本
當ニ日本ノ體力ノ向上トカ優生ヲ圖リマス
ルニハ、多少ノ犠牲ヲ拂ツテモ宜イト思フ、
家族制度ニ偶、影響スル二三ノ例ヲ以テ、此
ノ多クノ精神病患者ノ根絶ヲ妨ゲルヤウナ
家族制度ノ破壊ハ犠牲トナルコトガ寧ロ宜
イコトデアルト思ヒマス、此ノ犠牲位ハ拂
ツテモ宜カラウト思ヒマス、ドウセ斯ウ云

フ新シイ試ツヲヤリマスルニハ、當初ハ相
當ナ犧牲ノ出ルコトハ覺悟シテ當然デア
ルと思ヒマス、家族制度ヲ破壊スルト云フ
コトハ、恐ラク理窟ニ於テハ多少立チマセ
ウガ、大多數ノ精神病者ヲ救済スルニ於
テ優生ノ上ニ於テ、體力向上ノ上ニ於
テ、此ノ位ナ少數ノ犧牲ヲ拂フコトハ當
然デア
ルト信ズルノデアリマス、隨テ此ノ優生ヲ
論ジマスルニハ、體力管理案ハ今貴族院
ノ方
ニアリマスカラ、恐ラクハ近ク廻ツテ來
ル
ガラウト思ヒマスガ、是ト關聯シタ不即
離ノ問題デ、強ヒテ言フナラバ、體力管
理案其ノモノヲ論ジテ優生案ニ及ブコト
ガ、
本當ハ順序デハナイカト思ツテ居リマス、
故ニ斷種ト云フヤウナコトニ論及スルヨ
リ
モ斷種ニ至ルノ餘儀ナキニ至ラシメザル
ヤ
ウ、モツト豫防的ナ方策ガアリハセヌカ
、
例ヘバ現在ノ產婆知識ノ如キハ實ニ幼稚
ナ
モノデアリマス、所ガ優生ヲ論ジ、尙且ツ
體力ノ向上ヲ喧シク叫ンデ居ル厚生省ガ
、
產婆ノ知識向上ニ向ツテハ平氣ナ顔ヲシ
テ
居ルノミナラズ、私共從來カラ產婆法ノ改
正
ニ付テ產婆ノ知識向上ヲ非常ニ叫ンデ居
ル
ノデアリマスケレドモ、之ニ一ノ向耳ヲ藉
サ
ナイデ、ヤハリ從來ノ取上婆ガ宜イト言
ツ
テ居ル、是ハ厚生省ノ誤リノ甚シキモノ
デ
アル、體力向上ヲ叫ブナラバ、體力向上
ノ
根柢ヲ成セル產兒ヲ取扱フ產婆ノ知識向
上
ヲ何故圖ラナイカ、私ハ代議士ニ出マシ
タ
十二年前ニ初メテ議場ニ於テ之ヲ叫ンデ
ガ
今尙ホ產婆ノ知識向上ニ向ツテハ冷然ト
シ
テ居ラレル、之ニ向ツテ私ハ大ナル鋒ヲ向
ケ
タイト思フ、何ガ故ニ產婆ノ知識向上ヲ
御
圖リニナラヌカ、ナゼ產婆法ノ改正ヲナサ
ラ
ヌカ、私ハ豫防局長高野閣下ニ特ニ御尋

スルガ、豫防ヲ御叫ビニナラナケレバナラヌ
御
當局デ居テ、體力向上ヲ叫ビツモ何故產
婆
ノ知識向上ヲ御圖リニナラヌカ、私ハ產
婆
ヲ養成シテ高等ナル知識ヲ與ヘルコトガ
必
要デア
ルト同時ニ、產婆ニ育兒ノ知識ヲ與
ヘ
ナクテハ駄目デス、產婆ニ育兒知識ノ
ナ
イ限リハ、取上ゲタ所デ駄目デス、單純
ナ
ル取上ゲト云フ一ツノ技術ニ終ラシメテ
シ
マフヤウデハ駄目デア
ル、少クモ產婆
ニ
向ツテ育兒知識、產婆ニナル上ノ知識ノ
向
上ヲ御圖リニナラナケレバ、優生ハ決シ
テ
成立ツモノデア
ナイト私ハ思フ、ダカラ
優
生法案ヲ御出シニナルヨリモ、體力管
理
法案ヲ御出シニナルヨリモ、先ンジテ產婆
ノ
知識向上、產婆ニ育兒知識ヲ與ヘルコト
ガ
根柢デナクテハナラヌノデアリマスニモ
拘
ラズ產婆ノ知識向上ヲ再三叫ンデモ厚生
省
ハ未ダ御聽入レニナラヌコトハ事實デス、
斯
様ナコトデハ厚生省ハ本來優生ヲ叫ブ資
格
モナイ、體力向上ヲ叫ブ資格モナイ、本
末
ヲ顛倒シテ居リマス、宜シク當局ニ於テ
ハ
十分ノ御考ヲ持タレマシテ、產婆ノ知識
向
上ヲ圖ラヌ限り、完全ナル優生ノ實ヲ舉
ゲ
ルコトハ出來ナイ、體力向上ノ實ヲ舉
ゲ
ルコトハ出來ナイト云フコトニ御心ヲ留メ
ラ
レナケレバナラヌト思フノデアリマス、
私
ハ斷種其ノモノニ向ツテハ、モウ深く論
ズ
ル餘地ハナイト思フ、唯一言之言フナラ
バ
眞ニ遺傳ヲ確實ニ診斷スルト云フコト、
遺
傳デア
ルコトノ確實性ヲ認メルコト、是
ダ
ケガ斷種ニ向ツテ心スベキ要點デア
ル
ト思ヒマス、斷種ヲ爲スノ可否ハ最早論ズ
ル
時期デナイト私ハ思フ、故ニ今後ノ醫育上
ニ
於テモ診斷方面ニ力ヲ注ギ、同時ニ遺傳
學
ニ向ツテ一段ノ留意ヲ拂ツテ遺傳誤リナ

シ、斷種當然ナリト云フ結論ヲ得ルヤウニ、
御
注意ヲ願フコトガ必要ダト存ジマス、產
婆
ノ知識向上ニ向ツテ豫防局長ノ御意向ヲ伺
ヒ
タイ
○高野政府委員 只今拜聽致シマシタ御意
見
全部御尤モノ次第ト感ジマス、特ニ御尋
ノ
ゴザイマシタ產婆ノ點ニ付キマシテ、私
ノ
立場カラ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、
產
婆ガ國民ノ妊婦、母性又育兒ノ上ニ必要
ナ
役目ヲ持ツテ居リマスルコトハ、御示ノ通
リ
デア
リマス、隨ツテ產婆ノ教養ヲ高メテ
其
ノ職責ニ遺憾ナカラシメ、且ツ益、其ノ職
務
ヲ十分ニ遂行致ス爲ノ施設ヲ爲スベキコト
ハ、
厚生省ノ當然ノ義務デア
ルト私モ心得
マ
ス、御話ガゴザイマシタヤウニ長イ間色
色
御配慮ヲ煩ハシテ居リマシテモ、例ヘバ
產
婆法ノ如キ未ダ其ノ實現ニ至リマセヌコ
ト
ハ、私モ甚ダ遺憾ニ感ズル一人デア
リマ
ス、色々研究致シテ居ルコト存ジマスル
ノ
ド、追々適當ノ施設ガ講ゼラレテ、御希
望
ニモ副フ時期ガ早晚アルノデヤナイカト
考
ヘマスガ、是ハ私申上ゲルマデモナク、
衛
生局長ノ方デ扱ツテ居リマスル事務ナ
ノ
デ、衛生局長ノ方ヘ私カラモ御意見ノ次第
ヲ
能ク傳達シテ置キタイト存ジマス
○青木委員 今豫防局長ノ御話ニナリマシ
タ
コトハ、私モ非常ニ喜バシク感ジタノデ
ア
リマスルガ、政務官ニ御尋致シマス、政
務
官トシテ一松サシハマダ御就官後日ハ淺
イ
ガ、兎ニ角私ノ今豫防局長ニ特ニ御説明
ヲ
願ツタ問題ハ、寧ロアナタニ御尋スベキ
コ
トデア
ツタ、ケレドモ或ハ產婆ガドウ云
フ
現在ノ程度デア
ルカト云フコトモ、或ハ
御
承知ガナイカトモ思ヒマシタガ故ニ、豫
防
局長ニ實ハ御尋ラシタノデア
リマスガ、

何ガ故ニ厚生省ハ產婆知識ノ向上ヲ今日マ
デ
御圖リニナラヌカ、私共十數年之ヲ叫
ン
デ居ルノデア
リマス、私ハ又繰返シマスガ、
優
生ヲ論ズル、體力ノ向上ヲ論ズル、此ノ
產
婆ノ知識向上、育兒知識ヲ與ヘナイト云
フ
コトニ於テ、此ノ優生ヲ論ズルノ資格ハ
ナ
イト私ハ思フ、極端ニ言ヘバ本末ヲ顛倒
ス
ルノ甚シキモノト私ハ思フ、厚生省ノ矛
盾
サヲ笑ハズニハ居ラレナイ、何ガ爲ニ產
婆
ニ育兒ノ知識ヲ與ヘズ、而モ優生ガ、體
力
向上ダナドト云フコトヲ喋々サレルコト
ハ、
私ハ寧ロワカシイ矛盾デハナイカト思
フ
ノデア
リマス、是ハ行政上ノ問題デ、特
ニ
政務次官ノ御説明ヲ願ヒタイ
○一松政府委員 實ハ私ハ、青木サシカラ
私
ニ向ツテ其ノ説明ガ初メカラ求メラレル
モ
ノダト期待シテ居リマシタ所ガ、特ニ豫
防
局長ヲ御名指シデア
リマシタ爲ニ、私ハ
御
答スルコトヲ遠慮シテ居ツタノデア
リマ
スガ、只今第二ノ矢トシテ私ヲ御指名ノ上
ニ
答辯ヲ促サレタノデア
リマスルカラ、私
ハ
喜ンデ御答シタイノデア
リマス、產婆ノ
地
位向上、素質ノ改善等ニ關シマシテ之ヲ
大
イニ努メナケレバナラヌト云フコトニ關
シ
マシテハ、私代議士ニ當選以來アナタ
ト
同ジヤウナ考ヲ以テ、產師法ダトカ或ハ
助
産師法ダトカ云フ案ノ提出サル度毎
ニ、
私モ提案者ノ一人ニナリ、若クハ贊成
者
ノ一人ニナツテ今日マデアナタト同ジヤ
ウ
ニ努力シテ來タ經驗ヲ持ツテ居ルコトハ、
ア
ナタノ御承知ノ通りデア
リマス、然ルニ
今
御話ノ通りニ厚生省ガ此ノ問題ヲ閑却シ
テ
居リマスルコトハ、私ハ非常ニ之ヲ遺憾
ニ
思ツテ居ツタノデア
リマス、幸ニ今回自
分
ガ任ヲ厚生省ノ政務官ニ受ケマシタ爲ニ、

一ツ斯ウ云フ點ニ付テハ自分ノ考ノアル所モ厚生省ノ當該係ノ方ニ意見ヲ十分ニ吐イテ見、又ソレ等ノ關係ノ方カラモ、今日マデ何故ニ此ノ儘ニシテ居ツタカト云フコトニ付テハ、何かソコニ色々事情ガアルコトデアラウト思ヒマスルカラ、サウ云フコトモ一ツ點實シテ見マシテ、サウシテ是非之ヲ實現シテ見タイ、斯様ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ此ノコトニ對シマスルバカリデアリマセス、私共厚生省ニ要望致シマスル仕事ハ、マダ他ニモ澤山持ツテ居リマスガ、併シナガラ自分ガ代議士ノミデアツタ當時ト、政務次官ニナツテ居リマスル只今ノ現狀トカラ致シマスルト、代議士デアツタ時ニ考ヘテ居ツタコトガ、全部政務次官トシテ實現ガ出來ルカト云フコトハ、是ハ政務官ニ御經驗ノアル青木サニハ能ク御分リノコトデアラウト思フノデアリマサガ、私モ今アナタノ御述ニナリマシタヤウナ遺憾ノ考ヲ持ツテ居リマスルカラ、十分ニ調査研究シテ見マシテ、サウシテ今豫防局長カラ御答ノアリマシタヤウニ、成タケ近キ將來ニ於テ之ヲ實現スルヤウニシテ、サウシテ體力ノ向上發展、我國ノ國民ノ體力ヲ益、優秀ナラシメルト云フコトニ、一段ノ力ヲ添ヘタイト考ヘテ居リマス、此ノコトヲ以テ御答ト致シマス

○青木委員 洵ニ心強イ御答ヲ得マシテ有難ク存ジマス、唯一言私ハ今政務次官ガ產婆ノ地位ノ向上ト仰シヤツタヤウデスガ、私ハ地位ノ向上ナカドウデモ宜イト思ツテ居リマス、無論地位ガ向上スレバ結構デアリマスガ、ソレヨリモ急グノハ產婆知識ノ向上デアリマスカラ、一言私ノ希望ヲ申上ガテ置キマス、ソレカラ同時ニ、優生ヲ論

ジ體力ノ向上ヲ論ジマスルニハ、政府ニ於テハ結婚相談所トカ云フヤウナモノヲ將來御作リニナル御考ハナイカ、私ハ是モ亦非常ニ必要ナ問題デアルト思ヒマス、一般ノ俗間ニ言フ結婚紹介所トカ、或ハ結婚何トカ云フヤウナモノガ相當アルヤウデアリマスケレドモ、是ハ何レモイカサマモノガ多イヤウニ思ハレマスノデ、ヤハリ國ガ何等力之ニ向ツテ御施設ヲ爲サルコトガ、斯ウ云フ優生ダトカ、或ハ體力管理ダトカ云フヤウナ問題ガ出來マスレバ、直グ様附隨スル問題ダト思ヒマスノデ、結婚ノ相談所トカ何トカ云フヤウナモノヲ國ガ御拵ヘニナル御考ハナイカ、是モ一應御尋シテ置キタイ

○一松政府委員、只今ノ御質問ノ中デ國營的ノ結婚相談所ノ問題ニ對シマシテハ、他ノ政府委員カラ御答ヲ願フコトニ致シマシテ、最初ノ御質問ノ範圍ヲ御釋明ニナリマシタ產婆ノ地位ノ向上ト云フコトヲ言ハレタガ、地位ノ向上デハ満足シナイ、素質ノ改善、育兒トカ乳兒ダトカ云フモノノ保護指導ト云フヤウナ方面ニ力ヲ入レナケレバナラスデハナイカト云フ御主張デアリマスガ、私ハ全然アナタノ御意見ニ贊成デアリマシテ、私ノ申上デマシタ地位ノ向上ト云フノハ、所謂素質ノ改善ダトカ或ハ育兒ダトカ、乳兒ダトカト云フモノノ完全ヲ期スル意味ニ於テノ地位ノ向上デアリマスルカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○高野政府委員 結婚相談所ニ付テハ至極結構ナ施設ト存ジテ居リマシテ、成ベク早ク之ヲ設ケタイト考ヘマス、來年度ニ於キマシテモ、若シ都合ガ出來マシタナラバ、此ノ優生制度實施ノ準備ノ爲ノ豫算モ若干アリマスルノデ、或ハ模範的ニ左様ナモノ

ヲ一ツ位作ルト云フコトモ出來ルカ知ラヌト考ヘテ居リマス、尙ホ是ハ前々カラ私共御示シノヤウナコトヲ感じテ居リマシタノデ、今全國ニ保健所ト云フモノヲ作りツツアリマスガ、此ノ保健所ナルモノガ健康問題全部ノ指導ヲスル場所デアリマシテ、只今ノ所ハ結婚ノ指導マデハ或ハ手不足デアルカモ知ラスガ、私共ハサウ云フコトマデ、或ハ保健所ノ規模ヲ段々擴充致シマシテ、サウ云フ仕事マデスベキモノデアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘツツアツタ譯デゴザイマス

○八木委員長 野方サニ
○野方委員 私ハ本法律案ニ對シマシテハ非常ニ贊意ヲ表スル者デアリマスルガ、特ニ本案ハ洵ニ不徹底デアツテ、ドウデヤルナラバ國家ハ權力ト財力トヲ以テ徹底的ニヤル必要ガアル、例ヘバ今遺傳性ノ疾病ニ對シマシテモ、或ハ痴呆トカ、白痴トカ、或ハ癲癇トカ、「アルコール」中毒トカ、色色ノコトヲ列舉シテヤツタ方ガ法ノ運用上樂ダト思ヒマス、併シ是ハ田中君ガ十分言ハレマシタガ、サウ云フヤウナ問題ハ社會問題ガアリマスルカラ、私ハ政府ノ原案デ宜イト見テ居リマスルガ、此ノ點ヲ餘程慎重ニヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラ只今青木君ハ產婆ノ問題ヲ取上

ガラレマシタガ、私モ常ニ產婆ニ對シマシテハ知識ノ向上ト胎教ト云フモノヲ論ジテ居ル、私ハドウシテモ胎教ガ必要デアルト思フ、此ノ優生學ト胎生學トガ一致シテ進歩スベキモノデアルト思ツテ居リマス、例ヲ舉ゲマス、私ノ郷里ニ親子三代揃ツテ強盜殺人犯ガアツタ、是ハ確ニ強盜ニ行カウト云フヤウナ精神ガアツタ時ニ其ノ子ガ出來タノデス、是ハ確ニ「メンデル」ノ法則

ヲ欺イテ居ラス、斯様ナコトデアリマスルカラ、ドウシテモ左様ナモノハ優生、胎教ト云フモノガ必要デアル、此ノ議論デ行クト國家ヲ眞ニ根本的ニ改善スルニハ衛生ガ先議デアル、此ノ議論ヲ私共ハ何時モ建前ニシテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シマテハ政府ガ餘リ醫者ヲ輕ク見テ居ル、殊ニ今回ノ醫藥制度調査會ハ醫師ヲ敵ニシテ居ル、本來ナラバ醫師ハ舉ツテ此ノ案ニ反對スルノデス、此ノ案ヲ潰セト云フ意見モアリマスガ、僕等ハサウハ思ハヌ、此ノ位立派ナ案ハナイ、是デ初メテ國民ノ健康ト云フモノガ根本カラ増進スル、此ノ案コソ政府ガ非常ニ思ヒ切ツテ出シタ、斯様ナ良イ案ハナイ、私ハ斯様ナ根本問題ニ對シマシテ贊意ヲ表スルノデアリマス、例ヘバ一時民族ノ改善ノ問題ガ起ツタ際ニ、朝鮮人ノ種ヲ持ツテ來ルト云フ話ガヘツタ、是ハドウシテモイカヌ、ドウシテモ日本人バ日本人ノ、所謂大和魂ヲ持ツテ居ル者ノ精神ヲ基礎トシテ體質ノ改善ヲスル、之ヲ僕ハ頻リニ考ヘテ居ツタノデアリマス、殊ニ健康ナル女ト色盲ノ男ト結婚シテ居ツテモ、子ハ決シテ色盲ニナラス、女ガ色盲ナラ無論色盲ニナル、女ヲ通セバ色盲ニナルノデアリマスカラ、女ト云フモノハ知力ノ遺傳ニナツテ來ル、男ハ體質ノ遺傳ニナリマスルカラ、女ノ衛生教育ニ重キヲ置クコトガ必要デアアル、隨テ根本問題トシテハドウシテモ衛生ガ主デアアル、國家ノ今ノ現象ハ反對現象デアアル、衛生ガ一番疎外サレテ居ル、國家ノ原動力タル民族ノ優生ト云フ細胞ニマデ、因子ニマデ手ヲ染メテ初メテ國家ノ眞ノ進展ガ出來ルノデアリマス、今度初メテ我國ノ衛生問題ガ本當ニ軌道ニ乗ツタ、

衛生問題ヲ論議スルコトガ軌道ニ乗ツタ、此ノ意味ニ於キマシテ私ハ此ノ優生法ニ賛成スルノデアリマス、併シハ一朝誤リマスト云フト却テ民族ノ増産ガ出来ナイ、例ヘバ「マルサス」ハ人口ガ二十五ニシテ増倍スル、戦争カ惡疫ガナケレバ増倍スルト云ツテ居ルガ、普通ノ時ニシテモ五十年ハ掛ル、況ンヤ戦争ガアルトカ、流行病ガアルトカ云フ場合ニハ人口ハ殖エナイ、殊ニ日本ハ年々百万ノ人口ガ殖エテ居ツタモノガ近來減ル傾向ガアリマス、此ノ際ニ優生ト云フ名ニ於テ立派ナ法律ガ出来タト云フコトハ我國ノ人口ノ上カラ、又經濟ノ上カラ、國防ノ上カラ非常ニ私ハ賀スルノデアリマス、例ヘバ體力ノ點ニ對シマシテモ、我が日本人ノ體力ハ歐米人ニ劣ツテ居ル、歐米人ハ大抵九時間働クモノヲ日本人ハ正味働クノハ六時間デアル、ソレデモ多量ノ疲勞素ガ出來ル、是ダケノ三時間デモ非常ナ差ガアル、ドウシテモ日本人ハ體力ノ改善ガ急務デアツテ、ソレニ依ツテ人的資源ガ完備スレバ體力ニ於テモ智力ニ於テモ眞ニ世界無比デアル、或ル解剖學者ガ研究シテ、日本人ハ腦ノ重量ト腦ノ回轉率ガ一番多イト言ツテ居ル、例ヘバ西洋人ハ大抵三百六十三瓦ノ重量シカナイガ、日本人ハ三百六十六瓦アル、三瓦多イ、支那人ガ三百六十五瓦トシテアリマシタガ、日本人ガ一番伶俐デアル、伶俐ナ國民デアアルガ體格ガ小サイ、倭小民族デアアル、此ノ倭小民族ニ對シマシテハ、ドウシテモ衣食住ノ改善ヲ圖ラナケレバナラス、是ガ急務デアル、斯様ナ意味カラシテ、本當ニ厚生省ガ民族優生ノ必要ヲ痛感スルナラバモツト徹底的ニ、根本的ニ、豫算モ一億万圓

位要求シテ、今ノ精神病ノ二十五萬圓位ニ對シテハ直チニ之ヲ出スヤウニスル、斯ウ云フ決心デナケレバハ消極的ニ流レテ、年々ヤル人ハ千人位シカアルマイト思フ、斯様ナ傾向デハ如何ニ立派ナ法律ヲ作ツテモ效果ハナイト思フ、私ハ今回ノ御提案ニ對シテハ非常ナ賛意ヲ表スルガ、極メテ不徹底デアル、尙ホ一層國家ハ權力ト財力ヲ以テ或ル程度マデ進ンデ、眞ニ國家ノ文明ノ基礎デアリ、一軒ノ家ノ土臺石デアアル衛生ヲ完全ニスル、衛生ガ土臺石デアツテ、外ニアル柱ナドハ眼ニ見エルカラ偉ク見エ此ノ基礎ナル所ノ衛生ヲ衛生哲學トシテ、厚生省ノ方ハ一番自重シテ此ノ根本問題ヲヤツテ戴キタイ、此ノ不徹底ナル點ハ私ハ非常ニ遺憾デアリマスカラ、政府ハ尙ホ一層擴大強化シテヤル意思ハナイカ、一寸御伺致シマス

○高野政府委員 只今洵ニ私共ニ取ツテ嬉シイ御鞭撻ノ意味ノ御質問ガアリマシテ、先以テ感謝致シタイノデアリマス、此ノ度ノ案ハ尙ホ十分デナイ感モ致シマス、又之ヲ實施スルニ當リマシテドノ程度ニ斷行出來マスカ、是ハ來年ノ豫算ニ於キマシテ實施ニ要スル費用ヲ要求スルヤウナコトナリマスルカラ、御希望ニ成ルベク副ビ得マスルヤウニ十分努力シタイト存ジテ居リマス

○野方委員 優生手術ヲ行フ醫者ハ精神病學ニ造詣ノ深イ人間ニ相違アリマセスガ、之ヲ三人位ノ合議制ニシナケレバ危險ガアルノデアリマス、隨テ決ツタモノヲ優生委員會ニ掛ケルカ、委員會ニハ必ズ日本醫師會ノ會長、地方ニ於テハ府縣醫師會ノ會長ヲ加ヘル、是ハ昨日田中君ノ言ハレル通り、私ハソレヲ是非希望シマスガ、其ノ御意思ガアルヤ否ヤ御伺致シマス

○高野政府委員 十分ニ其ノ點ヲ研究シテ見タイト思ヒマス

○野方委員 今日ハ私總論的ノ質問デ止メテ置キマシテ、アトハドナタカニ御願致シマス

○八木委員長 杉山サ

○杉山委員 色々戴キマシタ資料ヲマダ十分見テ居リマセヌノデ、質問モ整理致シテ居リマセヌガ、御質問ノ方モナイヤウデアリマスカラ、私ハ今日少シク御尋シテ置キタイト存ジテ居リマス、本法案デ優生手術ヲ行フベキ疾患トシテ五ツ舉ゲテ居リマス、此ノ五ツノ對象疾患ガ遺傳學ノ立場カラ致シマシテ、優性因子ヲ持ツモノカ、或ハ劣性因子ヲ持ツモノカ、或ハ其ノ間ノ伴性因子ヲ持ツモノカ、私共ハ遺傳學ハ素人デアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ先ヅ第一ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 非常ニ専門ノ知識ヲ要スル御質問デゴザイマシテ、實ハ私モ其ノ方ノ専門家デゴザイマセヌノデ、御答シ難イ點モアルノデアリマス、御手許ニ差上ゲテゴザイマスル資料ノ中ニモ多少其ノ點ガ現ハレテ居リマス「優生法該當遺傳性疾患例」ト云フ印刷物ガゴザイマス、其ノ第一頁ニ「精神分裂病ガ出テ居リマス、其ノ終ノ方ニ「其ノ遺傳形式ハ劣性遺傳」ト出テゴザイマス、サウ云フ順序デ、次ノ躁鬱病ニ於キマシテハ一般ニ優性遺傳ト考ヘラレテ居ルヤウナコトデゴザイマシテ、此ノ印刷物ヲ御覽願ヒマシタラ、或ハ御諒解ガ行キハシナイカト存ジマス、尙ホ精神病ノ専門ノ技師モ居リマスカ

ラ、或ハ必要ガゴザイマスレバ、又適當ノ時ニ詳シク申上ゲテモ宜シウゴザイマスデ

○杉山委員 ソレデ此ノ五ツノ病氣ガ劣性デアルカ、優性デアアルカト云フコトハ、讀メバ分ルコトニ相成リマシタ、資料ヲ拜見致シマス、劣性ナラバ簡單ニ病源ヲ斷ツコトガ出來ルガ、劣性デアアルト中々困難ダト云フヤウニ承シテ居リマス、今戴イタ資料ノ中ノ「優生手術實施ノ效果」ト云フ資料ヲ拜見致シマス、劣性デアツタト云フコトニナツテ居リマス、動物學者デアリ、遺傳ヲ專門ニ研究致シテ居リマス、駒井博士ノ如キハ、ソレト少シ違ツテ居ルヤウデアリマス、私ハ本會議デモ少シク申述ベタノデアリマスガ、三十代デ四分ノ一ニナル、十代ト三十代ハ計算ガ餘程遠ツテ居ルト思フノデアリマスガ、其ノ計算ノ違ヒノ基礎ハ一體何處カラ出テ來ルノデアリマセウカ、斯ウ云フヤウニ違ヒマスト私共ノ考ノ上ニ餘程遠ツテ參リマスノデ、此ノ點ハ專門家デナイノデ能ク分リマセヌガ、一方ソレヲ研究シテ居ル學者ハ三十代經タナケレバ四分ノ一ニナラナイト云ヒ、此方ノ方ハ十代デ四分ノ一ニナル、斯ウ云フノデアリマスカラ、其ノ根據ヲ一ツ教ヘテ戴ケレバ大變幸ダト思ヒマス

○床次政府委員 今日御配リ致シマシタ「優生手術實施ノ效果」ト云フコトニ付テ、一寸簡單ニ御説明申上ゲタイト思ヒマス、此ノ假定ハ或ル學者ガサウ云フヤウニ言ツテ居リマスカラ、ソレヲ引用致シタノデアリマス、孰レモ數字ニ付キマシテハ假定ノ下ニ計算ガセラレテ居ルノデアリマス、是ニアリマス通り此ノ具體例トシテ精神分裂病ガ

劣性遺傳ノ形式ヲ取り、且ツ現在全人口ノ一%ヲ占ムルモノトシテ、ソレデ發病シマシタ患者ヲ嚴格ニ斷種スルト第一代デハ〇・八三%ニ減ツテ來ル、是ハ一定ノ假定ノ下ニ計算致シマシテ、斯様ニナツタノデアリマス、駒井博士ノ計算サレテ居リマスノモ、其ノ計算ハヤハリ外國ノ或ル學者ノ説ヲ引用セラレテ居ルト思ヒマス、是ハヤハリ計算ヲ茲デハ全人口ノ一%トスルコトトナツテ居リマス、駒井博士ハ又駒井博士ノ計算デ計算シテ居ル關係上、數字ハ違ツテ來テ居ルノデアリマス、劣性遺傳ノ場合ハ、素質ヲ持つテ居リマスモノハ他ニ隠レテ居リマシテ、發病者ダケ斷種スル關係上、比較的長イ間掛ルト云フコトニ一應ハ推定サレノデアリマス、優性遺傳デゴザイマスレバ、發病スル者ハ全部斷種ノ對象ニナリマス關係上、一代デナクナリマス、隨デ此處ニ書イテアリマス如ク、斷種ノ對象ト云フモノニ優生遺傳ガ多ケレバ、比較的短カイ期間デ出來マス、劣性遺傳者ガ多ケレバ長イ間掛ルト云フコトデアリマス、尙ホ是ハ全部一度ニ受ケレバト云フ數デアリマスノデ、今後一層普及ガ十分行ハレマシテ、手術ヲ受ケル者ガ多ケレバ、ソレダケ早イ時期ニ於テ此ノ種ヲナクスルコトガ出來ル、元來數代ヲ經テ效果ノ現ハレルモノデアリマスカラ、多少年數ノ掛ルコトハ固ヨリ當然ノモノデハナイカト存ズルノデアリマス、數字ノ差ニ於キマシテハサウ云フコトガ原因デアラウト存ジマス

○杉山委員 御説明デ大體分リマシタガ、計數ノ差ガ十代ト三十代ト云フノデハ、甚ダ根據ガ薄弱デス、斯ウ云フヤウニ解釋サレデモドウモシヨウガナイノデハナイカト思ヒマス

ガ、サウ云フ議論ノコトハ今ハ措イテ置キマス、ソコデ遺傳ト云フコトハ事實ヲ類推シテ申シテ居ルノデ、今日ノ遺傳學ノ上カラハマダ正確ニ其ノコトハ分ツテ居ラスカモ知レマセヌガ、所謂染色細胞ノ中デ遺傳スルト云フコトハ、ハツキリ分ツテ居ルノカドウカ、是ハハツキリ分ツテ居ラスノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ點ノ御考ハドウ云フ風ニナツテ居リマセウカ

○高野政府委員 遺傳學ノ學理ガ、人間ノ生物學ニモ適合スルコトハ異議ノナイ點デアラウト思ヒマス、唯人間ノ遺傳素質ハ固ヨリ染色體ノ中ニアルノデアリマス、其ノ配置等ヲ正確ニ究メルコトガ又中々困難デアラウト思ヒマス、ケレドモ「メンデル」ノ學說ニ依リマシテ人體ニ於ケル遺傳モ行ハレ、其ノ遺傳素質ガ人體生殖細胞ノ染色體ノ中ニアルト云フコトハ、一般生物學界ニ於ケルト同様ニ考ヘテ宜シイモノト私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○杉山委員 昨日モ會和君カラ色々御話ガゴザイマシタガ、精神病ノ中デ治療出來ル精神病ト、治療ノ非常ニ困難ナル或ハ出來ナイ精神病トガアル、斯ウ云フ御話ガゴザイマシタガ、斯ウ云フヤウナ治療ノ出來ル精神病、或ハ治療ノ困難ナ精神病ト云フモノニ付テ、私ノ方ハ素人デ能ク分リマセヌガ、ドウ云フ精神病ガ治療ガ可能デアアル、是ハドウシテモ駄目ダ、斯ウ云フコトニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

療ニ依リマシテ、殆ド完全ニ治ル場合ガゴザイマス、併シ是ハ申上、ザルマデモナク遺傳ニ依ルモノデゴザイマセヌカラ、此ノ場合ノ議論ノ對象ニシナクテモ宜シイカト存ジマス、遺傳ニ依リマスル方ノ疾病ハ治療ハ大體困難ナモノデアルト心得テ居リマスルガ、時ニ其ノ症狀ヲ多少緩メルト云フヤウナコトハ出來ル、病氣ノ或ルモノニ於キマシテハ病狀ヲ緩解スルト云フコトハ時ニ出來ルコトモアルヤウデス、併シ之ヲ根治スルト云フコトハ中々困難デアリ、結局所謂臨床的ノ處置ガ多少出來ルト云フコトデアラウト存ズルノデアリマス

○杉山委員 私ハ専門家デナイノダカラ能ク分ラナイノデスガ、専門家ノ或ル一人ノ人ニ聽クト、最近ハ今マデ治療ノ出來ナイト思ハレテ居ツタモノモ、段々治療ガ出來ルヤウニナツテ來タ、斯ウ云フヤウナ話ヲ伺ツテ居リマスノデ、或ハ今治療スルコトガ困難ダト考ヘテ居ツタモノモ、段々醫學ノ進歩ニ伴ツテ治療ガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ申シテ居ル人モアルノデスガ、遺傳ニ依ルモノハ今ノ見透シカラ申シマス、ドウシテモ駄目ナモノデアルト見透シテ宜シイノデアリマス

○高野政府委員 遺傳ニ依ルト考ヘラレル精神病デアリマシテモ、近來新シキ療法ガ出來マシテ、例ヘバ「インシュリン・ショツク」療法ト云フヤウナ専門ノ方法デアリマスガ、之ニ依ツテ見マスト精神分裂症ガ可ナリ症狀ヲ輕クシテ居ル、サツパリ影響ノナイ場合モアリマスガ、症狀ガ輕クナツテ居ルノガ二割、三割出タト云フヤウナコトモ報告ガゴザイマス、又「カルジアゾール」痙攣療法ト云フヤウナモノニ依リマシテ、精神分裂症ガヤハリ二三割方症狀ガ非常ニ輕クナツタト云フヤウナコトガアルノデアリマス、斯様ニ所謂其ノ目前ノ症狀輕快ハ多少考ヘラレルコトガアルト思ヒマス、必ズドノ病氣モ皆ク行クト云フ譯デハナイヤウデアリマシテ、都合ノ好イ時ニハ隨分症狀ガ好クナリ、又殆ドナクナルト云フコトモアルヤウデゴザイマスルガ、遺傳ノ關係カラ申シマス、ヤハリ素質ガ殘ツテ居リマスカラ、症狀ガ一應治ツタヤウナモノデモ、其ノ子ニ於テハヤハリ此ノ病氣ガ現ハレル、尤モ治療ガモツト有効適切ニナツテ病人ガ現ハレルニ隨ツテ之ヲ治シテシマフト云フコトデアレバ、大變宜シウゴザイマスガ、餘リサウ完全徹底シタ治療モナイヤウデアリマス、殊ニ遺傳ノ關係ハ別ニ改善サレナイノデゴザイマス、左様ニ御含ミヲ願ヒタイノデアリマス

○杉山委員 ソコデ若シ多少デモ治療ガサレルトカ、輕減ヲサレテ行クト云フコトナラバ、昨日アタリモ大分問題ニナリマシタ、優生手術ヲ行ヒマスコトハ、家系ヲ絶ツツカ、或ハ日本ノ家族制度ニ合ハナイ、斯ウ云フ心配ガアリマスノデ、若シサウ云フコトデナシニ治ツテ行キ得ルナラバ大變結構デアリマスノデ、サウ云フ方ヲ努メタラ如何、斯ウ云フヤウナ考モアリマシタノデ承ツタ譯デアリマスガ、今戴イタ「各種遺傳性精神病及遺傳性精神薄弱ノ遺傳豫後」下云フ資料ヲ拜見致シマスル、何ト申シマスカ段々血族ノ血ガ薄クナル、即チ遠ザカツテ參ルニ隨ツテ遺傳ノ率ガ少クナルコトモ當然デアリマス、非常ニ少クナツテ居ル、子供ヨリモ同胞、同胞ヨリモ甥トカ姪トカ、斯ウ云フヤウニ段々薄クナツテ行

クト云フ事實ヲ見マスルト、寧ロサウ云フ風ニ遠ザケテ行ク、又一方カラ、先程御話ガアリマシタヤウナ結婚ナドノ問題ニ於テ、サウシク憂ノナイ血ヲ混ゼテ行キマスタラバ、非常ニサウ云フヤウナ遺傳ノアルモノデモ薄クシテシマフコトガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ氣モ素人ニハスルノデアリマスガ、若シ可能トスルナラバ、一方デ優生手術ヲ行ツテモ三十代、或ハ十代デ四分ノ一、斯ウ云フコトナラ其ノ效果ハ同ジヤウナコトニナツテ來ルノデハナイカ、寧ロサウ云フヤウナコトヲヤラレルヨリモ合理的ニ薄メテ行ク方法ガアルナラバ薄メテ行ツテハドウカ、斯ウ云フ氣モ此ノ資料ヲ拜見シテ致スノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フコトニナルノデアリマセウカ

○高野政府委員 健康ナ者ト段々配合ヲ致シマス、惡性ノ素因ヲ持ツコトガ段々薄クナルト云フコトハ考ヘラレル譯デアリマシテ、若シ其ノ事ヲ十分ニ行フコトガ出來マスレバ是モ一ツノ行キ方カト思ハレマスケレドモ健康ナル者ガ健康ナル者ト結婚致シマスレバ完全ニ健康ナ者ノミガ生レルノデアリマスルカ甚ダ安全デアアルノニ、不健康ナ者ト健康ナ者トヲ組合セテ行キマスコトハ危險ハ分散スルケレドモ、社會全體カラ見レバ其ノ負擔ハ却ツテ大キクナル、或所デ此ノ望マシカラザル素質ヲ止メテシマヘバ社會ノ負ベキ負擔ハ段々却テ少クナル譯デアリマス、之ヲ擴メテシマフト薄サハ薄クナツタヤウデアリマスガ、其ノ總量ハ或ハ却テ多クナル虞モゴザイマス、殊ニ古キ世ノ中デ自然淘汰ガ行ハレテ居リマスル時ニハ、斯様ナ制度等ニ依ツテ惡性ノ

素因ヲ止メマセヌデモ、自然ト恐ラクナクナルノデアラウト思ヒマス、自然ノ斷種ガ世ノ中ニ行ハレツツアツタト思ハレルノデアリマスガ、段々近來ノ生活ニ於キマシテハ何ト申シマスカ、サウ云フ便宜ト云ウテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、惡性ノ素因者モ寧ロ保護ヲ受ケマシテ、十分ニ發育シテ其ノ數ヲ増ス、或ル家系カラ見レバ多少稀薄ニナルカモ知レマセヌガ、日本國民全體ノ存在トシテハ可ナリ是ハ重キ負擔ヲ持ツヤウニナルノデハナカラウカト云フヤウナ考ヲ以テマシテ、斯様ナ制度ヲ立テタ、但シ御示ノ如ク成ベク結婚後ノ結果ヲ遺傳的ニ健康ナラシムルト云フコトノ指導ハ、當然行フ譯デゴザイマス、唯健康ナル者ノ結婚ヲ一方獎勵致シマス、ソコニ割レ鍋ニトゾ蓋ト申シマスカ不良質ノ者ノミガ又一方殘續スルノデアリマシテ、此ノ方面カラ或ハ又社會ノ危害ヲ受ケマスコトガアラウカト惧レテ居ル次第デアリマス

○床次政府委員 只今ノコトニ一言附加ヘテ申上ゲタイト思ヒマス、御引用ニナリマシタ各種遺傳性精神病及遺傳性精神薄弱者ノ遺傳豫後ト云フ印刷物ニハ、是ハ昨年全國ノ三千家系ノ精神病者ノ遺傳調査ヲ致シマシテ得マシタ結果ナノデアリマシテ、之ニ依リマシテ子供ノ發病率ガ非常ニ大キイト云フコトガ分ル譯デアリマス、尙ホ段段代ガ重リマス薄クナルノデハナイカト云フ風ナ御考ノヤウニモ承ツタノデアリマスガ、實ハ此ノ遺傳ト云フコトハ代ヲ重ネマスト二分ノ一ノ遺傳ガ其ノ次ノ代ニハ四分ノ一ニナル、其ノ次ハ八分ノ一、サウ云フ風ナ關係ニ於テ薄クナルト云フノデハナイノデアリマシテ、遺傳ノ持ツテ居リマス

素質自體ハ何代參リマシテモ同ジ程度ノ遺傳素質ヲ持ツテ參ルノデアリマス、唯一般ノ結婚ノ場合ノ組合セカラ申シマシテ、孫或ハ更に曾孫ニ參リマス、サウ云フ素質ヲ持ツテ居リマス者同士ノ結婚ト云フコトニ付テ、段々其ノ數ノ範圍ガ廣クナル關係上、此處ニアリマス通り發病者ハ割合率ガ薄クナルト云フコトハアルノデアリマスガ、遺傳素質自體ハ決シテ薄クナルノデハナイデアリマス、隨テ只今御話ノヤウナ近親結婚ヲ避ケル方法ヲ以テ、從來或ハ素質者同士ノ結婚ヲ避ケルト云フ方針デ以テ參リマスト、最初ノ代ニ於キマシテハ發病者ハ出ナイ譯デアリマスガ、併シ次ノ代カラニナリマス素質者ガ非常ニ殖エマス關係上、今度ハ普通ノ結婚ニ於テ一見健康ト思ヒマシタノガ、案外素質者同士ノ結婚デアツタト云フコトニナレバ、今度ハ非常ニ發病者ガ次ノ代ニ殖エテ來ルト云フコトニナルノデアリマス、隨テ個人的ノ優生指導ニ於キマシテハ洵ニサウ云フ素質者同士ノ結婚ヲ避ケルト云フコトハ宜イノデアリマスガ、優生學的ニ見マスト是ダケデハ目的ガ達セラレナイト存ズルノデアリマス

○村松委員 只今杉山君ノ御質問ニ對スル御答辯ニ、例ノ「インシュリン」療法ニ關スル御答辯ガアツタノデアリマス、是ハ私トシテ今三ツノ疑問ガ頭ニ浮ンデ來タノデアリマス、其ノ一ツガ、第一症狀ノ減退ヲスルト云フコトト癒ルト云フコトハドウ違フカ、是ハ私分リマセヌガ、大體症狀ガ減退ヲスル、或ル者ニ於テハ其ノ症狀ガ消滅ニ近イモノニナルノデアアル、斯ウ云フ御説明ガアツタノデアリマス、ソコデ本法案ト關聯シテ三ツノ疑問ガ起ツテ來ルノデアリマ

ス、一ツハ其ノ症狀ノ減退シタト云フ者ガ遺傳デアアルコトガ明確ナル者ニ付テモ、尙且ツ左様ナ事態ガ現ハレテ來テ居ルノデアアルカドウカト云フ問題、モウ一ツハ本法案ノ斷種ノ對象ナルベシト豫想セラレル者ノ中、ヤハリ二〇%、三〇%ガ症狀ガ消滅シタト斯ウ言ハレルノデアアルガ、其ノ點ニ關スル明確ナ御説明ヲ得タイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、成程症狀ノ減退ガアルト云フコトハ、現在ノ精神病學ノ方面カラ見テ洵ニ結構ナコトデアアルガ、其ノ「インシュリン」療法ナルモノガ果シテドウ云フ程度ニ行ハレテ、初メテ左様ナ效果ガ現ハレテ來ルノデアアルカ、是ハ私ノ聽イテ居ル所ニ依レバ、ソレハ生レテ間モナイ者ニ付ハテ隔日ニ或一週間ニ數回ト云フヤウニ、何箇月モ何箇月モノ注射療法ヲヤツテ、其ノ注射療法ガ見ルニ忍ビナイヤウナ程度ノ苛酷ナモノデアアルトモ聽イテ居ル、而シテ又ソレノ素質ガ全然減退ヲシナイノデアアル、斯ウ云フコトデアツテ見レバ、吾々ハ斷種其ノモノガ何カシラ非人道的ナ感じガスルノニ、其ノ「インシュリン」療法ナルモノガ、ヨリ以上ニ何カ苛酷ナ感じガ與ヘルヤウニモ思ハレル、サウ云フ所ガ問題ノ可ナリ根本的ナ所ニアルノデヤナイカト思ヒマスノデ、隨テ「インシュリン」療法ナルモノガ發病ノドノ程度ニ於テノミ治癒ガ出來ルカ、或ハ發病ノドノ程度ニ至レバ其ノ療法ガ效果ガナイノデアアルカ、其ノ治療方法ト云フモノハドウ云フ風ニスルノダト云フヤウナコトヲ、御説明願ヒタイト思ヒマス

○青木説明員 此ノ「インシュリン」療法ガ行ハレマシテ精神分裂病ガ相當ニ治ルト云

フヤウナコトガ喧傳サレ過ギタ形ガアリマス、ソレデ此ノ事ニ付キマシテハ、總テ新シイ療法ガ現ハレマシタ際ニハ、何處ノ實例デモサウデアリマスガ、非常ニ材料ヲ選ンデ行ヒマス爲ニ、非常ニ率ヲ高ク言フノガ通例デゴザイマス、一例ハ痲痺性痲果徵毒ニ依ル精神病ノ「マラーリヤ」療法ノ如キ、殆ド全部治ルト云フ位マデ其ノ當時言ハレマシテ、發見シマシタ人ノ如キハ「ノーベル」賞マデ貰ツタソデアリマスガ、其ノ後、御手許ニ差上げマシタ資料ニゴザイマスマウニ、實ハ其ノ效果モソレ程デハナカウツト云フコトガ段々分ツテ參リマシタ、「インシュリン」療法ノ如キハ、相當昔カラ考ヘラレテ居リマシタ一ツノ療法ノ現ハレデアリマシテ、御質問ニ對スル答トシマシテハ可ナリ答辯ガ前後致シマスガ、其ノ「インシュリン」療法ト申シマスノハ「インシュリン」ヲ注射致シマス其ノ爲ニ昏睡狀態ニナルノガ一ツノ「シヨック」ニナリマシテ、其ノ精神狀態ニ非常ナ「シヨック」ヲ與ヘマシテ、之ヲ十回以上毎日々々繰返スコトニ依リマシテ、其ノ效果ヲ擧ゲヨウトスルノデ、實際見マシタ所洵ニ危險ナ療法デアリ、非常ニ費用ガ掛ルノデアリマシテ、此ノ爲ニ之ヲ行ヒマス所デハ、醫者ガズツト附キキツテ居ルノデアリマス、ソレカラ「インシュリン」ト竝ンデ行ハレテ居リマス「カルジアゾール」ノ療法ノ如キハ、是ハ精神分裂病ノ患者ニ癲癇發作ヲ起サセマシテ、其ノ癲癇ノ發作ガ所謂モ「シヨック」ニナル譯デアリマシテ、其ノ「シヨック」ヲ與ヘテ病氣ヲ治サウト云フノデ、軍隊ナドニ於キマスル治療方法トシマシテハ「カルジアゾール」療法ガ使ハレテ居リマスガ、松澤病院其ノ他

ノ病院ニ於キマシテ、非常ニ何ト言ヒマスカ、如何ニモ見テ居レナイト云フ感ジガ致シマス、注射スルト忽チ伸ビテシツクリ返ツテ非常ニ痲痺ヲ起スト云フ謂ハバ荒療治デゴザイマス、サウシテ是等ノ療法ガ效キマスノハ、ドウ云フ種類ノモノデアルカト言ヒマス、例ヘバ遺傳病ノ中ノ分裂病ノ如キモノデアリマシテモ、「エー」「ビト」「シー」「ディ」「イー」ト云ツタヤウニ、幾通りカノ遺傳性ノ精神分裂病ガアルト云フコトガ言ハレテ居リマシテ、是ハ今日臨床上承認サレテ確實ニナツテ居リマスガ、精神病ニ付キシマテハ隨分サウ云フ病名ガアルノデアリマス、サウシテ是等ガ中々治リニクイト云フコトハ、遺傳ガ濃厚ニアル家系カラ出タ病人ハ、如何ナル治療ヲヤリマシテモ、ソレニ抵抗スルト云フカ非常ニ頑固デアリマス、併シ實際ニ親兄弟ニハ餘リナイノニ、本人ダケニボツリト出タト云フヤウナ、非常ノ遺傳ノ薄イヤウナ者ハ、此ノ治療ガ能ク效クト云フコトハ原則的ナモノデアリマス、非常ニ治リニクイ分裂病ニ付キシマテハ、之ヲ如何ニ治療致シマシテモ、素人ノ眼ニハ殆ド治ツタヤウニ見エマスカ場合デモ、専門的ニ見マスト痕跡的ニ症狀ガ何カシラ殘ツテ居ルト云フノガ普通デアリマス、ソレガ將來再發シ續發スルト云フ因ニ相成ルノデアリマシテ、根本的ニ治ルト云フコトハ殆ド困難ハナカラウカト思ヒマス、併シナガラ割合ニ家族ニモサウ出テ居ラナイシ、發病モ初期デアルト云フヤウナ者ニ付キマシテハ、相當治ル見込ヲ以テ此ノ治療ヲ始めルコトガ出來ルノデアリマス、併シナガラ今日マデノ實驗ヲ集メマシタ所ニ依リマスト、發病致シマシテカラ既ニ半年以上經過

シテ居ル者ハ、其ノ效果ガ甚ダ薄イ、治リマス者ハ大概半年以内ノ者デアリマス、併シ精神病ハ御承知ノヤウニ、其ノ發病初期ニ於テ是ガ病氣デアルト云フコトハ、中々人ガ氣付カナイコトガ普通デアリマシテ、何ダカ此ノ節怒リツボクナツタトカ、氣ガ重クナツタトカ變ナコトヲ言ツテ居ル中ニ、半年位ハ直グ去ツテシマヒマシテ、多クノ場合ハ立遲レトナリ勝チデアリマスカラ、此ノ成績ニ依リマシテモ其ノ效果ガ非常ニ薄イコトハ、御諒解ガ出來得ラレコトト存ジマス、サウシテ遺傳因子ヲ治スヤウナ方法ガアリマス、是ハモウ勿論宜イコトデアリマスガ、遺傳病ハ總テ遺傳因子ニ病變ガアツテ起ルノデアリマシテ、ソレガ現象型ニナツテ分裂病ノヤウナモノニナリマスノデ、此ノ病氣ヲ押ヘマシタ場合デモ、遺傳因子ハ殘ツテ居リマシテ何等ノ變化ヲ受ケマセス、其ノ後容易チ「チャンス」デ再發シ、又三度モ四度モ起ルト云フノガ、法則的ナ事柄デゴザイマス、非常ニ要領ヲ得ナカウヤウデアリマスガ、大體是デ御諒承ヲ願ヒマス

○村松委員 私ノ御尋シタ三ツノ中一ツ御答ガ落チテ居ルヤウデアリマス、本法案即チ斷種ノ對象ニナル精神分裂症ト、「インシュリン」デ治ル範圍ノモノ、是ハ全然別個ノヤウニモ只今聞カレタノデアリマス、詰リ愈斷種スルト云フ場合ニ於テハ、色々家系調査ヤナンカヤツテ、サウシテ四親等ナリ三親等ナリニ頻繁ニ其ノ病氣ガ現ハレテ來テ居ル場合ノミガ本法ノ對象ニナルヤウデアリマスガ、治ル場合ト云フノハ單ニボツツリト發病シタト云フヤウナ場合ガ治ルノダト斯ウナリマス、治ル場合ト本法ノ對

象ニナル場合トノ間ニハ、多少ノ食ヒ違ヒト申シマス、相當ノ距離ガアルヤウニモ思ハレルノデアリマス、モウ一度更ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○青木說明員 ソレハ御説ノ通りデアリマス、優生法該當疾患例ト云フノガ、御手許ニ差上げテゴザイマスガ、其ノ第一頁ニ精神分裂病ト云フ段ガアリマス、ソコニ本病ノ症狀ヲ有スルモノノ中、遺傳ニ基クコトガ確認セラレ、且ツ經過不良ナル者ニ限ルト云フ註ヲ附ケテゴザイマスノハ、只今御話ノコトヲ其ノ儘現ハシテアルノデアリマシテ、實際上治療ニ依ツテ容易ニ治ツテシマフ、ソレカラ再發モシナイト云フヤウナ者ハ、本法ノ對象カラハ除外スル譯デゴザイマス

○杉山委員 先程ノ御説明デハ精神病ノ遺傳素質ト云フモノハ少シモ變ラナイ、唯罹病率ダケガ段々少クナツテ行ク、斯ウ云フ御説明ト見テ宜シウゴザイマス

○高野政府委員 私ノ申上ゲタ意味ハ、素質ト云フモノハ段々傳ハリ、ソレガ横ニ擴ガルト云フヤウナコトガアリ、御示シノヤウナ健康結婚ト申シマセウカ、健康者トノ配合ヲ良クスレバ、其ノ範圍デノ罹病率ハ相當減ジ得ル場合モアラウト思ヒマス、先程優生課長モ申シマシタガ、丁度潜伏シテ居リマス者ト、同ジ惡性ノ素質ヲ持ツテ居リマス者ガ重リマス、ヤハリ發病スルノデ、是ガサウ云フ事情ノ下ニアリマスレバ、中々發病者ガ減ラナイコトモアリマセウ、可ナリ複雑ナル問題カト存ジマス

○杉山委員 本法案ノ中ニ、手術ヲ行フベキ疾患トシテアル中デ、ソレ等ノ病人ノ中ニハ、私モ素人デ能ク分ラナイガ所謂生

殖可能ノ者ガ多イダラウト思フ、併シ私共素人デスガ、氣違ヒヲ見テ居リマス時ニハ、モウサウ云フヤウナ能力ノナイ者ガ多イカノヤウニモ見テ居ルノアリマスガ、其ノ點如何デアリマスカ

○高野政府委員 生殖能力ノナイ場合ハ對象トナラナイと思ヒマス

○杉山委員 ソレハ能ク分ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ者ノ方ガ事實病人ノ中多イノデハナカラウカト云フ御尋デアリマス

○高野政府委員 是ハ病氣ノ症狀デゴザイマシテ、發病ノ初期等ニ於キマシテハ、却テ出生力ガ旺盛デアル場合ガ相當アルト考ヘラレマス

○杉山委員 昨日デゴザイマシタカ、此ノ手術ヲ行ツタ結果良好デアツタトシテ、特ニ癩患者ノ例ヲ申サレタノデアリマスガ、癩患者ノ例ト精神病患者ノ例トハ少シ問題ガ違フト思フ、癩患者ハ精神病者デナイノデアリマスカラ、其ノ研究ハ其ノ儘一寸受取り兼ネルト思フノデアリマス 精神病者デ之ヲ行ツタ豫後等ニ付テ、何カ調ベタモノガゴザイマスカ

○高野政府委員 吾々ノ手許ニハマダ數字ヲ擧ゲテ申上ル程ノ資料ハゴザイマセスガ、精神病患者デナケレバ相當ノ機會ニ行ハレテ居ツタ筈デアリマシテ、是ハ推定デアリマスガ、ソレ等ノ手術ヲ受ケタ者ガ格別異狀ヲ感じナカッタ、感じナケレバコソ相當ノ様ナモノガ歡迎サレル、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテモ格別支障ハナカッタノデアラウ、是ハ想像デアリマス、外國ニ於キマシテハ可ナリニ澤山ヤツテ居リ、例ヘバ獨逸ニ於テハ一年ノ間ニ五万人モヤツタト云

フ程デアリマシテ、ヤハリ其ノ豫後ノ報告モアルノデアリマス、格段ノ支障ガナイヤウニ心得テ居リマス、尙ホ附加ヘテ申シマスガ、女子ニ醫療ノ目的ヲ以テマシテ行ツタ事例ハ相當アルノデアリマス、今此處ニ數字ハゴザイマセケレドモ、格別ノ支障ナシニ行ハレテ居ル、是ハ產婦人科ノ先生ノ方々ノ話カラサウ考ヘテ居リマス

○杉山委員 今ノ御答辯デハ、實ハマダ半分ダケナノデス、健康體ノ者、或ハ他ノ疾患ノ者ニ行ツタ實例ノヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、私ノ伺ヒタイト思ヒマシタノハ、精神病者ニ行ツタ結果ドウナツタカ、ソレデナケレバ此ノ問題ノ對象ニハナツテ居ラナイノデアリマス、實ハ私ノ伺ツテ居ル範圍ニ於テハ、或ル精神病ノ醫者ガ躁鬱患者ナドニ行ツタ時ニ、却テ反對現象ヲ呈シテ憂鬱ナ者ガ暴レテ、結果ガ甚ダ良クナカッタト云フ御話ヲ伺ツタノデ、政府ノ方デサウ云フコトガ能ク御分リナラバ質シテ置キタイ、片方ダケ聽イテ居ツテハ問題ニナラナイと思ヒマスカラ、一應伺ツタノデアリマス

○高野政府委員 精神病者ニ斯様ナ手術ヲ致シマス、或ハ病人ニ依リマシテハ異常ノ刺激ニナリマシテ、興奮等ノ場合ガ時ニアルカモ知レマセス、御話ノヤウナ事例ハ多分アツタコトデアリ、又屢、外ノ方ニモ見ラレテ居リマスガ、是ハ所謂一時的ノ現象デアリマシテ、之ヲ鎮靜保護スルコトニ努メマスレバ、持續的ノ障礙ガナイノデハナカラウカト存ジマス、何分精神異狀ノ者デアリマスカラ、之ニ手術ヲ加ヘマス時ニハ、餘程慎重ニ致サナケレバナリマセス、過失ガアツテハイケマセスカラ、其ノ點ハ能ク

注意スル積リデアリマス、唯先程獨逸ノ御話ガアリマシタガ、精神病患者ニ多數致シマシタノハ獨逸、亞米利加デアリマシテ、是ハ長イ間ニ相當數アルト思ヒマス、此ノ方ノ報告ニ依リマス、著シク障礙ヲ見タ場合ハ——ソレハ絕對ニナイト申ス譯デハゴザイマセスガ、問題ニスル程多クハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレテ居リマス

○杉山委員 唯其ノ事ヲ伺ヒマシタノハ、實ハ精神病ニナツタダケデモ家族ノ者ハ非常ニ關心致シテ居ルト思ヒマス、然ルニ拘ラズ手術ヲ行ツタ結果、一時ニセヨ症狀ガ惡クナツタ、斯ウ云フコトヲ見マスルト、家族ノ者ノ氣持ハ一層ヤハリ惡化致シマシテ、今後サウ云フモノハ行ハフト致シマスレバ、相當ナ反對ナリ、或ハ申告スルニ對シテモ同意ラセナイト云フヤウナ實情ガ起ツテ來ヤシナイカト云フ心配モアリマスノデ、此ノ點伺ツタノデアリマス、マダ日本ニサウ云フ實例ハナイト云フコトデアリマスレバ結構デアリマス、其ノ點ノ問題ハ其ノ位ニ致シテ置キマス、此ノ法案ヲ決メマス前ニ慎重審議、體力審議會ノ議ヲ經テ茲ニ來タ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、單ニ審議會ノ委員ノ方バカリデハナシニ、廣ク日本ノ民間ノ精神病ヲ扱ツテ居ル、サウ云フ有名ナ方々ノ御意見デモ御伺ニナツタノデアリマセウカ

○床次政府委員 此ノ問題ニ關シマシテハ、體力審議會ニ掛ケマス前ニ民間ノ意向ヲ聽イテ居ルノデアリマスガ、特ニ精神病者ヲ扱ツテ居リマス所ノ精神病院長等ノ意見ニ付キマシテモ、之ヲ行フニ於キマシテハ、實際ノ取扱ノ經驗ヨリ本案ノ如キ律制ノ出來マスコトニ付キマシテ、強イ要望

ガアツタノデアリマス、又體力審議會ニ於キマシテモ單ニ審議會ノ委員ノミナラズ御手許ニ專門委員ノ名簿ガ出テ居ルト思ヒマスガ、精神病ニ於キマシテハ帝大ノ三宅名譽教授、或ハ内村教授、慶應ノ植松教授等、精神病ノ專門教授ヲ初メ生理學、衛生、外科、遺傳學、各方面ノ專門家ノ方ニ專門委員ヲ御願致シマシテ、十分此ノ實施上ノコトニ付キマシテ御意見ヲ御述願ツタノデアリマシテ、其ノ結果ニ付キマシテモ、ヤハリ茲ニ專門委員長ノ報告ト致シマシテ御手許ニ參ツテ居ル筈デアリマスガ、何レモ此ノ手術ニ付キマシテハ危險ノナイモノデア

ル、又病氣ノ認定等ニ付キマシテモ、遺憾ナク出來得ルモノデアルト云フ答申ヲ得タノデアリマス、御參考マデニ申上ゲマス

○杉山委員 サウ云フヤウニ慎重ニオヤリニナツタコトト信ズルノデアリマスガ、現ニ民間ノ精神病ヲ扱ツテ居ル醫者ノ中ニハ、相當反對モアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、委員ノ中デモ相當反對ノ人モアツタト云フコトモ伺ツテ居ルノデアリマス、此ノ議事録ニハ出テ居リマセスガ、サウ云フコトガアツタノデアリマスカ

○高野政府委員 此ノ優生斷種ト云フ案ノ準備中ノコトガ段々世ニ傳リマシタ時ニ、精神病專門家ノ中ニ色々御意見ガアリマシタコトハ御話ノ通りデアリマス、精神病ト云フモノヲ悉ク遺傳病ト認メ、悉ク之ヲ強制斷種スルヤウニ考ヘラレタ方ガ相當多ウゴザイマシテ、其ノ方面カラ反對ノ意見ガ相當世ノ中ニ現ハレマシタ、斯様ニ致シマスルト精神病患者ト云フモノハ、醫師ノ治療ヲ請ハナクナルデアラウ、又精神病醫學ノ發達ヲ害スルデアラウト云フヤウナ意見

ガアリ、又精神病ヲ全部遺傳病ナリトスル考ヘ方ニ反對ノ方々モアリマシタ、但シ今マデ御説明致シマシタウニ、精神病ハ全部遺傳病デアルト云フコトハ固ヨリ考ヘテ居リマセシ、其ノ遺傳ノ關係確實ナルモノニ付キマシテ、且ツ治療等ノ不可能ナル者ニ對シマシテ、任意申請ヲ原則ト致シマシテ、斯様ナル案ガ出來タト云フコトガ傳ハリマスルト、大抵ノ關係者ハ何レモ賛意ヲ表シテ居ルヤニ感じテ居リマス、只今モ申シマシタガ、全國ノ精神病院長ノ聯盟ノヤウナモノガアリマシテ、其ノ會議ノ席上デモ之ニ同意セラレタヤウナ次第デアリマス

○杉山委員 次ニ御尋シテ見タイト思ヒマス點ハ、遺傳性ノ聾啞者ノ問題デアリマス、是ハ實際ドノ位アルノデアリマスカ、聾啞ノ遺傳ガ相當ニ優性ダト云フコトハ同ツテ居リマスガ、正確ナ數ガ餘リハツキリ知レテ居ラナイヤウデアリマス、何デモ今年ノ耳鼻咽喉科學會カラモ、聾啞者ノ正確ナ數ヲ調べテ欲シイト云フ請願カ何カガアツタヤウニ聞イテ居リマスガサウ云フ聾啞者ノ正確ナ數、又其ノ内遺傳ニ依ルモノガどれ位アルカト云フコトモ、若シ御分リデアリマシタナラバ示シテ戴キタイ、若シ分ラナイナラバ、今後體力管理ナドノ時ニ於テ十分サウ云フ調査ヲシテ戴イテ、數ノ明瞭ニナルヤウナ方法ヲ取ツテ戴キタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 正確ナ數字ハマダ調査モ致シマセヌヤウナ譯デアリマスガ特別ニ研究致シマシタ方ノ推定ニ依ルト、全國ノ聾者ガ三万七千人ト報告セラレテ居リマス、其ノ四〇%ガ遺傳性デアラウ、斯ウ云フ資料ガアリマス、此ノ資料ハ差上ゲテアルト思

ヒマス、尙ホ御説ノ如ク斯ウ云フ方面ノコトモ十分ニ調査ヲ致シタイト思ヒマス

○杉山委員 優生手術ヲ行フ時ハ、中央及ビ地方ニ於テ優生審査會ニ掛ケルコトニナツテ居リマスガ、其ノ委員ノ額額ナドモドナカク御聽ニナツテ居ツタヤウデアリマスガ、サウ云フ場合ニ、勿論専門家ノ入ルノハ當然デアリマスガ、體力審議委員會ニ色ノ方ガ入ツテ居ルガ如クニ、或ハ婦人ナドモ時ニ入レル必要ガアルノデハナイカト思ツテ居リマスガ、サウ云フ點ニ付テハ何カ考慮ガ拂ハレテ居ルカドウカ御致シマス

○床次政府委員 優生審査會ノ委員ニ付キマシテ、ドウ云フ人ヲ委員ニ任命スルカト云フ御尋デアリマスガ、此ノ審査會ナルモノハ、疾患ガ果シテ本法ニ規定致シマシタヤウナ疾患ニ該當スルカドウカト云フコトヲ審査致シマシテ、知事ナリ厚生大臣ニ意見ヲ述ベル機關デアリマスノデ、其ノ委員ハ何レモ其ノ方面ノ専門的知識ヲ持ツテ居ル人々ヲ選ビタイト存ズルノデアリマス、其ノ數ハ大體地方デハ十名以内、中央デハ二十名以内ニ致シタイト思ヒマス、尙ホドウ云フ種類ノ人カト申シマス、醫師、遺傳學者、判事、檢察、是ハ公益代表ト云フヤウナ意味デアリマス、ソレカラ衛生官吏或ハ關係各官廳ノ幹部、其ノ他斯ウ云フ方面ノ専門的知識ヲ持ツテ居ル者ヲ以テ組織致シタイ、純然タル専門的立場ニ於キマシテ、疾患ニ付テ判斷ヲ致スノデ、専門家ノ意見ヲ尊重スルコトヲ主ニ致シテ作ツテ居ルノデアリマス

○杉山委員 多少誤解ガアリマシタカラ同ツタノデスガ、ソレデ結構デアリマス

次ニ御致シタイ點ハ、先般モ本會議デ申述ベマシタヤウニ、消極的ナ方法トシテハ斯ウ云フ事ヲ御ヤリニナルコトモ結構デアリマスガ、寧ろ國民優生ナラバ積極的ニヤハリ人口増加ノ途ヲ圖リ、或ハ消極的ノ一部ノ人口低下防止ノ方法ヲ考ヘテ行クコトノ方ガ目下ノ急務デハナイカ、私ハ此ノ事ガ惡イト言フノデハナイガ、人口増加ノ方法トシテ、色々執ラナケレバナラス途ハ此ノ間私達ハ本會議デ述べテ置キマシタガ、私ハ結核、花柳病竝ニ下痢、腸炎、肺炎斯ウ云フ問題ニ付テノ對策ヲモツト強クシテ行カナケレバナラスデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ人口減少ノ原因ノ中ニ色々ナモノガアルガ、ヤハリ民族毒トシテノ酒、或ハ花柳病ト云フモノガ大キナ原因ヲ成シテ居ルコトハ、厚生省ノ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ此ノ問題ヲ積極的ニ並行シテヤツテ行クニアラズンバ、國民優生ノ途ハ立タスト思ヒマス、此ノ方法デハソレハ民族ノ素質ヲ良クシテヤルト云フ方デ、極メテ效果ノ薄イ方法デアルノデアリマス、效果ガ少イカラヤラス方ガ宜イト言フノデアリマセヌノデ、ヤルコトハ必要デアリマスガ、目下ノヤウナ場合ニハ、之ヲヤルト同時ニ、モツト積極的ニ他ノ方面ニ力ヲ入レルベキデハナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス、ソコデサウ云フヤウナ民族毒ノ問題ニ付テ、政府ニ於テハモツト積極性ヲ持ツ考ガアルカドウカト云フ點ヲ、此ノ際同ツテ置キタイト思ヒマス

○高野政府委員 積極方策ノ必要デアリマスコトハ洵ニ仰セノ通りデアリマシテ、先日大臣カラ御答辯申上ゲマシタ際ニモ、同ジ意味デ申上ゲタコトト存ジマス、疾病

豫防ニ十分力ヲ致シマシテ、隨テ死亡率ヲ引下ゲルト云フコト、又民族毒ノ濫用ヲ防止致シマシテ、人類ノ胚種ニマデ及ボス其ノ毒ノ惡影響ヲ極力避ケルト云フヤウナ點ハ、洵ニ十分ニ致サネバナラス點デアリマス、ソレカラ酒ノ問題——私ナドカラ申上ゲマシテモ餘リ御満足ガ行カヌト思ヒマスガ、是ハヤハリ國策ノ一端トシテ酒ノ害ヲ如何ニ調節減退セシメルカト云フコトモ、十分ニ考究セネバナラスコトト感じテ居ル次第デアリマス

○杉山委員 尙ホ色々質問シタイ點ガアルノデアリマスガ、私ハマダ資料ヲ十分讀ンデ居リマセヌシ、尙ホ他ノ委員會ニモ出マス關係ガアリマスノデ、今日ハ是デ打切りマシテ、後戴イタ資料ヲ能ク讀ンデ、モウ一應質問サシテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置イテ、私ノ今日ノ質問ハ是デ終ツテ置キマス

○八木委員 ドウカ此ノ次ハ早イ御出席ヲ願ヒマス——山川君

○山川委員 私初メテ大臣ニ伺ヒタイ事ガアリマス

○八木委員長 ソレデハ今呼ビニ參リマスカラ……

○伊藤委員 其ノ間ニ一寸關聯シテ伺ヒタイト思ヒマス、私ハ本法案ニ付キマシテ、當局ガ吾々ニ御渡シ下サイマシタ資料ヲ昨夜來ボツ——拜見ヲ致シマシテ、如何ニ御苦心ナサツテ居ルカト云フコトヲ拜察致シマシテ、非常ニ感謝ノ意ヲ表スル者デアリマス、本案ノ如キハ、成程昨日來色々御説ヲ拜承致シマシタガ、併シ何ト云フテモ時局柄、殊ニ國家百年ノ大計ヲ樹立シテ下サレルコトデアリマスカラ、何卒政府ニ於

キマシテハ斷々乎トシテ此ノ優生法ノ成立ニ付キマシテ御努力下サルコトヲ切ニ希望シテ已マナイ者デアリマス、先程豫防ノ問題ニ付キマシテ杉山委員カラ御話ガアツテ思付キマシタノデスガ、實ハ其ノ點ニ付テ少シク御所見ヲ拜聴シタイト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、曩ニ私が建議委員會ニ於キマシテ、古着ノ消毒徹底ニ關スル件ニ付テ當局ノ御所見ヲ承リマシタ、一松政府委員ノ御答辯ハ、洵ニ御尤モノ御説デアリガ、併シソレハ既ニ法規ヲ以テ相當取締ツテ居ルカラ、十分トハ言ヘナイケレドモ尙ホ一層考慮ヲスルト云フ、其ノ場通レノヤウナ御答辯ヲ得マシタノデスガ、時局柄古着着用ト云フコトハ、資源愛護ノ意味ニ於キマシテモ、吾々ハ大イニ強調シタイノデアリマス、然ルニ内務省ノ其ノ取締法規ト云フモノガ、非常ニ緩漫デアル、又一方ニ於キマシテ國民ノ衛生思想ト云フモノハ非常ニマダ低イノデアリマシテ、古着ヲ利用致シマスルコト、丁度私ノ方ノ岐阜ニ於ケル市場ニ出ル所ノ古着ノ數ヲ調査シテ見マスルト、一年ニ約七十萬點、此ノ中ニハ或ハ結核患者ノ使用致シマシタ所ノ衣類、寢具、サウシタモノガ其ノ儘ソツクリ市場へ出ル、成程警察ニ於テ結核其ノ他傳染病ナドノ取締ヲ相當致シテ居リマスルモノノ、尙ホ徹底ヲ缺キマスコトノ甚シキモノアルコトヲ私共常ニ痛感ヲ致シテ居ル次第デアリマスルガ、斯ウシタ法規ヲ御立テ下サレマスル此ノ際ニ、古着ノ消毒ト云フコトニ對シマシテ、モツト其ノ法規ヲ強化サレマシテ、サウシテ消毒ノ検査證ノアルモノニ限ツテ市場ニ於テ取引ヲサセルト云フガ如キ、極ク強化シタル規則デモ一ツ

御出シヲ願ツテ、サウシテ一方ニ於テ古着ノ着用ヲ益、サセルト同時ニ、此ノ法律ノ實行ニ付テ嚴重ナル御取締ヲ講ゼラレル御意思ハナイカ、之ヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○高野政府委員 消毒ノ點デゴザイマスガ、傳染性ノ病氣ノ豫防、防遏ノ根本ノ問題ガ消毒デゴザイマスカラ、私共モ常ニ消毒ニ遺憾ナカラシコトヲ期シテハ居リマスガ、御示ノ如ク、折角アル規則等モ履行ガ或ハ十分デナイト云フコトガゴザイマセウト思ヒマス、結核ナドノ場合規則ノ上カラ申シマスレバ、結核患者ノ着用シタモノハ、未消毒ノ儘他人ニ授受スルヤウナコトガナカルベキコトニハナツテ居リマスガ、中々左様ニ參ラス實情デアラウト考ヘマス、何レニ致シマシテモ、病者ノ付イテ居リマス衣類ノ如キヲ消毒セズニ使用致シマスルコトハ、危險千萬ナコトデゴザイマスルカラ、御示ノコトヲ十分體シマシテ、能ク研究ヲモ致シ、實際ニ效果ノアルヤウナコトヲ十分考ヘルヤウニ致シタイト思ヒマス

○伊藤委員 尙ホ其ノ上申上グルコトハ甚ダ恐縮デアリマスルガ、結核患者ノ使用シテ居リマスル寢具アタリノ如キハ、地方ノ醫者ト致シマシテハ、假令結核患者ト云フコトヲ承知シテ是ガ診察ヲ始終致シテ居リマシテモ、ヤハリ後ニ遺ツタ者ガ、結核デ死シタト云フヤウナコトガ世間ニ知レテハト云フコトデ、又醫者ノ方デハ、自分ノイツモノオ得意様デアアルカラ、假令結核患者デアリマシテモ、其ノ診斷書ニハ或ハ胃腸病トカ何トカ云フヤウナ宜イ加減ナ診斷書ヲ認メテ居ルノガ普通デアリマス、ソレデ其ノ蒲團ノ如キハ、其ノ儘ソツクリト古着商

ガ、サウ云フ病氣デアリマスルガ故ニ極ク安値デ拾値買ヒマシテ、サウシテ其ノ綿ノ如キハ、既ニ綿屋ヘ持ツテ參リマシテ、之ヲ打返シマシテ、新綿ト稱シテ市中ヘ賣買ヲシテ居ルト云フノハ、モウ是ハ田舎ニ於ケル通俗的ナ事ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、中々此ノ仕事モ容易ナ業デハナイト思ヒマス、之ヲ十分御取締下サイマスコトハ、人的資源ノ叫バレテ居リマス時、最モ其ノ必要ヲ感ズル次第デアリマス、何卒御取締ヲ嚴重ニサツテ下サイマスルヤウ、切ニ御願ヲ申シテ置ク次第デアリマス

○八木委員長 一寸申上ゲマスガ、今大臣ノ御出席ヲ請ヒマシタ所ガ、貴族院へ出テ居ラレテ、イツコチラヘ來ラレルカ、一寸確カナ御返事ヲ申上ゲ兼ネルト云フコトデゴザイマス

○山川委員 ソレデハ私が御伺申上ゲタイト思ヒマスノハ、此ノ法律ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト書イデアリマスガ、イツ頃カラ施行ニナリマス見込デアリマスガ、〔委員長退席、村松委員長代理著席〕

○高野政府委員 來年度ニハ、此ノ法律ガ通過致シマスレバソレヲ豫定シテゴザイマスガ、準備ノ積リデ、優生思想宣傳ト云フ名目デ三萬圓程豫算ガ取ツテゴザイマス、是ハ詰リ國民一般ニ優生關係ノ思想ヲ普及徹底シテ、此ノ制度ガ施行サレマス時ニ遺憾ナク行ハレマスヤウニ、斯ウ云フ氣持デアリマスガ、實施ノ豫算ハ、此ノ次ノ議會ニ御願スルコトニナラウカト思ツテ居リマス

○山川委員 サウ致シマス、明年度ヨリ實施サレマスルコト云フコトニ付テノ、一箇年ノ事業ノ大體ト云フモノハ、只今實ヒマシタ資料ノ中ニゴザイマスカ

○高野政府委員 御手許ニアル中ニハ別ニナカツタト思ヒマスガ、只今申シマシタ三萬圓ノ豫算ヲ以テマシテ、國民啓蒙運動ト申シマスガ、或ハ先程モ運動ノ一端トシテ健康結婚ノ指導ト云フヤウナ事ハドウカト云フ御話ガアリマシタ次第デ、僅カノ金デアリマスガ之ヲ活用シマシテ、此ノ法律施行ノ準備ヲ進メタイト思ツテ居リマス

○山川委員 ソレヲ行ヒマス數等ニ付テハ、其ノ豫算ト對象シマシテ、十六年度一箇年ノ斷種法ヲ行フト云フ見込、ソレカラ以後大約アナタ方ノ計畫ニナツテ居ル所ノ數、ソレカラソレニ伴フ、三箇年デモ、五箇年デモ宜シイガ、凡ソソレヲ進メテ行クト云フ豫算ト、其ノ概數ト兩方承リタイ

○高野政府委員 ソコマデハマダ計畫ガ熟シテ居リマセス、唯準備デアリマスルガ、推算致シマスルニ約二十五萬人程ノ該當者ガアラウト云フ推定デアリマシテ、其ノ何「パーセント」ガ斷種ノ申請ヲシマスルカ、ソレハ啓蒙運動ト申シマスガ、教育運動ノ成績ニモ依リマセウガ、其ノ邊ノコトハ尙ホハツキリ考ヘ兼ネマスガ、大體思フヤウニ行クト致シマシテ、百萬圓位マデノ豫算ガアリマシタナラバ、相當ノ實施ガ出來ルノデハナイカ、此ノ程度ノ極クザツトシタ見込ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

〔村松委員長代理退席、委員長著席〕

○山川委員 百萬圓ハ一年デスカ

○高野政府委員 サウデス

○山川委員 次ニ伺ヒマスルガ、斷種ノ對

象ト云フコトニ付テ、其ノ對象ニハ癩ハ別
デゴザイマスカ

○高野政府委員 此ノ案デハ遺傳關係ノ病
人ダケデアリマシテ、隨ツテ癩ノ問題ハ別
デアリマスガ、關聯シテ居リマスノデ、
此ノ委員會ニ併記サレテ居リマス、癩豫防
法中改正法律案ノ中ニアリマスコトデ、詰
リ癩患者モ斷種ヲ受ケルコトガ出來ル、斯
ウ云フコトヲ規定シテアリマシテ、恐ラク
引續イテ御審議ヲ願フコトト思ヒマス

○山川委員 ソレデハ此ノ斷種法ガ若シ成
立ニ至リマセナンド時ニハ——癩ノ方ノ斷
種ハ只今ハ行ウテ居ルト云フコトヲ聞イテ
居ルノデアリマスガ、ソレハ行ヒ得ルノデ
アリマスカ

○高野政府委員 癩ノ斷種手術ハ特別ノ方
法トシマシテ從來既ニ相當數行ツテ居リマ
ス、此ノ事ノ刑法上適正デアルカドウカト
云フコトハ、司法省ノ當局ナドト相談ラシ
タコトモゴザイマスガ、差支ナイモノトシ
テ實行シテ居リマス、但シ此ノ國民優生法
案ガ決定致シマスルト、却テ癩患者ガ其ノ
手術ヲ受ケルコトノ途ガ塞ガレル虞ガアリ
マス、詰リ法文中ニ故ナク優生手術ヲ受
クル者ハ罰スルト云フヤウナコトガアリマ
スカラ、其ノ故ナキ者ニ該當スルカ、シナイ
カデ解釋ガ分レマスガ、ソコニ稍不安ガア
リマスノデ、態々癩豫防法中ニ一條文ヲ設
ケヨウ、サウシテ是ガ正シイ行ヒデアルト
云フコトヲ明瞭ニ致シタイト云フノデアリ
マス

ト云フコトニ決ツテ居ルノデスカ
○高野政府委員 精神病ノ中ニハ傳染性ノ
病原ニ依ツテ起ルノモノアルノデス、精神病
ガ傳染スルトハ申シマセヌガ、微毒ニ依ツ
テ起ル麻痺性癱瘓ト云フヤウナコトハ、是
ハ傳染病デアリマス、花柳病デアリマスカ
ラ傳染病デアリマシテ、微毒ノ蟲ガ腦髓ニ
喰入リマシタ時ニ、時アツテ腦病、即チ精
神病患者ニナル譯デアリマス、但シ是ハ傳
染病ニ依ツテ起ルノデアリマスカラ、此ノ
者ガ女房ニ感染セシメ、ソレガ精神病ニナ
ルコトガナイトハ申サレマセヌ、又其ノ者
ノ生ンダ子ガ時ニ依ルト胎内傳染ト申シマ
シテ、俗ニ遺傳微毒ト申シマス、是ハ嚴格
ナ意味デノ遺傳デアリマセヌガ、親譲リノ
微毒ニ依リマシテ、發狂スルヤウナコトモ
ゴザイマスケレドモ、是ハ此ノ法案ノ對象
ニハナリマセヌ、專ラ遺傳ニ依ル精神病ノ
ミヲ處置シヨウ、斯ウ云フ譯デアリマス

○山川委員 此ノ精神病ヲ分ケマシテ、性
惡ナノト、普通ノ精神病トアリマスガ、其
ノ性惡ノ分ニ付キマシテハ、白痴ヨリ起ル
コトモアリマセウシ、暴虐ナ性質、放火殺
人ト云フモノモ性惡ノ分ニ加ハルト思フノ
デアリマスガ、斯ウ云フモノガ遺傳ト云フ
コトニナリ、其人ヲ遺傳トシテ法律ヲ以テ
斷種ヲ行ツタ所デ、ソレノ兄弟、直系或ハ
同系ノ親戚等ニ同ジ危險ナ者ガアル譯デア
リマスガ、ソレニ對シテ斷種ヲ行フコトハ
出來ナイデアラウト思フノデアリマス、斯
ノ如クシテ性惡ナル精神病者ノ斷種ニ依ツ
テ、此ノ種ヲ斷ツト云フコトハ不可能ナリト
考ヘルノデアリマス、少シモ效果ガナイトハ言
ハレマセヌケレドモ、其ノ效果ハ洵ニ稀薄
ナルコトニナル、若シ其ノ目的ヲ貫徹シヨ

ト思ツタナラバ、今症狀ノ現ハレテ居ナイ
者デ遺傳的ナ者ニモソレヲ行ハナケレバ、
完全ナル目的ヲ達スルコトガ出來ナイヤウニ
ナルト思ヒマス、是ハ性惡ナル者ノミナラ
ズ、普通ノ精神薄弱者モ、或ハ躁鬱者モ、
精神分裂者モ、同ジ關係ニ置カレテ居ルノ
デアリマス、サウ云フ時ニ唯其ノ時ニ現
ハレタモノヲ以テ斷種ヲ行ツテ、何年經テ
バ、或ハ何十年經テバ其ノ最後ノ目的ヲ達
スルコトガ出來ルノデアルカ、私ハ第一回
ノ委員會ニ於テ、各國ノ斷種法ヲ行フ以前
ト行ツタ以後トノ成績ニ付キマシテ、資料
ガアルナラバ戴キタイト申上ゲテ置イタノ
デアリマス、此ノ資料ハマダ戴イテ居ラヌ
ヤウニ思フノデアリマスガ、ソレハ別ト致
シマシテ、ソレニ對スルアナタ方ノ最後ノ
目的ヲ達スル目途ハ付イテ居ルモノデアリ
マスカ、是ガ氣休メニ少シハ效果ガアルカ
モ知レヌト云フ程度デ、兎ニ角外國德斯ウ
云フ事ヲヤツテ居ルノデアルシ、是ハ文明
國ノ一ツノ法的組織デアアルカラ、我國ニモ
斯ウ云フモノヲ拵ヘナクテハ文化ガ遅レテ
居ルコトニナルト云フ、飾リニ過ギナイノ
デハナイカト云フ疑ヲ持ツノデアリマス、
之ニ對スル當局ノ御答辯ヲ願ヒタイノデア
リマス

○高野政府委員 精神病ノ遺傳ヲ持ツ者ヲ
全部斷種スルコトニ致シマスコトハ、是ハ
非常ニ困難ナコトデアラウト存ジマス、只
今御述ノ通り、精神病ノ素質ト云フモノハ
可ナリ薄ク廣ク擴ガツテ居リマスカラ、此
ノ全部ヲ問題ニシマス中ニ十分ノ事ハ出
來ナイ譯デアリマス、唯實際ノ問題トシマ
シテハ、精神病ガ現ハレルコトガ頗ル濃厚
デアリ、其ノ現ハレル危險ガ明白デアル、

斯ウ云フ場合ノミヲ選ンダノデアツテ、詰
リ惡性ノ精神病患者ダケヲ對象トスル、患
者デナイ場合ハ、特例ガ一寸アリマスガ、
是ハ第二段ト致シマシテ、患者ニ付テ主ト
シテ之ヲ行ハウト云フノハ、濃厚ナル點ニ
於テ危險ヲ除クト云フ譯デアリマス、例ヘ
バ結核菌ハ殆ド世ノ中ノ到處ニ散ラバツ
テ居ルヤウナモノデアリマスルガ、咽喉カ
ラ盛シニ結核菌ヲ吐出ス患者ハ之ヲ隔離致
シタイト云フコトデ、最モ濃厚ナル危險ヲ
取敢ズ處置シタイト云フ譯デアリマス、然
ラバ斯様ナ手術ヲシタ後、精神病患者ノ數
ガ何年經ツタラ何「パーセント」減ルカト云
フ御話デアリマスケレドモ、是ハ非常ニ困
難デ、ソレ程非常ニ澤山ノ處置ヲシタ國
ハ——獨逸ガ一番著シイノデアリマスルガ、
獨逸ノ此ノ方面ノ實施モマダ數年ヲ出デマ
セヌ、隨テ此ノ斷種ニ依ツテ子供ガ生レナ
カツタ、生レタ子供ハ精神病ニナラナカツ
タト云フコトハ、是カラ二十年位經チマセ
ヌト其ノ結果ガ出マセヌ、此ノ實施ノ最モ
舊イ「カリフォルニア」アタリガ三四十
年過
ギテ居ルト思ヒマスガ、是ハ極メテ少數ノ者
ヲヤツタダケデアリマスカラ、此ノ處置ニ
依リマシテ精神病患者ノ數ヲ著シク減シタ
ト云フ實績ハマダゴザイマセヌ、何時現ハ
レルカト申シマス、所謂百年ノ大計ト云
フコトニナリマシテ、甚ダソレデハ心細イ
デハナイカト仰セラルカモ知レマセヌガ、
此ノ施設ノ效果ニ二様アルト思ヒマス、一
ツハ社會全體ノ患者數或ハ患者率ヲ減スコ
トデアリマス、一ツハ斯様ナ危險ヲ持ツテ
居リマス個人ニ、或ハ是ノ危險ヲ救フコト
ガ出來ル譯デアリマス、自分ハ精神病ノ家
系デアリ、自分モ患者デアル、家庭ニモ患

者ガアリ、是カラ生レル子ハ恐ラクサウデアラウト云フコトガ、家系調査或ハ専門家ノ判斷等ニ依ツテ能ク分リマス時ニ、其ノ處置ヲ受ケ得ル途、即チ自ラ進ンデ斷種シタイト云フコトハ、是ハ能ク御議論ノ種ニナリマスガ、家族制度等ヲ別ニ破壊スル意味ハ少イノデハナカラウカト存ジマス、自ラ進ンデ國家社會ノ爲ニ、社會ノ迷惑ニナルヤウナクザノ種ハ斷タウ、詰リ滅私奉公ノ精神ヲ以テ、優生學ノ基礎ニ立ツテ、世ノ中ノ改善ヲ考ヘテ戴ク譯デゴザイマスガ、サウ云フ意味ノ途ヲ此ノ制度ニ依ツテハツキリ開ク、其ノ效果ハ少クトモ個人衛生、家庭衛生ニ歷然ト現ハレルコトノヤウニ存ジテ居ル譯デアリマス

○山川委員 劣悪ナル人種ヲ除クノガ目的デアリマスガ、社會ニ對シテ又個人ニ對シテ劣悪ナル人種ト云フノハ、精神病者ダケデハナイ、是レ以外ニ先天的ニ惡質ナ性質ヲ持ツテ居ル人類ガ世ノ中ニ澤山アルノデアリマス、日本國中デ年々裁判ニ付サレテ有罪ナリト決定サレル人種ハ夥シイ數デアリマス、其ノ中デ最モ惡イ罪惡ヲ行フテ居ル者ハ、社會ニ非常ナ害毒ヲ與ヘル、其ノ與ヘントスルノヲ防グ爲ニ、ソレヲソレノ處分サレルコトニナツテ居ルノデアリマス、精神病者トシテノ性惡者ハ、ソレカラ比ベマスルナラバ洵ニ少數デアリマス、又其ノ惡性デナイ所ノ精神病者ノ如キハ洵ニ氣ノ毒ナモノデアアル、其ノ個人其ノモノハ非常ニ可哀サウナモノデアリマス、社會ニ對シテ別ニ大シタ害ノナイ者モアルノデゴザイマス、是等ノ者ニ對シテ斯ウ云フ組織のナ斷種ヲサセナケレバナラス、一方社會ニ大變害惡ヲ與ヘル所ノ犯罪人ノ數ハ大變ナモノデア

リマス、ソレ等ハ厚生省ノ範圍ニハ屬シテ居ラヌカハ知リマセヌケレドモ、ソレヲ其ノ儘ニ捨テ置イテ、盜ミヲスル性質ノ者ニハ盜ミヲサセル、其ノ他種々様々ノ性癖ノアル者ニハ其ノ性癖ヲ自由ニ發揮サセルト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、斷種ヲ行ハントシテ居ル對象ト云フモノハホソノ或ル一部デアアル、而モ又ソレガ社會の害毒ノ洵ニ微細ナ部分ニナルノデアリマス、此ノ點カラ一ツ御伺ヲ申上ゲタイノト、モウ一ツハ之ヲ伺ヒマス上ニ於キマシテ伺ヒタイノハ、衛生狀態ノ總テノ組織デアリマスガ、是ハ癩病患者デアルトカ、花柳病患者、淋疾トカ微毒デアルトカ、又遺傳的疾患、結核、先天的ノ盲目トカ或ハ聾トカ云フヤウナモノモ澤山アルノデゴザイマス、是等ニ對シテハ厚生省ハ此ノ儘放ツテ置カレルノデアツテ、一番吾々トシマシテハヤリニクイ、厭ナ感ジノスル、洵ニ哀レナ感ジノスルモノカラ先ニオヤルニナルト云フコトハドウカト思フノデアリマス、私ハ大臣ガオ出デナリマシタ時ニハモウ一遍伺フ積リデアリマスガ、厚生省ト云フモノガ出來タ目的ハ、最モ大切ナル衛生ニ關スル組織デアラウト思フ、是ハ我國ニハ洵ニ其ノ組織ガ徹底シテ居ナイノデアリマス、ソレ等ヲドウサレルノデアルカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、此ノコトニ付キマシテ、厚生省ノ生レタト云フコトニ付テ、厚生省ノ持ツテ居ラレマスル今後ノ御計畫ヲ伺ハレマスルモノナラバ、是ハアナタ方限りノ範圍ノ分ニ付テモ宜シイノデアリマスカラ、詳細ニ御答辯ヲ願ヘマシタラ仕合セダト思ヒマス

○高野政府委員 先程御話ノゴザイマシタ犯罪ヲ犯サウナ者ノ取扱デゴザイマスガ、此ノ制度其ノモノハ別ニ刑事政策ヲ含ンデ居リマセヌノデ、遺傳ニ依ツテ發生スル疾病或ハ不具ト云フコトガ直接ノ對象デゴザイマスガ、實際ノ問題トナリマス犯罪者ノ可ナリ多クノ部分ハ精神異常者デゴザイマシテ、殊ニ此處ニ羅列シテゴザイマス第三ノ「強度且惡質ナル遺傳性病的性格」或ハ變質者ト云フヤウナ言葉モ使ヒマスガ、斯ウ云フ者ハ概ネ犯罪者ニナルヤウデゴザイマス、其ノ結果ニ於テハ犯罪者トナルノデアリマシテ、若シ甚シク惡質ナル強度ナル遺傳性病的性格ト云フモノモ——ソコニ性慾異常者ナドト云フ言葉デモ述ベテアリマスガ、斯様ナ者ガ若シ減リマスレバ、世ノ中ノ犯罪モ相當輕減シ得ルヤウニナルカト思フノデアリマス、殊ニ極ク惡質ナル者ヲ狙ツテ、左様ナ者ノ發生ヲ出來ルダケ阻止シヨウト云フノデゴザイマスカラ、幾ラカハ只今御話ノアリマシタコトトモ併行スルト思フ次第デアリマス、ソレカラ次ニ衛生上ノ他ノ問題ヲ閑却シテ居ルノハ宜シクナイト云フ仰セデアリマシテ、是ハ洵ニ御尤モト存ジマス、私豫防局關係ノコトノミヲ申上ゲマシテモ、結核ヲ豫防センガ爲ニ結核豫防法ト云フモノヲ持ツテ居リマシテ、其ノ法律ヲ基礎ト致シマシテ各般ノ施設ヲ致シテ居リマス、又花柳病豫防法ト云フモノモゴザイマス、寄生蟲病豫防法ト云フモノモゴザイマスカラ「トラホーム」豫防法、精神病院法ト云フモノモゴザイマス、精神病者監護法ト云フヤウナ、法律ノ名前ヲ舉ゲマシテモ相當數ニ上ル程デアリマシテ、唯此ノ法律ヲ實施シマシテ各般ノ施設ヲ十分ニシテ行キマスレバ、結核モ減リ、花柳病モ減リ、御

話ノアリマシタヤウナ國民ノ健康狀態ノ改善ヲ期シ得ラルベキデアリマスルガ、何分從來ノ施設ガ薄弱デアリマシテ、此ノ點申譯ナイヤウニモ存ジマスシ、又御鞭撻ニ依リマシテ餘リ遠カラズ各般ノ施設ガ充實シテ、目的ヲ達成シ得ルデアラウト期待スルコトモ出來ルノデアリマス、ソコデ此ノ制度デゴザイマスガ、是ハヤハリ私共ノ立場カラ申シマス、一種ノ豫防法案デゴザイマス、結核ニ對シテ結核豫防法ト申シマス如クニ、此ノ法律ハ遺傳性疾病豫防法、斯ウ申シテモ必ズシモ實質ヲ現ハサナイコトハナイト存ジマス、他ノ手デハ出來マセヌ病氣ノ療法デゴザイマス、詰リ消毒等デハイカス、治療デモイカス、此ノ方面ノ病氣ノ發生ヲ豫防スルニハ、即チ原因ガ身體ノ内部ニアルノデアリマスカラ、斯様ナ優生手術ト云フヤウナ少シク荒療治ニ依リマセヌト目的ヲ達シ難イノデアリマシテ、是ハ吾々ノ衛生施設ノ一番後ニ殘ツタ問題デゴザイマス、本質的ノ解決ハ只今申上ゲマシタヤウニ中々進ミマセヌガ、制度トシテハ、是ハ豫防醫學應用ノ最後ノ段階デゴザイマシテ、原因ガ外界ニアリマスルモノハ色々今マデノ法律デ參リマシタガ、原因ガ身體ノ内部ニアリマスルモノハ、斯様ナ手段ニ依リマセヌケレバ豫防ノ效果モ舉ゲ得ナイ、斯ウ云フ立場カラ最後ノ問題トシマシテ遺傳ニ依ル疾病ノ豫防ヲセメテ斯様ナ手段ニ依リマシテデモ幾ラカデモ減シ、又此ノ施設ガ充實スレバ相當效果ヲ舉ゲ得ルデアラウ、斯ウ云フ意味デ一番後ニ取殘サレマシタ疾病豫防ヲ是カラ御願スル、斯ウ云フ積リデゴザイマス

○山川委員 大分分リマシタガ、癩病トカ

或ハ結核トカ、花柳病トカ、サウ云フモノニ付テノ法令ハソレハ出来テ居ル、此ノ斷種法モ——是ハ優生法ト書イテアリマスガ、私ハ斷種法ト申上ゲルノデス、此ノ斷種法モ其ノ一種デアルト云フ御説明デゴザイマス、他ノ法律ハ大抵半強制的ニナツテ居ル、結核患者ヲ收容シマシタラ、結核患者ニハソレハ結核ノ傳染ヲ防グト云フコトニ付テノ法令ガ決ツテ居ル、癩患者ニ付テハ、是ハ一定ノ場所ニ集メテソレハ之ヲ治療スルト同時ニ、他ニ傳染スルコトヲ防グ所ノ方法ガ作ツテアリマス、總テ皆ソレデナケレバ法律ト云フモノハ役ニ立タナイ、所ガ此ノ斷種法ニ限ツテハ任意ニナツテ居ル、任意法デアリマス、社會ニ如何ナル害ノアル者デモ大部分任意デアリヤウニ思ヒマス、是デ強制的ニヤルト云フ強イ所ハ、ドノ邊ヲ指シテ強イ所ニナルト云フノデスカ、法トシテ行フ上ニ於テ、唯行ツタ者ニ對シテノ罰則ハ設ケテアリマスケレドモ、必ズ之ヲヤラナケレバナラスト云フコトガ缺ケテ居ル、是ハ任意制ニナツテ居ルノデスカ、之ニ付テ伺ヒタイ

○高野政府委員 色々ノ豫防法ト云フモノガアリマシテ、其ノ中ノ已ムヲ得ザル部分ハ強制スルコトモアリマスガ、疾病豫防ノコトデアリマスカラ、必ズシモ強壓スルコトガ本旨デモナイ、要スルニ病氣ガ癒ツテ行キマスレバ宜イノデ、場合々々ニ依ツテ色々變ツテ來ルト思ヒマス、此ノ制度ニ於テハ何分問題ガ複雑ナモノデゴザイマスカラ、徹底的ニ之ヲ行フコトハ、殊ニ現狀ト致シマシテハ如何デアラウカ、成ベク國民ノ理解ヲ進メルト同時ニ、其ノ施行範圍ヲ擴充シテ行ク方ガ宜カラウト云フノデ、原

則トシマシテハ任意デゴザイマス、但シ一部分ニ於テ申請ヲ強制的ニ爲シ得ル部分ガアリマシテ、是ハ第六條デゴザイマス、其ノ強制申請ノ範圍ヲ若シ世ノ中ノ實情ニ應ジマシテ擴ゲテ行キマスレバ、相當ノ分量ニ之ヲ行ヒ得ルヤウニナラウトモ考ヘラレマス、ソコデ申請ヲ強制的ニシマシタ場合ハ、之ニ續キマシテ手術ガ本人ノ同意ノナイ場合デモ行ハレルト云フコトニナリマス、詰リ強制手術ノ途ガ出来テ居ルノデアリマス、唯如何ナル程度ニ之ヲ施行シテ行クノガ實際ニ合致スルカト云フ點デハ色々御意見ガゴザイマセウト思ヒマス

○山川委員 會テ、本年ハ政府カラ民族優生法ト云フモノヲ出ス、ソレニハ斯ウ云フ風ニ今度ハ法ヲ變ヘテ出スノデアルト云フヤウナコトガ新聞ニ載ツテ居リマシテ、其ノ時ニ詳シク其ノ新聞ヲ見タノデアリマス、所ガ其ノ時ニハ秘密主義ト云フノガ取ツテアツタ、昨年私ハ討論ニ於キマシテ此ノ秘密主義ノコトヲ非常ニ強調シテ置キマシタ、私ノ討論ノ速記モアリマスガ、其ノコトヲ非常ニ強く主張シタノデアリマス、所ガ只今此處ヘ出テ居リマス法律ハ又コロツソレガ變ツテシマツテ、秘密主義ト云フモノハ取ラレテシマツタ、之ニ付テハドウ云フ考デ、一旦アレヲ入レナケレバナラスト云フコトヲ御氣付ニナツテ居リマシタノヲ取ツタカ、アレハ私ノ五ツ程掲ゲマシタ討論ノ反對項目ノ一番大事ナモノデアツタノデゴザイマスガ、ソレヲ又除カレマシタト云フノハ、他ニ何カ審議ノ結果除カレタノデアリマセウカ、其ノ理由ヲ承リタイ

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ、手術ヲ受ケマシタ者ガ結婚スル場合ニ之ヲ相手方ニ知ラセロト云フ點デゴザイマスカ

○山川委員 サウデス

○床次政府委員 職務上ニ付キマシテハ昨年ノ御意見ガアリマシタガ、今回ノ規定ニ於キマシテハ第十九條ニ於テ故ナク秘密ヲ漏ラスコトガ出来ナイト云フ規定ガ入ツテ居ルノデアリマスガ、結婚ノ場合ニ於キマシテ本人ガ手術ヲ受ケタト云フコトヲ他人ニ知ラセロト云フコトニ付キマシテ、昨年ノ御意向モ能ク承ツテ居ルノデアリマス、尙ホ審議會ニ於キマシテモ此ノ點ニ付キマシテ十分意見ヲ拜聽致シマシタ、速記ニモ其ノ關係ノ委員長ノ報告ガ出テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ種類ノ患者ガ結婚致スト云フコトハ、現在ノ狀態ニ於キマシテハ普通ノ場合ニハアリ得ナイ、能ク見テ居リマスレバ、斯ウ云フ種類ノ患者ハ、何人ガ結婚致シマス場合デアリマシテモ、健全ナ人間達ヘテ結婚スルト云フコトハ割ニ少イノデハナイカ、ソレデ相手方ニ、特ニ自分ガ手術ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ言ハナクテモサウ云フ種類ノ病氣デアルト云フコトハ分ルガラウ、ソレデ昨年ノヤウナ御意見カラ申シマシテ、相手方ヲ保護スル意味ニ於キマシテ知ラセロト云フコトモ考ヘラレケレドモ、實際ニ於テハ其ノ必要ハ比較的ナイノデハナイカ、尙ホ現在ノ日本ノ結婚ノ習慣カラ申シマシテ、結婚スル際ニ、自分ガサウ云フ手術ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ公ニ話ラシテ、ソレカラ結婚スルト云フコトハ、我國ノ結婚ノ習慣カラ云ツテ少し遠イト思ヒマス、又ソレハ實際ニ於テ中

ニサウ云フコトハ生ジナイノダカラ、ナクテモ宜イノデハナイカト云フノガ審議會ノ意見デアツタノデアリマシテ、今回ノ原案ニ於キマシテモ、其ノ意見ヲ採用シテ、自分ガ手術ヲ受ケタコトヲ公ニスルト云フコトハ書イテナイノデアリマス

○江原委員 關聯シテ伺ヒマス、今ノ強制申請ノ問題デアリマスガ、其ノ申請スル人ハ誰ト誰ニナルノデスカ

○床次政府委員 只今第六條ノ點ニ付テ御意見ガアリマシタノデ、六條ノ御説明ヲ申上ゲマス、之ヲ一應朗讀致シマス「前條ノ規定ニ依リ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得ル者本人ノ疾患著シク惡質ナルトキ又ハ其ノ配偶者本人ト同一疾患ニ罹レルモノナルトキ等其ノ疾患ノ遺傳ヲ防遏スルコトヲ公益上特ニ必要アリト認ムルトキハ同條ノ規定ニ依リ必要ナル同意ヲ得ルコト能ハザル場合ト雖モ其ノ理由ヲ附シテ優生手術ノ申請ヲ爲スコトヲ得」トアリマスノハ、第五條ヲ見マスと分リマスガ、本人ヲ診察致シマシタ精神病院長、保健所長、醫師ト云フ人ガ本人ノ病氣ヲ能ク知ツテ居リマスカラ、先ヅ一應ハ優生手術ヲ受ケルコトヲ奨メル、自發的ニ手術ヲ受ケタラドウカト云フコトヲ奨メル、第五條ニ依リマシテハ、本人ガ同意致シマスレバ、醫師ガ申請出來ル途ヲ開イテアリマス、然ルニ惡質ナル患者デアリナガラ手術ヲ受ケルコトヲ肯ジナイ場合、之ヲ本人ニ委シテ置キマスレバ、社會ノ一番困リ者デアリマス者ガ手術ヲ受ケナクテ、理解ガアツテ申請シタ者ダケガ優生手術ヲ受ケルト云フコトハ、却テ惡イ者ガ殘ルコトニナリマスカラ、第六條ニ於キマシテ、惡質ノ疾患ガアル場合ハ、本人ノ同意ガナイ場合デモ手

術ガ出来ル、本人ノ病狀ニ付テ能ク知ツテ居ル者ガ申請出来ルコトニナツテ居リマス、此ノ場合ハ但シ申請致シマス場合ノ限定ガアリマスノデ、此處ニアル如ク、本人ノ疾患著シク惡質ナルトキ、只今山川委員ヨリ御話ノアリマシタヤウニ、社會ニ甚シク害ヲ與ヘル場合、或ハ配偶者モ罹患シテ居ル、此ノ場合ハ子供ガ必ズ發病スルコト云フ位酷イモノデアリマスカラ、是ハ優生上放ツテ置キ難イノデアリマシテ、此ノ場合ハ強制申請ヲ爲シ得ル、ソレニ付テハ慎重ナ手續ヲ執リマシテ審査致シマシテ、必要ガアルト云フ場合ガ認メラレマスレバ強制申請ガ出来ルト云フ途ヲ開イテアルノデアリマス

惡質ノ疾患ヲ蔓延サセルコトヲ防止スルコト云フ目的デアリマシテ、犯罪ヲ防止スルコト云フ意味デハナイノデアリマス、先程モ高野政府委員ヨリ御話ガアリマシタヤウニ、犯罪者ノ犯罪其ノモノガ遺傳スルコト云フコトハ、考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、遺傳性ノ精神病者ガ犯罪スルコト云フコトハアル譯デアリマス、其ノ精神病ガ遺傳致シマスレバ、遺傳ニ依ツテ其ノ子孫ガ、ヤハリサウ云フ罪ヲ犯ス虞ガアルノデアリマス、サウ云フ立場カラ之ヲ強制致シマスノデ、別ニ犯罪ヲソレニ依ツテ防止スル、制裁スルコト云フコトハ直接ノ目的デハナイノデアリマス、サウ云フ病者ガ殖エルコトヲ抑ヘルト云フ優生ノ目的デアリマス、デアリマスカラ結果ニ於テハ、サウ云フ素質者ガ減リマス關係上、罪ヲ犯ス者ガ減ルト云フコトニナルカト思ヒマスガ、ソレハ結果デアリマシテ、目的ト致ス所ハ飽クマデスル素質ヲ有スル者ガ殖エマスコトヲ、抑ヘルコト云フ點ニ出テ居ルノデアリマス

テ、法理學上ドウ云フ風ニナルノデアリマスカ

○床次政府委員 衛生法規ニ於キマシテ衛生上棄テ置キ難イコト云フ時ハ、本人ノ自由ヲ拘束致シマシテ、之ヲソレノ療養所ニ強制スル、例ヘバ癲癩者ナラバ癲癩養所ヘ收容スルコト云フコトガ、認メラレテ居ルノデアリマス、ヤハリ精神病者ニ於キマシテモ之ヲ監置スル、其ノ監置ニ對シマシテモ相當強イ權限マデ與ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ場合ニ於キマシテモ同様デアリマシテ、本人ヲ放置シテ置キマスト惡イ素質、特ニ惡イ素質ヲ社會ニ殘ス、是ハ優生上甚ダ棄テ置キ難イ問題デアリマスノデ、其ノ立場上本人ヲ拘置スルノデアリマス、其ノ點ハ他ノ豫防法規ト全然同ジ目的デアリマシテ、是ハ刑法上ノ問題トナルノデアリマス

ナルノデアリマスカ、ドウナルノデアリマスカ

○床次政府委員 只今ノ問題ハ司法省ノ方カラ御答スル方ガ宜イト思ヒマス

○田中委員 此ノ案デハ妊娠中絶ヲ三箇月以降デハシナイコトニナツテ居リマス、併シ三箇月デモ妊娠中絶ヲシナケレバナラス程惡質ノモノナラ、ナゼ之ヲ三箇月ニ限ルノデスカ、ナゼ四箇月以上ノモノハ中斷シナイノデスカ

○床次政府委員 只今ノ御質問ハ第十四條ニ關係スルモノデアリマス、優生手術ヲ行フベキモノト決定セラレタ者ガ、妊娠中デアリマス時ハ、其ノ者ノ申請ニ依リマシテ、妊娠三箇月以内デアリマスレバ、妊娠中絶ヲ爲シ得ルト云フ規定ヲ置イテ居ルノデアリマス、三箇月マデトナゼ限ツタカト云フ點ニナリマスレバ、是ハ優生上ノ點カラ申シマス、苟モサウ云フ惡質ノ素質ヲ持ツテ居リマス者ノ子供デアリマスカラ、其ノ胎内ニアリマス子供ハ、當然惡イ素質ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、假令三箇月デアラウガモツト大キクテモ、是ガ社會ニ出ルコトハ望マシクナイ、理論上カラ申シマスレバ、ヤハリサウ云フ子供ハ望マシクナイト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、併シナガラ餘リ大キナ胎兒ヲモ妊娠中絶ヲ致シマスコトハ、今日ノ社會觀念ノ實情カラ申シマシテ、洵ニ殘酷ナ點デアラウト思ヒマスノデ、本人ノ希望ニ依リマシテ、三箇月以内デアリマスレバ妊娠中絶ヲ受ケル、若シドウシテモ子供ヲ産ミタイト云フ場合ニ於キマシテハ、産マセルヤウニ致シタノデアリマス、三箇月ガナゼ一ツノ限界カト云フ點ニ付キマシテハ、或ハ三箇月ト四箇月ト

○江原委員 例ヘバ父親ガ反對デモ、本人ガ反對デモ、第六條ノ條件ニ當レバ醫者ガ申請出来ルト云フノデアリマスカ

○床次政府委員 本人ナリ、父母或ハ配偶者ガアツテ同意致サナカツタ場合デモ、本當ニ病氣ガサウ云フ風ニ惡イ、社會的ニ手術ガ必要ダト云フコトガ認メラレマスレバ、一應申請出来マス、更ニ最初ノ申請ハ本人ノ認定デ申請スルノデアリマスガ、果シテ其ノ病氣ニ該當シテ居ルカドウカト云フコトハ更ニ審査會デ十分審査スルコトニ致シマス

○山川委員 サウ致シマス第六條ノ規定ハ社會公益上非常ニ害惡ヲ流ス憂ヒノアル者ニハ、之ヲ強制的ニ行ヒ得ルト云フ譯デスネ、サウスルトハ一ツノ刑法ノヤウナ性質ヲ帶ビテ來ル法令ニナルト思ヒマスガ如何デスカ

○床次政府委員 只今ノ第六條ハ是ハ強制的ノ權力ヲ持ツテ居リマスガ、其ノ目的ハ飽クマデ優生ノ目的デアアル、國家社會ニ

○山川委員 本人ノ嫌フ所ヲドウシテモ社會的ニ必要ナリトシテ、之ヲ行フト云フコトニナレバ、是ハ一ツノ刑法ノ性質ヲ帶ビテ來ルコトニナルノデアリマセスカ、外國邊リデ行ツテ居ル所ヲ見ルト、斷種法ナルモノハ強チ社會ニ害ガアルカラト云ツテ、直チニ之ヲ行フト云フノデハナクシテ、度々本人ガ變質ヲ現ハシタリ、又ソレガ度重ナルニ從ツテ、刑罰的ニ斷種ヲ行フト云フコトガ、外國ニハ規定シテアルノデアリマスガ、其ノ邊ハ之ヲドウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデアリマスガ、一方強制的デナケレバナラナイト云フコトヲ、私ハ請求スル一人デアリマスガ、此ノ法ノ使ヒ方ニ付

○田中委員 病的酩酊ト云フカ、一杯飲ンデ人殺シヲヤツタリ放火ヲシタリスル、サウ云フ時ニハ酒ヲ飲ンデ居ツテ是ハ病的罪ダト云フコトデ、法律ニハ無罪ニナツテ居リマス、其ノ人ハ酒ヲ飲ミサヘシナケレバ常人デスカ、酒ヲ飲ムト直グ狂ツテ、アチラニ行ツタリ、コチラニ行ツタリシテ、放火ヲシタリ人殺シヲシタリスルト云フヤウナ者モアリマスガ、是ハ今ノ法ノ解釋通り、酩酊デサウ云フコトヲヤツタ者ハ、無罪ニ

ハ五十歩歩デハナイカト云フ御意見モアラウカト思ヒマスガ、現在マデノ社會ノ色ナ觀念カラ申シマスレバ妊娠三箇月ト云フノハ丁度一段階デアリマシテ、ソレマデハ胎兒モ比較的小サイシ、社會デモ妊娠三箇月以内デアレバ、ソレ程残酷ナモノトハ思ヒマセヌ、ソコデソレマデノ胎兒ハ妊娠中絶シテモ、差支ヘナイデハナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、茲ニ限界ヲ設ケタノデアリマス

○田中委員 本人ノ希望ガアレバ、四月デモ五月デモ八箇月デモ中絶スルノデスカ

○床次政府委員 私ノ説明ガ少シ足りナカウカト思ヒマスガ三箇月ヲ超エマスレバ、假令本人ノ希望ガアリマシテモ、妊娠中絶ハ出来ナイ、三箇月以内デモ本人ガ申請致シマシタ時ニ、妊娠中絶ガ出来ルノデアリマス

○田中委員 サウスルト益、三月ト云フ限界ガ、非常ニヲカシナモノデハナイデスカ、四月ニナレバ本人ガ希望シテモ出来ナイ、三箇月マデデアレバ之ヲヤラスト云フノデアリマスガ、實際問題ニブツ突ツタ時ニハ三月ト云フノハ素人ニハ分リマセヌ、本人ハ「メンス」ノ關係デ分ルカモ知レナイガ、普通ノ社會通念ト云フカ、素人考デ妊娠三箇月ト云フコトガ、分ラナカツタヤウナ時ニハドウスルノデスカ

○床次政府委員 只今ノ問題ニ付キマシテハ、手術ヲ受ケル時ニ、豫メ醫者ノ健康診斷等ヲ受ケテ申請シテ居ルカ、本人ガドウ云フ状態ニアルカト云フコトハ、大體見當ガ付イテ居ルト思フノデアリマス、其ノ判斷ニ依ツテ行フノデアリマスガ、手續ヲシテ居ル中ニ、決定致シマシタ時ニハ既ニ妊娠

四箇月五箇月ト云フ場合ニ於テハ、之ヲ妊娠中絶サセルコトハ餘リ行キ過ギルノデハナイカト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、妊娠中絶ヲ行フコトハ元來刑法ニ於テモ墮胎罪トシテ非常ニ嚴ニ取扱ツテ居ルコトデアリマシテ、社會ニ於テモ一旦孕シタモノヲ中絶スルト云フコトニ對シテハ、相當強イ觀念ヲ持ツテ居ルノデ、餘リ大キクナリマシテカラ之ヲ行フコトヲ認メルコトハ如何カト思ヒマスガ、先ヅ三箇月位デアリマスレバ、比較的宜カラウト存ジマシテ、サウスルト點ニ於テ決メタノデアリマス

○田中委員 サウスルト本人ガ中絶シタイト云フ時ニハ、今申サウナ色々ナ手續ガ要リマスカラ、サウ急ニハ行ガナイノデハナイカ、色々ナ審査會ト言ヒマスガ、此ノ中絶ヲスルニモ其ノ審査會ノ手續ハ必要トスルノデスカ

○床次政府委員 此ノ妊娠中絶ノ手續ニ付テハ、是ハ醫者ノ診斷ガアレバ妊娠中絶ノ必要ト云フコトガ直グ分ルノデスカラ、サウスルト手續ハ行ハズ、本人ノ申請ニ依ツテ直チニ地方長官或ハ厚生大臣之ヲ決定スルト云フ風ニシマスノデ、此ノ手續ニ對シテハ別ニ時間ハ要シナイト存ジマス

○田中委員 此ノ申請ノ方ガ重要デハナイノデスカ、サウスルト此ノ申請ハ委員會其ノ他ノ手續ナシニ、今ノ御説デアルト、醫者ナラ醫者ガドウモ遺傳性ノモノデ良クナイ胎兒デアルトスルト、其ノ手續ダケデヤツテシマフノデスカ

○床次政府委員 只今ノ問題ニ付テハ本人ガ斯ル惡疾ノ素質者デアルト云フコトガ慎重ノ手續ヲ以テ既ニ委員會ニ於テ述べラレ、ソレニ對シテ既ニ決定ガアツタ後ノ問題デ

アリマスカラ、生レル子供ガ斯ル惡疾ヲ持ツテ居ルト云フコトニ付テハ、新ニ調査ヲ要シナイ譯デアリマス、單ニ其ノ妊娠中絶セシムルカドウカト云フ手續ダケヲ以テ足ル譯デアリマスカラ、地方長官ナリ厚生大臣ノ許可ヲ以テ足ルト云フコトニ致シタノデアリマス

○田中委員 サウスルト假ニ母親ハ無論健全デアルトシマス父親ガ惡質デアル時ニハ斷種シナクテハナラヌモノデアルト云フ決定、此ノ委員會其ノ他ノ手續ハ是デ話ガ分リマスガ、其ノ相手方ノ婦人ガ、健康ナ婦人デアツテ妊娠シタ場合ニ、之ヲヤルノデスカ

○床次政府委員 此ノ十四條ニ於テハ只今御質問ノヤウナ場合ハヤラナイノデアツテ、是ハ女ノ場合ニ限ル譯デス、優生手術ヲ受ケベキモノト決定シタ者ガ妊娠中デアリマスカラ、女ガ惡疾素質者ノ時ニ行フノデアリマシテ、夫ガ惡疾患ヲ持ツテ居リ、妻ハ健全デアアル、其ノ時ニ妻ガ妊娠中デアツタト云フ場合ニハ、本條ノ適用ハナイノデアリマス、其ノ妻ガ惡疾患デアルト云フ認定ヲ受ケテ、優生手術ヲ受ケベキモノト云フコトガ決定サレタ時ニ妊娠デアツタ場合、其ノ胎兒ハ墮セルノデアリマス、サウデナイ場合ハ適用シナイ積リデアリマ

○田中委員 ソレハ同ジコトニナラヌノデスカ、父親ノ方ガ斷種シナケレバナラヌト云フ程ノ惡質デ偶、母親ガ妊娠シタ、サウナルト其ノ子供ガ困ルガ爲ニ此ノ斷種法、此ノ法律ヲ作ルノデアリマス、父親ノ方ハハツキリト斷種シナクテハナラヌト決メテ、其ノ手續ノ間ニ妊娠スルト云フコトハ考ヘ

得ラレルコトデス、サウシテ妊娠シタ者ハ中絶スルコトガ出来ナイ、而モ家族其ノ他ノ連中モ若シ片一方ガ斷種シナクテハナラヌ程ノ惡質ナラバ、子供ガ可哀サウダカラ斷種シテ貰ヒタイト云フコトニナラヌトモ限ラス、又ソレガ常識デアラウト思フ、サウスルト其ノ時ニハ出来ズ、母親ガ此ノ手續ニ依ツタ病氣ノ時ダケハ、斷種シ得ラレルト云フコトハ、非常ニ不權衡ニハナラヌノデスカ、其ノ惡質ノ子孫ニ殘スコトヲ絶チタイト云フ法ノ精神カラ言フト、半分ハ出来ルガ、半分ハ出来ヌト云フコトデハイケナイノデハナイノデスカ

○床次政府委員 優生ノ目的ヲ徹底スル意味カラ申セバ、御意見ノヤウナ場合ニ於キマシテモ妊娠中絶ヲ行フヤウニスルコトガ、理論上ハ徹底シテ居ルと思フノデアリマス、併シナガラ其ノ場合マデモ手術ヲ受ケテヤルト云フコトハ、健康ナル者ガ手術ヲ受ケルト云フ形ニナリマシテ、是ハ洵ニ行過ギデハナイカ、無論健全ナル者ト不健全ナル者トノ結婚ノ場合ヲ考ヘマシタ時ニ、是ハ原則トシテ疾患ヲ持ツテ居ル者ガ手術ヲ受ケルコトニ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ單ニ子供ヲ作ラヌト云フ點カラ申セバ、疾患ヲ持ツテ居ル者ニ手術ヲ施サズ、健康ナル配偶者ニ對シテ手術ヲ施シマシテモ、ヤハリ子供ハ出来ナイ譯デアリマス、子供ガ出来ナイト云フコトヲ目的ニ致シマスレバ、ソレデモ理論的ニハ行ヘル譯デアリマスガ、サウ云フコトヲ認メルコトハ如何ニモ行キ過ギデハナイカト存ズルノデアリマス、疾患ヲ持ツテ居ル者ガ手術ヲ受ケテ子供ガ出来ナイヤウニスルノデアリマス、單ニ素質ヲ有スル子供ノ出生ヲ防遏スル爲ニ、

健全ナル者ニ對シテ斯カル手術ヲ執行スルコト云フコトハ元來豫想シテ居ラナイノデアリマス、隨テ此ノ妊娠中絶ノ場合ニ於テモ同様デアリマシテ、多少惡疾ノ素質ノアル者ガ此ノ機會ニ社會ニ若干ハ生レルコトガアリマシテモ、其ノ場合マデモ敢テ生レサセナイヤウニシテ防遏シヨウト云フ積リハナイノデゴザイマス

○田中委員 サウスルト非常ナ矛盾ガ出來ルヤウニ思フ、惡疾ノ母親ニ宿ツタ子供ハ必ズ惡イト云フ前提ノ下ニナラバ、此ノ法ノ精神ニ依ツテ墮胎、妊娠中絶當然サセテ宜イト思フ、如何ニ惡疾ノ母ノ腹ニ宿ツテモ其ノ子ハ病氣ニ罹ラスコトハ統計ニ依ツテ明ニ分ツテ居ルカラ、ソレハ何處デ差別スルノデスカ

○床次政府委員 本法ノ第三條ニアルノデアリマスガ、優生手術ヲ行ヒマス場合ハ、其ノ子供ト孫ニサウ云フ發病者ヲ見ルコトガ確實デアルト認メラレル場合ニ付テ行フノデアリマス、此ノ事實ニ付テハ今日ノ遺傳關係其ノ他ニ依ツテ十分推定出來ルノデアリマス、隨テ此ノ十四條ノ場合ニ於テ生レル子供ト云フハ、斯カル惡疾ノ素質ヲ有シ發病ノ虞ガ大ナル子供デアリ譯デアリマス、隨テ只今御疑念ニナルヤウナ惡疾ノ者ガ良イ子供ヲ持つテ居ルカモ知レヌト云フ場合ハ、此ノ十四條ニハナイ譯デアリマス、良イ子供ヲ作レルヤウナ程度ノ者デアリマスレバ、本法ノ優生手術ノ對象ニハナラナイノデアリマス、良イ子供ガ産レルヤウナ母親デアリマスナラバ、斷種ハ行ハナイノデアリマシテ、惡イ子供ト惡イ孫ガ産レ而モ其ノ者ガ發病スルト云フコトガ明ニ推定サレル場合、第三條ノ最初ノ行ニ書イテ

アリマスガ、サウ云フ場合ニ限ツテ行フノデアリマシテ、輕イ遺傳疾患ニ付テハ之ヲ行ハナイノデアリマス

○田中委員 サウスルト劣性遺傳ノ場合ヲ考ヘルト、ドンナ惡イ疾病デモ、ソコニ宿ツテ居ル子供ハ罹ラス筈ニナリマスネ、罹ル率ハ非常ニ少イ、優性ノ場合ハ「パーセントージ」ハ多イカモ知レヌガ、劣性ノ場合デアルト、假令母親ハ惡イ遺傳ニ罹ツテ居ツテモ其ノ子供ハ罹ラスデアリマセヌカ、其ノ罹ル率ハ非常ニ少イガ、孫ガ罹ル、サウスルト其ノ子ハ宜イノデアリナカ、其ノ宜イ子ヲ潰シテシマフコトニナルノデアリナカ、私ノ非常ニ憂ヘルノハコトデ、今度ノ法案ノ基本ヲ聽キタイ、非常ニ疑念ヲ持つノハ此處デ、此ノ統計ハ無イ筈デス、ハツキリ此ノ場合ニ此ノ病氣ニナルト云フ統計ハ私ハ日本ニハ絕對ニ無イト信ジテ居リマス、アレバ無論御示シテ願ヒタイ、ソレト同時ニ諸外國ハソレガドウナツテ居ルカ、此ノ點ヲハツキリ聽キタイ、ソレカラ妊娠中絶ニ付テ色々手續ナドモアラウト思ヒマスガ、是モ參考ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○床次政府委員 只今ノ場合ニ付キマシテ、患者ノ子供ガ如何程ノ發病率ヲ持つテ居ルカト云フ點ニ對シマシテハ、外國デハ無論例ガアル譯デアリマスガ、内地ニ於キマシテハ從來部分的ノ調査ハアツタノデアリマス、相當大數ニ付テノ調査ハナカツタノデアリマスガ、昨年厚生省デ各疾患ノ家系ヲ三千集メマシテ、其ノ結果ヲ集計致シマシタモノガ、昨日御手許ニ差上ゲマシタ「各種遺傳性精神病及遺傳性精神薄弱ノ遺傳豫後」之ニ主ナ統計ガ出テ居ルノデアリマスガ、

斯ウ云フ結果ヲ得テ居ルノデアリマシテ、子供ニ對スル發病率ハ平均致シマシテ、是ダケノ率ガアル譯デアリマス、ソレデ今回第三條ニ於キマシテ優生手術ノ對象ト致サウト云フモノハ遺傳性疾患デアリマシテ、而モ其ノ發病ガ子供、孫ニ於テ確實デア

ニ限ツテ居ルノデアリマシテ、偶ニシカ發病シナイ、何代カ先ニ行ツテボツント發病者ガ出テ來ルト云フヤウナ輕イ遺傳ノ者ニ對シマシテハ、本法ハ適用致サナイノデアリマス

○田中委員 ソレハ分ツテ居リマスガ、其ノ生レル子ニ惡性ノモノガ全部遺傳スルト考ヘラレマスカ、劣性ノ場合ニ、其ノ生レル子ハ必ズシモ全部精神病者デハナイノデス、ソレハドウシテ區別スルノデスカ、妊娠三箇月マデノ子供ガ惡性ノモノト決ツテ居ルト云フ譯ハナイデセウ

○床次政府委員 只今ノ問題ニ付キマシテハ、或ハ細カクナリ過ヅルカモ知レマセヌガ、其ノ遺傳性疾患ノ遺傳ノ理屈カラ申シマシテモ、子供ハ當然罹ル素質ヲ持つテ居ル譯デアリマス、劣性因子ノ場合ニアリマシテモ、優生因子ノ場合ニアリマシテモ、其ノ素質ヲ持つテ居ルコトハ確實ナノデアリマシテ、而シテ今日ノ遺傳ノ研究カラ申シマシテ、子ト孫ノ發病率ニ付キマシテハ非常ニ高イノデアリマシテ、此ノ高イ限界ニ於テ發病スル虞ガナイ程度ノ遺傳性疾患ハ比較的惡性デハナイト云フコトガ言ヒ得ルノデアリマス、子供ト孫ニ十分ニ發病率ガアリマスモノハ、遺傳性疾患ノ中デモ相當質ガ惡イト言ヘルノデアリマス、ソレデ適用ノ區別ヲ致シタイ、輕イ遺傳性疾患ハ

除外シ、ハツキリ出テ來マス相當重イモノダケ該當セシメルノデアリマス

○田中委員 惡質精神病ノ遺傳ノ因子ハ、兄弟ハ同ジヤウニ持つテ居ルノデスカ、偶、環境其ノ他ニ依ツテ其ノ中ノ或ルモノハ起ラナイデセウ、ソレヲ、オ前ハ惡質者ノ子ダカラ、例ヘバ兄弟二人ナラ二人トモ斷種ラシテシマハナケレバナラヌト云フ理窟ニナリマスネ、起ツタモノハ斷種スル、同ジ兄弟デモ起ラナイモノハ斷種セヌ、サウ致シマス、モウ一ツ週ツテ行ツテ、腹ノ中ニ居ル良イモノヲ潰スコトニナルカモ知レナイ、其ノ判斷ハ何處デスルノカト云フコトヲ御尋シテ居ル、妊娠中絶可否ノ判斷ハ出來ヌデアリナカト考ヘラレマスガ、ドウデスカ

○床次政府委員 其ノ判斷ハ既ニ優生手術ヲ行ハウトスル疾患ノ程度ノ時ニ於テ判斷セラレテ居ル譯デス、サウ云フ種類ノモノダケ、腹ニ宿ツタ子供ガ、惡質ヲ持つテ居リ、發病スル虞ガ極メテ大ナリト云フヤウナ場合ノ程度ノ疾患ガ優生手術ノ對象ニナツテ居リマスノデ、初メカラ程度ノ強イモノダケガ決マツテ居リマスカラ、隨テ其ノ決定ノ濟ンダモノニ對スル妊娠中絶ト云フ場合ニ於キマシテハ、疾患ノ子孫ニ現ハレル虞ガ極メテ大ナリト云フモノニ付キマシテハ審查濟ノ形ニナツテ居リマス、隨テ手續ヲ繰返サズニヤルト云フノデアリマス

○田中委員 發病シタモノヲ手續ニ依ツテヤル、是ハ將來非常ニ良クナイ素質ヲ子孫ニ遺スカラ、ソレヲヤルト云フ話ハ分リマ

カト云フコトニナリマス、ト御意見ノヤウナ
點ガアル、虞極メテ大ナル場合ハ斷種シヨ
ウト云フノデゴザイマスカラ、假ニ子供ガ
五人生レテ、其ノ全部ガ病人トハ思ハレナ
イ場合ガ多イト思ヒマス、一人二人或ハ病
症ガ出ナイカモ知レマセヌ、併シ素質ハア
ル隨テアナタガ今問題ニサレタ胎兒ガ必ズ
病人ニナルカト云フコトニナリマス、ト、或
ハ病人ニナラズニ、素質ダケ持ツテ居ルト
云フ場合モ考ヘ得ルノデス、是ハ詰リサウ
云フ危險ガ非常ニ多イト云フ場合ニ斷種ヲ
スルノデアリマス、ヤハリソレデ以テ胎兒
ノ處置ヲモシテ宜カラウカト思フノデアリ
マス

○田中委員　此ノ法律ノ精神カラ行キマシ
テモ私ハ去勢ガ最モ必要ダト思ヒマスガ、
成ベク去勢ハセズ、性交其ノ他性的ニ全ク
傷ケナイヤウニシヨウト云フノガ大眼目デ
アル、是ハ非常ニ結構ナコトデアリマス、
惡質ニ罹ツタ者デスラソレヲ尊重シテ居ル
モノヲ、妊娠中絶ハ明カナル殺人デス、國
家ガ命ジテ之ヲ殺ス、是ホド社會ニ害毒ヲ
流スモノデスラソレ程尊重シテ行カウト云
フノニ、一方ハ殺サウト云フノデス、其ノ
殺ス對象ニナルベキ三箇月間ノ妊娠サレテ
居ル子供ガ、本當ニ惡質ナラソレハ許スコ
トハ出来マセヌガ、ソレガ良イカ惡イカ全
ク分ラナイ、又良イ子ガアルニ決マツテ居
リマス、必ズ惡質ノ子デアルコトガハツキ
リシテ來ヌ以上ハ、是ハ絕對ニ出來ヌ筈ダ
ト私ハ考ヘマス、十人ノ中ニ假令一人デモ

○高野政府委員　此ノ危険ハ此ノ制度全體ニ何時モ含マレテ居ル譯デス、赤シ坊ガ偶、其ノ時受胎シテ居ツタカラ問題ニナツタノデ、手術シテシマヘバ受胎ハ出来マセヌガ、其ノ前ニ受胎シテ居ツテ、兎ニ角親ガ手術ノ該當者ト云フコトニ決定スレバ、ソレカラ後ハモウ子ヲ産マナイヤウナコトニナルノデアリマス、是ハ任意申請ガ主デスカラ假ニ手術ヲ受ケズニ居レバ子供ハ生レルデセウ、産ンダ子供ノ中ニハ或ハ一生涯必ズシモヒドイ病氣ニナラヌ者モアリ得ル、ソレ等ノ多少ノ犠牲ハ全體ノ效果ノ爲ニ已ムヲ得ザルモノト私ハ初メカラ考ヘテ居リマス、詰リ此ノ手術ヲ受クベキ者が健康者ヲス

相手ニシテ子供ヲ産ンダ時ニ、其ノ産ンダ子供が全部惡イモノデアル、病人デアルト云フコトハ實ハ考ヘラレマセスガ、大部分ノ者ガサウ云フ惡質ノモノデアリ、其ノ多クハ發病スルモノデアラウト思ヒマス

○田中委員　是ハ假令一箇月デモ、三箇月デモ、八箇月デモ、或ハ生レテカラデモ同ジコトデ、人間ノ生命ノ貴重ナルコトハ當然デアリマス、斷種ダケスルノデスラ是ダケノ手續デスルモノヲ、皆惡質デアラウト云フ建前デ其ノ命ヲ取ルト云フコトハ、ドウ云フコトデアリマスカ、成程アナタノ言フヤウニ、ソレガ社會ヲ非常ニ荼毒スルカラト云フ前提ノ下ニ已ムヲ得ナイカラ潰シテシマフノダ、其ノ位ノ犧牲ハ社會ノ爲ニ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ風ナ大難把ナ建前カラ議論サレルナラバ、ソレハ又別問題ト

日本ハサウデハナイ、偶、昨年此ノ問題ガ議
會デ起ツタ是ハ結構ナ事デアルカラ宜イノ
デアリマスガ、ソレガ爲ニ學界デ非常ナ議
論ガ起ツテ、サウシテ政府ハ是ハ良イ事ダ
ラウト云フ建前デ委員會ヲ作ラレタ、是モ
結構ナコトデアリマスガ、其ノ會ヲ何十遍
開カレタカ存ジマセヌガ、サウシテ偶、作ラ

レタ案方はデアリマセウ、此ノ基礎ハ三千家族ニ就イテ調べラレタト云フ、ソレモ結構デアリマスガ、三千家族ヲ調べテ見タ位ノ統計デ、人ノ命ヲ取ルト云フコトヲ斷定シテシマフコトハ、是ハ非常ナ問題デハナイカト考ヘマスガ、ソレトモ政府ハヤハリ信念ヲ持ツテ、其ノ子ハ必ズ惡イデアルカラ潰シテシマフ、潰スト云フ法律ヲ作ラレルト仰セラレバ、別ニ私ハ考ヘタイト思ヒマスガ、斷種ヲシテ子供ヲ産マサスト云フ事ト是トハ大イニ違フ、モウ人間ニナツタト云フモノニ付テハ國家ハ考ヲ別ニシナ

○床次政府委員　只今ノ御話ノ場合ニ於テ、妊娠致シマシタ子供ガ惡質ノ素質ヲ持ツテ居リマスコトハ、今日ノ遺傳學上當然疑フナイ所デアリマス、只今ノ一例ハ發病シタ例ヲ言ツテ居ルノデアリマスガ、遺傳因子ヲ持ツテ居リマスコトハ、今日ノ遺傳學上明カデアリマス

○田中委員 ソレハ遺傳因子ヲ持ツテ居ル
カラ發病スルト云フコトハ分リマスガ、發
病セヌモノモアリマス、ソレヲナゼ全部潰
スノカ

○床次政府委員 遺傳因子ヲ持ツテ居ル者
ハ發病率ガ非常ニ大キイ、其ノ條件ニ於キ
マシテ行ハレル譯デアリマス

○田中委員 サウスルト今健康ナ者デモド
ンドシ斷種シテ宜イト云フコトニナルノデ
アリマスカ、遺傳因子ヲ持ツテ居ル人ハ澤
山アリマス、劣性遺傳ノ如キハ度々起ルノ
デ、遺傳ハ皆持ツテ居ルノデス、サウシテ

次ノ代ニ來テシレガ起ルノデセウ、ヲカシ
ナコトデハナイデスカ、是ハ人間ヲ殺ス法
律デハナイカ

○高野政府委員 御尤モデアリマス、妊娠
中絶ハ斷種トハ自ラ違ツタ立場カラ考ヘタ
譯デアリマスガ、只今御話ノアリマシタヤ
ウニ、原則トシテハ患者デアリマスガ、別
項ニアリマスヤウニ、惡質ノ子供ヲ産ム虞
ガアル時ハ、未ダ發病シナイ者デモ斷種ヲ
シ得ルコトニナツテ居リマス、ソコデ妊娠
中絶デアリマスガ、今ノ御意見ノヤウナ御
議論モ立ツ譯デアリマセウガ、實際問題ト
シテ、私共ハ斯ウ云フ取扱ガ適切デアラウ
斯ウ云フ氣持カラ來テ居ル譯デアリマス、
御意見ハ御尤モニ感ズルノデアリマスガ、
是ハ實際ニ非常ナ支障ガナイモノデアラウ、
實際上ノ支障ノナイ所デ御判斷ヲ願フタラ
ト思フノデアリマス

○田中委員 私ハ實際上カラ聽イテ居リマ
ス

○床次政府委員 此ノ場合ハ本人ノ申請ヲ
以テアルノデアリマシテ、國ノ方カラ強制
スル意味デハナイノデアリマス、母親ガ本
當ニ子供ヲ生ガシタイ、本當ニ子供ヲ育テ
テ行キタイ、ソシテニ惡イ子供ガ出來ル管
ガナイノダト云フ時ハ、是ハ何モ強ヒテ妊
娠中絶ヲ致ス譯デアリマセウカラ、御懸
念ノヤウナコトハ實際ニハナイデハナイカ
ト思フノデアリマス

○田中委員 實際ノ問題ガアルカナイカト
云フコトハ第二段トシテ、今普通ニヤラレ
テ居ル妊娠中絶ハ、母體ガ危險ダ、而シテ
本人モ無論希望デアルガ、唯本人ノ希望
ダケデハ許セナイノデ、醫者ガ立合ツテ、
ソレモ一人デハ間違ツテハイカヌカラ、二

人ノ醫者ガ立合ツテ、初メテ母體ガ危險ダカ
ラ妊娠中絶ヲヤラウト云フノデ今ヤツテ居
リマス、所ガ此ノ場合ハ母體ニ危險ハ一ツ
モナイノデアリマス、サウデセウ、是ハ母
體ニ危險モ何モナイノ中絶シヨウト云フ
ノデアツテ、今ヤツテ居ル中絶トハ根本ガ
違フノデアリマス、サウスルト生レタ子供
ガ惡質デアリ、社會ニ害ヲ流スト云フ前提
ノ下ニ之ヲ潰スノデス、ソレ以外ニ潰ス理
由ハナイノデス、併シ實際其ノ生レタ子供
ガ皆病氣ニナラヌノデハナイデスカ、ドウ
シテソレガナルト云フコトガ分ツテ居リマ
スカ、ナラナイノモアルデセウ、ソレヲ潰
スト云フコトハ間違ツタコトデハナイカト
考ヘマス

○床次政府委員 子供ガ其ノ素質ヲ持ツテ
居リマスコトハ是ハモウ明デアリマスガ、
尙ホソレガ發病スル率等ハ、本人ノ家系等
ヲ調査致シマスレバ、其ノ様子ニ依リマシ
テソレノ發病率ガ高イカドウカト云フコト
ハ、個々ノ場合ニ付テ分ル譯デアリマシテ、
其ノ時ニ非常ニ發病率ガ高ケレバ妊娠中絶
ヲ行フ、發病率ガ少ナケレバ手術ヲ行ハナ
イ譯デアリマス、是ハ程度ノ問題デアリマ
ス

○田中委員 人間ノ知識デアルコトデアリ
マスカラ、萬全ノコトガ出來ルト申スノデ
ハナイガ、現在デスラ其ノ統計ハナイノデ
ス、此ノ病氣ハ全部子供ガナル、全部サウ
云フ惡質ノ病氣ニナルダト云フキチント
シタモノガアツテ、是ハ動カスコトノ出來
ヌモノダト云フコトノ下ニ行ハレナクテハ
ナラヌモノダト思ヒマスガ、サウデハナイ
ノデスカ、必ズ因子ヲ持ツテ生レルト云フ、
成程皆持ツテ生レルガ、病氣ハ其ノ中ノ幾

人カガ起ルノデアリマス、是ハ言葉ヲ換ヘ
テ申シマスレバ、幾人カノ兄弟ノ中デ、一
人ダケ健康ナ者ガ生レテアトノ四人ハ惡イ
者ガ生レル、是ハ非常ニ率ガ多イカラ之ヲ
潰シテモ宜イト云フ建前ヲ取ツデモ、一人
ダケ良イ者ガ生レルト云フコトハ間違ヒナ
イデセウ、ソレヲ潰スコトニナリハシマセ
ヌカ、ソレハ其ノ惡イ子供ヲ潰スコトハ宜
シカラウ、生レタ子供ガ惡イカラト云ツテ
之ヲ殺スコトハハイカヌカラト云フノ斷種
スルト云フコトナラバ話ハ分リマスガ生レ
ヌ先ニ其ノ判斷ハ何ヲ目安トシテアルカ、
アナタノ仰シヤルヤウニ惡質ノ者ガ澤山出
ルカラソレデアルノダト云フ風ニハ到底私
ハ考ヘラレヌ、ソレハ全部ガ惡質デアルト
云フ前提ノ下デナイト殺スコトハ出來ヌ、
斷種ト是トハ趣ガ違フノデアリマスカラ、
サウスルト若シアナタノ御説デ言フナラバ、
父親ニ此ノ種ノ惡質ガアツテ、而シテ子供
ニバズツト相當高イ「パーセント」ノ遺
傳ヲスルモノダ、斯ウ云フコトデアレバ、
父親ノ場合デモヤハリ是ハ斷種セネバ駄目
デアル、サウデナイト理論ガ合ハヌノデハ
ナイデスカ、此ノ點ハサウスルト父親ノ場
合、今アナタノ仰シヤルヤウニ惡質ダカラ
ヤルノダ、ソレナラ母親ハ健全デアツテモ、
父親ガ惡質デアレバ胎兒ハヤハリアナタノ
御考ノ通り惡質ノモノナリト云フ建前デ、
是モヤラナケバレイカヌノデアリマスガ

○床次政府委員 只今ノ御御質問デハ、母
親ガ健全デ父親ガ惡質デアルト云フ場合ニ、
母親ヲヤツテモ同ジデハナイカト云フ御意
見ノヤウニ承ルノデアリマスガ、父親ガ斯
ル手術ヲ受ケマスコトハ、ヤハリ國民ト致
シマシテ、健全ナル生殖能力ヲ持ツテ居リ
マス者ヲ一人失フコトニナルノデアリマシ
テ、其ノ結婚ガ飽クマデ一生兩方トモ残ツ
テ居ル場合ハ別ト致シマシテ、或ハ父親ガ
再婚スルト云フ場合モアリ得マスシ、健全
ナル生殖能力ヲ不健全ナル配偶者ガアツタ
ト云フ故ニ依ツテナクスト云フコトハ、是
ハ國家トシテ損失ト存ジマスノデ、健全ナ
ルモノハ手術ヲ受ケルコトヲ避ケルヤウニ
致シタノデアリマス

○田中委員 母體ハ健全デスカ、遺傳關係
デ父親ガ惡質デアルト其ノ子供ハハイカヌカ
ラ斷種スルノデハナイノデスカ、其ノ斷種
ノ目的ハ何カト云フト、男ハ自分デハ孕マ
ナイデ、孕ムノハ女ガ孕ムノデス、ソコデ
此ノ法律ハ此ノ胤ガイケナイカラ、妊娠シ
テハ惡イカラソコデ斷種シヨウト云フノデ
セウ、ソレガ偶、斷種シヨウト云フ手續ノ
間ニ妊娠シテシマツタト云フヤウナ場合ガ
考ヘラレル、其ノ時ニ其ノ子供ヲ捨テ置
イテ宜イト云フナラ斷種スル必要ハナイ、
其ノ子供ガ工合ガ惡イカラ之ヲ斷種シヨウ
ト云フガ此ノ法ノ精神デハナイデスカ、
ソレナラバ此ノ手續ニハ數箇月掛ルガ、其
ノ手續ノ間ニ子供ガ出來テシマツタト云フ
コトデアレバ、今ノ母體ニ出來タ子供ヲ中
絶スルノモ同ジ理窟デハナイデスカ、ナゼ
之ニ區別ヲ付ケラレタノデスカ、遺傳ノ法
則ハ同ジコトデハナイデスカ、母親ガ惡質
ガウント多イト云フノデ、同ジヤウニ想像
シテ、ソレノ子ナリ孫ナリニ遺傳スル關係
ハ同ジコトデハナイデスカ、隨テ之ヲ女ノ
場合ダケ、母親ノ場合ダケニ認メルナラ
バ、何デ父親ノ場合ニ之ヲ認メナイノ
カ、是位ノ矛盾ハナイト私ハ思フ、母親
ノ場合ハ遺傳ハスルガ、父親ノ場合ハ遺傳

セスト云フノナラハハ話ハ又別デアリマス
○床次政府委員 第十四條ノ手術ニ於キマ
シテ、實ハ其ノ御説明ガ不十分ダツタカモ
知レマセヌガ、妊娠中絶ヲ行ヒマスノハ、
優生手術ヲ行ヒマス時ニ、同時ニ併セ行フ
積リテ豫想シテ居ルノデアリマス、手術ト
致シマシテ優生手術ヲ行ヒマス時ニ、輕易
デアリマスカラ併用シテ行フト云フコトヲ
豫想シテ居ルノデアリマス、隨テ片方デ
優生手術ヲ行フ其ノ時ニ妊娠中絶モ行フノ
デアリマス、サウシテ斯ル素質者ノ生レル
コトヲ防止スルト云フノデアリマスカラ、
別々ニ行フト云フコトハ普通ノ場合ニハ考
ヘテ居ラナイノデアリマスガ、特ニ妊娠中
絶ダケ受ケタイ、優生手術ダケハ暫ク延バ
シタイト云フコトハアリ得ルカト存ジマス、
原則トシテハ妊娠中絶ハ同時ニ行フ積リデ
アツタノデアリマス、

ソレカラ尙ホ此ノ適用致シマスル範圍ニ
於キマシテハ、理論カラ申シマスレバ只今
御説ノ通り、惡質ノアリマスモノハ全部之
ヲ追究シテ防遏スルト云フコトニ致シマス
レバ、是ハ理論的ニハ優生ニ徹底致スコ
トガ出來ルカト思フノデアリマス、ケレド
モ、餘リニ廣イ範圍ニマデ此ノ素質ヲ追究
シテ參リマスルト、關係者ヲ非常ニ廣ク致
シマスルシ、ソコマデ致スコトハ本法ノ目的
ト致ス所デハナイノデアリマシテ、適當ナ
範圍デ以テ其ノ素質ヲ持ツテ居リマスル者
ノ境界ヲ決メル必要ガアルノデアリマス、
第三條ノ場合ニ於キマシテハ發病者ト云フ
境界デ抑ヘテ居リマスシ、ソレカラ又胎兒
ノ場合ニハ第十四條ノ適用ノ程度ニ於キマ
シテ、素質者ト云フモノノ境界ガ決ツテ居
ル譯デアリマス、ソコマデハ惡質素質ヲ持

ツテ、居リマス者ヲ追究シテ行ク、是ヨリ廣
イ範圍ニ於キマシテハ是ハ防遏ノ對象トシ
ナイト云フノデアリマス、丁度ニ是ガ境界ノ
所デアリマスルカラ、只今ノヤウナ御意見
ガ出タノカト思フノデアリマス

○八木委員長 田中サン、私先程カラ聞イ
テ居リマスガ、兩方トモ同ジヤウナコトヲ
繰返サレテ居ルヤウニ聞キマスガ、決定ガ
付キサウモナイカラ、何レ後ニ譲ラレテ、
先ヅ以テ大臣ニ對スル質疑ヲサレタラドウ
デスカ、大臣ニハ機會ガ少イノデスカ……

○田中委員 ケレドモ是ハ大臣モ聽イテ置
カレト非常ニ宜イト思ヒマス、私モウ一
遍御尋シマスガ、今ノヤウニ妊娠中絶デ之
ヲヤルト云フコトニナリマス、此ノ法ヲ
ズツト擴ゲテ行キマスレバ、ウント惡質ノ
者ハ殺シテシマト云フコトニナリマスガ、
ソレトドウ違フノデスカ、生ヲ享ケテ生レ
テ來タ者ヲソレヲ中斷スル、サウスルト三
月目デ中斷、五月目デ中斷、八月目デ中斷、
生レタ人ハ一歳デモ、五歳デモ、八歳デモ
何處ガ違フノデスカ、今國家ハ妊娠中絶、
墮胎ト云フコトハ非常ニ嚴格ニ之ヲ禁ジテ
居ルト云フノハ何カト云フト、胎兒デモ殺
スノハ人殺シデス、ソレダカラ之ヲ嚴格ニ
禁ジテ居ルニモ拘ラズ、此ノ手續ニ依ツテ
——話ハ戻リマスガ、今此ノ法ニアル手續
ヲヤリサヘスレバ、社會ニ害ヲ流ス惡質精
神病者ハ殺シテシマフト云フコトノ出來ル
法律デアツタナラバ、是ハ又考ハ別デス、
ソレハ二十歳デ殺サウト、受胎中ニ殺サウ
ト自ラ別デスケレドモ、是ハサウデハナイ、
斷種デス唯子孫ヲ殘サスト云フノデアツ
テ、其ノ人間ヲ潰スト云フ建前ハチツトモ
ナイ、出來テ居ツタラ既ニ人間デハナイデ

スカ、三箇月マデハ人間デハナイガ、四箇
月カラハ人間ダト云フ、ソナ馬鹿ナ境界
ハ私ハ何處マデ行ツテモナイと思フ、是ハ
今マデト違ツテ國家ガ明ニ法ヲ御作りニナ
ルノデアリマスカラ、私ハ此ノ所ハ餘程ハ
ツキリナスツテ置カストイガスト思フ、若
シ之ヲ中絶スルコトガ出來ルト云フコトデ
アレバ、此ノ法ハ殺人法デス、殺シ得ラレ
ルト云フ建前カラ進マスコトニハ是ハ徹底
セスト思フ、斷種シテ幾ラ惡イ胤ノ精神病
者デモ、子孫ニ斯ウ云フ者ハ殘シテ置ケナ
イガ、出來タ人間ダケハ保護スルト云フノ
ガ此ノ法ノ建前デハナイデスカ、ソレダ
ケデナシニ、斷種シテモ性ノ生活ニ於テハ
少シモ迷惑ノ掛ラヌヤウニシテヤラウト云
フ程ニ保護スル建前デナクテハナラス、サ
ウ出來テ居リマスガ、偶、小サイカラ殺シ
テシマベト云フ、ソシナ馬鹿ナ話ハ何處ニ
行ツテモナイ、而モ私ハ諄イヤウデスカ、
其ノ腹ニ出來タ子供ハ必ズ惡質ノ病氣ニナ
ルト決ツタ材料ガアルノナラ、又ソコデ色
色考慮スル途ガアルカモ知レス、又常識判
斷ヲスル途モアルカモ知レスガ、其ノ子供
ハ必ズ惡質ニナルトハ決ツテ居ラス、必ズ
良イ子供モ潰サレルコトニナル、國家ガ良
イ子供ヲ潰スコトニナル、是ハ生レテカラ
ハ惡質ダト云フコトヲ區別スルコトガ出來
ルガ、腹ノ中ニ居ル所ノ子供ヲドウシテ區
別スルノカ、聽キタイ、アナタハ惡質ハ遺
傳ノ「パーセンテージ」ガ多イカラト仰ツシ
ヤルガ、多イト少イトハドウシテソレヲ判
斷スルカ、全部ガイカヌノデハナイノデス
カラ、ソレヲドウシテ判斷スルカト云フコ
トヲ私ハ御尋シテ居ルノデアリマス、

○床次政府委員 只今ノ問題デアリマスガ、
一たび生ヲ享ケマシタ者ニ對シテ其ノ生ヲ
斷ツト云フコトニ付キマシテハ、是ハ勿論
嚴重ニ取締ラナケレバナラス點カト存ズル
ノデアリマス、隨テ優生法ニ於テハ第十六
條、第十七條ニ於キマシテ、斯ル手術ニ對
シテハ、特ニ第十七條ニ於キマシテハ、從
來醫師ノ行ヒマスルモノニ付キマシテモ、
之ヲ慎重ニセシムルヤウニ特ニ規定ヲ置キ
マシテ、妊娠中絶等ノ手術ガ濫用セラレヌ
ヤウニ、是ハ慎重ナル手續ヲ以テシテ居ル
ノデアリマス、而シテ第十四條ニ於キマシ
テハ、ヤハリ同ジヤウナ手術デアリマスル
カラ、之ヲ輕々シク行フトハ勿論認ムベ
キコトデハナイノデアリマスガ、併シナガ
ラ第十四條ノ場合ニ於テハ今日ノ遺傳學カ
ラ申シマシテ素質ヲ持ツテ居リマスコトハ
明カデアリマス、此ノ素質者ガ、若シモ其
ノ母親ガ劣性遺傳ノ場合デアリマスレバ、
是ハ勿論素質ダケニ止マルシ、優生遺傳ノ
場合デアリマスレバ固ヨリ是ガ發病スルト
云フ譯デアリマス、又劣性遺傳ノ場合デア
リマシテモ、其ノ孫ニ於キマシテ發病スル
ト云フコトハ、此ノ第三條ニ規定セラレマ
シタヤウナ疾患、サウ云フ診定ヲ得テ參リ
マシタ所ノ患者ニ對シマシテハ非常ニ率ガ
大デアル、サウ云フ者ダケヲ元來對象ニ致
シテ居ルノデアリマスルカラ、可ナリ率ノ
大キイ所マデ認メラレル譯デアリマス、隨
テ三月マデ生ヲ享ケタノデアリマスルガ、併
シナガラソコマデハ優生ノ目的カラ言ヒマ
シテ中絶スルコトヲ認メルコトハ、ドウダ
ラウカト云フノガ此ノ第十四條デアリマス
之ヲ強制スルコトハ適當デナイノデアリマ
スカラ、母親ナリ本人側ノ意思ヲ十分尊重
致シマシテ、其ノ途ヲ開クト云フ風ニ致シ

テ居ルノデアリマス、敢テ此ノ點ハ強制シ
ヨウト云フヤウナ積リハ勿論ナインデアリ
マス、唯三月ガドウカ、寧ロ一月モ、モウ
一切受胎シタ場合ニハヤラヌ方ガ宜イノデ
ハナイト云フ御説ノヤウニ承ルノデアリマ
スガ、是ハ受胎シタラ一切イカヌ、或ハ三
月ガ宜イカ、或ハ何月ガ宜イカト云フコト
ニ付テハ、是ハ程度ノ議論トシテハ、苟ク
モ生ヲ享ケテ居ルカト云フ點ニ於テハ、
如何ニモ御説ハ御尤モト思フノデアリマス
ガ、今日ノ社會上ニ色々關係モシテ居リマ
スノデ、三月位マデニシテ此ノ途ヲ開イテ
置クコトハドウカト思ハレマスノデ、途ガ
開イテアル譯デアリマス

○田中委員 此ノ問題ハドウモ私モ合點ガ
行キマセヌ、御説明ヲナサル方モ私ハ十分
デナイト思ヒマス、私ハ露骨ニ申シマスガ、
アナタニ信念ガナイト思フ、悉ク惡質ニナ
ルト決ツテ居ルト云フ建前デナイトデアリ
マシテ、御返事ガ出來ヌ答デス、私ハ何處
デ分ケルカト云フコトヲ聽イテ居ルノデア
リマシテ、三月ガドウトカ四月ガドウトカ
言フノデハナイン、其ノ孕ンダ子供ガ本當ニ
惡質ノ精神病ニナルカ、ナラヌカヲドウシ
テ分ケルカト云フコトヲ私ハ尋ネテ居ルノ
デアアル、是ハ其ノ統計ガナインデス、アナ
タニモ私ハハツキリシタ御返事ガ出來ルト
ハ實ハ思ヘナイン、ドンナ惡質ナ者デモ皆ハ
罹ラヌノデス、皆ハ罹ラヌノデスカラ、ソ
レヲヤルト云フコトニ付テハソレヲドウシ
テ分ケルカト云フコトヲ私ハ聽キタイ、ダ
カラ是ハ無理デアラウト思フガ、モウ一遍
重ネテ御尋シタイ、外國ニハ何カ統計ガア
ルダラウト思ヒマスガ、サウ云フモノガア
リマシタラ調べテ置イテ戴キタイ、大臣ガ

見エマシタカラ私御尋シマスガ、昨日癩ノ
斷種ガ出タ、是ハ私此處ニ居ツテ本會ニ出
席シテ居リマセヌデシタガ、此ノ法案ヲ見
テ大體様子ハ分リマスガ、今度癩ノ斷種ヲ
ヤルガ、私ハ茲ニ非常ナ矛盾ヲ感ジマス
シタ、大體精神病ノ遺傳關係デゴザイマス
ガ、是ハ近頃非常ニ進歩シテ、今マデ癩ヲ
ヌモノ、或ハ是ハ惡質ノ遺傳デアツタト云
フモノガ、段々色々進歩ノ結果癩ル、甚
シイノハ遺傳デアツタト思ツタモノガ遺傳
デナカツタ、斯ウ云フモノモ今ハ出來テ居
リマス、隨テ私ハ茲ニ列ベテ置カレタ幾ツ
カノ斷種ニナルベキ對象ノ中ノ此ノ精神病、
是ハ何時カノ機會ニ必ズ治療ガ進ムト假
定シマス、治療シ得ラレルモノデアレバ

此ノ中カラ段々ト除イテ行カレヤウニナ
ルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、ドウ云フ
コトニナリマスガ、遺傳ダト今マデ思ウテ
居ツタガ、ソレガ偶、遺傳デナイト、而シテ
ハ癩シ得ラレルヤウニナツタト云フコトニ
ナレバ、今茲ニ舉ツテ居ル項目ハ自ら漸次
ニ取除ケテ行カレルモノト私ハ考ヘマスガ
サウ考ヘマシテ宜シイデスカ
○吉田國務大臣 私ハ御承知ノ通り遺傳學
等ニ付テハ素人デアリマスカラ、技術的ナ
御説明ト云フコトハ私ノ任デナイト思フ
デアリマスガ、今御尋ノ點、今日マデ遺傳
ト考ヘラレテ居ツタモノデアツテ、從來學
問ノ發達ニ依ツテ遺傳デナイト云フコトガ
分ルモノガアリマシタラ、此ノ中カラ除カ
レルカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、左
様ナコトガアリ得マスルカドウデアリマス
カ、是ハ今日ノ學問ノ程度ニ於キマシテ遺
傳セラレルト考ヘラレテ居ルモノヲ列舉シ
テアルノデアリマスガ、御尋ノ趣意ガ二

通りニ一寸聞エタノデアリマスガ、癩ルト
云フコトニナツタラ除カレカト云フ風ニ
初メニハ仰シヤツタノデスガ、遺傳シナイ
ト云フコトニナツタラドウスルカ、ソレト
同ジデアリマスガ

○田中委員 同ジ意味ニナリマス、遺傳ダ
ト思ツテ居タノガ遺傳デナクナツテ來タノ
デアリマス、是ハ癩ラヌト思ツタモノガ癩
ルヤウニナツテ來タノデアリマス、今茲ニ
列舉シテアルノハ、遺傳デ癩ラナイ惡質ト
云フ建前ニナツテ居リマスガ、是カラ進歩
シタラ遺傳ダト思ツタモノモ遺傳デナカツ
タ、癩ルト云フコトニナレバ、是ハ御取リ
ニナルノカ、斯ウ云フコトデアリマス

○吉田國務大臣 斯ウ云フコトカト思ヒマ
スガ、癩ツテサウシテ癩ツタモノハ惡質モ
遺傳シナイト云フ程度ニ癩ル、サウ云フモ
ノハ此ノ中カラ取ラレルカ、斯ウ云フ御尋
デゴザイマスガ、ソレハモウ當然遺傳ト云
フコトデナクナルシ、サウシテ癩ツテシマ
ツタ爲ニ遺傳スル素質ガナクナルト云フコ
トデアリマスレバ、無論此ノ法ノ中ニ置イ
テオク必要ハナインデアリマス、サウ云フ
コトハアルト思フノデアリマス、例ヘバ癩
ハ遺傳シナイト云フコトハ、今日ハ明ニナ
ツテ居ルノデアリマスガ、遺傳デナイトマデ
モ、ソレガ遺傳同様ニ傳染スル可能性ノ
非常ニ多イ時ニ於キマシテハ、是カラ癩豫
防法ニ付テノ御審議ヲ願フノデアリマスガ、
サウ云フ場合モアル譯デアリマス、デスカ
ラ遺傳ヲシナケレバ皆斷種モヤラヌノカト
言フト、ソレハ必ズシモサウデハナイン、遺
傳デナクテモ癩ノヤウニ斷種ヲヤルヲ適當
トスルモノガアルカモ分ラナイン、同時ニ此
ノ優生法案ノ中ニアリマス病氣ハ、癩ナド

トハマルデ質ノ違フモノデアリマシテ、染
ルト云フコトト、遺傳ト云フコト取違ヘラ
レルヤウナコトハナイト思ヒマス、併シナ
ガラ將來學問ノ上デ今マデサウ云フ遺傳性
疾患ト考ヘラレテ居ツタモノガ完全ニ治療
ヲセラレ、サウシテ遺傳スルコトハナイト
云フ程度マデソレガ本當ニ癩リ切ルト云フ
コトデアリマスレバ、モウ是カラ除カナケ
レバナラヌ、斯ウ云フコトハ出來シ得ルト
思ヒマス、併シ現實ニ出來スルカドウカハ
分リマセヌ

○田中委員 今癩ノ問題デナイト仰シヤル
ガ、ヤハリ是ハ關聯シテ居リマス、モウ改
メテ御聽キセヌデモ大體御互ハ分ツテ居リ
マスガ、私ハソコニ矛盾ヲ感ジテ來タ、ソ
レハ今ハ大臣ノ言ハレルヤウニ——難カシ
イ議論ハ此處デハ御互ニ避ケタイノデアリ
マスガ、其ノ素質ガ斷種センケレバナラヌ
程惡イモノデアルト今幾ツカ列ベテ居リマ
スガ、私ハ精神病專門ノ方ガオ居デナサル
コトヲ知リマセヌデシタノデ重ネテ聽キタ
イト思ツタノデスガ、是ハ此ノ頃非常ニ進
歩シテ居ルデス、サウスルト當然是ハ此
ノ中カラ除ケテ宜カラウ、又除ケラレルノ
ガ當然デアアル、今ハ分ラヌ、精神病位分ラ
ヌモノハナインデス、ソレデ刻々ニソレガ
遺傳デアツタモノガ又遺傳デナカツタ、遺
傳デハナカツタガ御説ノヤウニ素質ガドウ
斯ウト言ハレルト、是ハ又自ラ別ノコトデ
アリマスカラ、サウ云フ風ナ難カシイ議論
ハ止メテ、惡質デアルト思ツタモノガ癩ル
ヤウニナツタ、遺傳デアルト思ツタモノガ
遺傳デナカツタト云フコトニナレバ、是ハ
自ラ除ケテ行クノガ常識デアルト思ヒマス、
ソレマデ斷種スルト云フコトハナイン、サウ

スルト昨日ノ癩ノ問題デアリマスガ、癩ハ今マデ遺傳ダト思ツタケレドモ、學問ノ研究ニ依ツテ遺傳デナイト云フコトニナツタモノヲ今度入レルト云フコトハドウ云フ譯デスカ、此ノ位ノ恐シイ矛盾ハナイ、癩病ハ今マデハ遺傳ダト思ツテ怖ガツテ居ツタ、ソレハ無理ハナイ、ソレナラバ癩病モ必要デアルガ、其ノ癩病ノ學問ガ研究サレテ、是ハ遺傳デナイト決メラレテシマツタ、是ハ學說ガ決ツテ居ル、而モ胎内遺傳モシナイ、胎内傳染モシナイ、遺傳デナイトハツキリ決ツタモノヲ、今日又斷種ノ中へ入レテ行クコトハ非常ナ逆轉デアリ、非常ナ矛盾ダト思ヒマスガ、此ノ點ヲ一ツ……

○吉田國務大臣 一應御説明致シマセウカ——御話ガ癩ノコトニ及ビマシタニ付キマシテ、昨日日本議場ニ於テ委員付託ノ決定セラレマシタ癩豫防法中改正法案ノ提案ニ付キマシテノ理由ヲ、此ノ委員會デ更ニ少シ具體的ニ御説明申上ゲタイト思ヒマス、癩ハ固ヨリ只今御話ノ通りニ傳染性ノ疾患デアリマシテ、遺傳ニ依ルモノデナイトコトガ今日學問上明ニセラレテ居ルノデアリマスガ、患者ノ子ヲ産ムコトヲ防止致シマスル爲ニ、今日ト雖モ患者ノ申出ニ依リマシテ、斷種ニ依リマスル生殖ヲ不能ナラシムル手術ヲ實施致シテ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ疾患ノ特殊性ニ基キマシテ、洵ニ必要已ムヲ得ザルモノトセラレテ居ツタ次第デアリマス、併シ只今御審議ヲ願フテ居リマスル國民優生法案ノ中ニ、故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ハ之ヲ行フコトガ出來スト云フ規定ヲシテ居ルノデアリマシテ、斯ル手術ハ一般的ニ禁止セラレルコトニナリマシタ結果、癩患者ニ

對シテハ特例トシテ之ヲ行ヒ得ルコトヲ認ムルコトヲ明ニ規定スルガ適當ト考ヘラレルノデアリマス、國民優生法案ハ優生手術ヲ受ケル者ガ妊娠中ナル時ハ妊娠中絶ヲ同時ニ受ケ得ル、斯様ナコトヲ認メテ居リマスガ、癩患者ニ付キマシテモ同様ニ妊娠中絶ヲ認メヨウトスルモノデアリマス、尙ホ其ノ手術ノ實施ニ付キマシテハ、之ヲ受ケントスル者カラ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケシムルト共ニ、勅令ヲ以テ定ムル醫師ニ就テノミ受ケ得ルコトヲ追加規定シヨウトスルモノデアリマス、斯様ナ趣旨デ癩豫防法ヲ改正シヨウト云フノデアリマス、私ノ記憶スル所ニ依リマスレバ、私ノ就職前厚生省デ此ノ問題ノ審議セラレテ居リマシタ際ニハ、丁度今御質問中ニ仰セラレテ居リマシタヤウニ、優生法案中ニ癩ニ關スル斷種ヲモ入レテアツタノデアリマスルガ、丁度今ノヤウナ御説ガ出マシタ結果、ソレハ遺傳病デナイトノデアルカラ、優生法案ニ入レルコトハ穩當デアアルマイ、癩豫防法中改正ト云フコトデ、今日行ツテ居リマスル癩患者ノ斷種ト云フ問題ヲ取扱フコトガ、適當デアラウト云フコトニ、研究ノ結果ガ一致致シマシタ、斯様ニ致シマシテ一方ハ優生法案、一方ハ癩豫防法ノ改正ト云フコトデ之ヲ提案シタ次第デアリマス、趣意ダケヲ御説明申上ゲテ置キマス

○田中委員 クドイヤウデスガ、今マデ私ガ申上ゲマシタヤウニ、又昨日モ言ツテ居ツタノデスガ、癩ノ何カ改正法案ガ出タト云フコトヲ聽イテ居リマシタ、併シコンチ案ガ實ハ出ルトハ思ツテ居リマセヌデシタ、私ハ高野サンカラソレヲ聽イテ實ハ驚イタノデス、今斯ウシテ一生懸命審議シ

テ居リマス、恐ルベキ遺傳病デアアルガ故ニ、斷種シヨウト云フ此ノ審議ヲシテ居ル最中ニ——私共是カラモウ少シ間ヒタイト思ツテ居リマスガ、此ノ中カラ遺傳デナイトモノハ除カウト言ウテ居ル際ニ、遺傳トソレヲ新シク此ノ法律ガ出來ル爲ニソレヲ追加スル、今説明サレマシタヤウナ色々ナ理由ハアリマセウガ、之ヲ又斷種スルノデアリマス、私ハ學問的ニ考ヘマシテモ是ハ大變ナ矛盾デハナイカト考ヘマス、出來タ子ハ癩病デハナイノデス、是ハハツキリシテ居ルデセウ、ソレヲ又斷種ヤリ、都合ニ依ツテハ今ノ御説ニ依レバ中絶モスル、此ノ子供ハモウ決シテ病人デハナイノデス、成程生レタ子供ガ氣ノ毒ダトカ、可哀相ダトカ、色々ナ環境ダトカ云フコトモ無論實際問題トシテ起ツテ來マセウケレドモ、サウ云フコトノ爲ニ法ヲ拵ヘテ、斷種マデヤルコトガ今日許サレルコトデスカ、モウ一步進歩スレバ癩病氣デス、今マデ遺傳デアツタモノガ遺傳デナイト、傳染病デアツタ、而モ其ノ病原ノ微菌マデ分ツテ來タト云フコトニナレバ、是ハモウ一歩行ケバ癩病ノデアリマス、私ハサウ信ジテ居ル、醫學者ハサウ思ツテ貫ヒタイト思ヒマスガ、其ノ矢先キニ之ヲ斷種スルコトニナリマス、學問ノ進歩ハ止マリマス、潰シテシマヘバ醫學ハ要ラヌシ、醫學ハ用ハナイノデスカ、是ハ非常ナ矛盾ガ茲ニ出來テ來ルノデハナイカ、殊ニ私ハ今審議シテ居ル斷種法ト大變ナ矛盾ニナツテ來ルト思フ、サウ云フ思想デナサルノダト、折角茲デ今研究サレ、此ノ中ニアルモノデモ遺傳デナク癩病ノダト澤山報告サレテ居ル病氣ガアルラシ

イ、ソレヲ一ツツツ減シテ行カウ、サウ云フ斷種ヲスルヤウナ不幸ナモノハ減ラシテ行カウト云フ建前デ行カクテハナラナイ時ニ、又サウアツテ貫ヒタイト私共ハ努力シ、一ツデモ斷種セヌデモ宜イト云フ病氣ガアレバ省イテ貫ヒタイト思ツテ色々審議シテ居ル際ニ、片方デハツキリ決マツテ居ルモノヲ斷種シテシマフ、モウ一ツ深く入りマス、之ヲ中絶シテシマフコトハ私ハ非常ナ矛盾ダト思ヒマス、ナゼ之ヲ法律ヲ用フルコトナシニ、國家ガ之ヲ保護シ、豫防シ、成べく出來ヌヤウニスルトガ、コンドールムヲ用ヒルトカ色々ナ方法ヲ考ヘナイカ、出來タラ出來タデ其ノ子ハ癩病デハナイ、手間ガ要ルカ知リマセヌガ、保護ニ依ツテハ健全ニ育ツ、是ハ精神病トハモウ一段ト變ツタモノデアアル、都合ニ依レバ癩病ニナル虞ハナイ、之ヲ隔離サヘシテシマヘバ宜イ、ソレヲシモ又ヤツテシマフコト云フコトニナリマス、私ハ非常ナ矛盾ガアラウト思フ、其ノ案ガ昨日出タト伺ヒマシテ、實ハ今驚イテ居リマス、コンチ案ヲ御出シナレバ、妙ナ議論ニナツテ來ルデアリマセヌガ、是ハ專門家デモ官界デモ一致シテ居ラヌノデス、コンチ案ノヲ斷種スルト云フコトガ附イテ來マス、國家ハ遺傳セヌモノマデモ斷種スルノダ、サウ云フヤウニ現實ノ問題ハナツテ來ルノデアリマス、之ヲ政府ノ當路者ハ非常ナ矛盾ト御考ヘニナラヌデセウカ、此ノ點ヲ一ツハツキリシテ置イテ戴キタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 癩豫防ノ改正案ヲ提案致シマシタコトハ、今ノヤウナコトデアリマシテ、遺傳ハシナイケレドモ癩ノ特殊性、殊ニ今日モ患者ノ申請ニ依リマシテ斷種ス

ナ法律ガアツテモ中ニハ脱ケテ居ルモノガ澤山アル、此ノ程度ノ低イ者ハ國家ニ費用ガナクテ收容シキレナイ、所謂金ガナイ爲ニ其ノ危險ヲ放ツテ置イテアル、サウシテ一方デハ一生懸命ドウニカシテ此ノ恐れベキ病ヲ防ガナケレバナラヌト云フ觀念ハオ互ニアルケレドモ、ソレガ行ハレナイト云フコトハ非常ニ私ハ困ツタ事デアルト思フノデアリマス、之ニ對シテ、丁度幸ヒ大臣ガ居ラレマスカラ、今後ニ對スル厚生省トシテノ——更ニ茲ニ蘇ツタ省ガ日本ニ出來タ、是々デノヤウニ内務省ノ一部ニ衛生局ガ邪魔物扱ヒニサレテ放ツテ置カレタ時代トハ違ツテ、厚生省ガ出來タノデアリマス、一ツノ省トシテ、飽クマデ國家ノ有益ナル

橋關ハトシノ、括ヘテ行カナケレバナラヌ、改良シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウニ發展性ヲ孕マレテ今日出來タ所ノ立派ナ一ツノ省デアリマス以上、ソレ等ニ付テ一大革新ガ行ハレナケレバナラヌト思フ、ソレガナカツタナラバ厚生省ヲ別ニスル必要ハナイノデアル、私ハソコヲ一ツ御伺申上ゲタイ

○吉田國務大臣　癩ニ付キマシテハ、其ノ遺傳病デナイト云フコトニ付キマシテノ知識ヲ國民一般ニ普及スルト云フコトニ付テハ、從來内務省衛生局時代カラ随分努メテ來テ居リマスシ、今日モ大イニ其ノ點ハ努メテ、癩ノ絶滅ト云フコトニハ格別ノ力ヲ注イデ居ル譯デアリマス、尙ホ此ノ事ニ付テハ御承知ノ通りニ畏クモ　皇太后陛下ヨリ洵ニ有難イ思召ヲ下サレテ居リマスルノデ、癩ノ豫防撲滅ト云フコトニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ全力ヲ注ガナケレバナラヌ建前ダト思フノデアリマス、畢竟ソレ

ガ遺傳デナイト云フコトガ分ツテ居ルニ拘ラズ、今ノ御尋ノ趣意ハ、ソレナラ絶對ニ遺傳セヌヤウニ、又速ニ癩ト云フモノヲ撲滅スルヤウニモツトヤラナケレバナラヌデヤナイカ、ソレヲヤラズシテ癩患者ノ斷種或ハ妊娠中絶ヲヤルト云フノハ非常ナ矛盾デハナイカト云フ點ノ御指摘ダト思フノデアリマス、是ハ技術的ニドウ云フコトニナツテ居リマスカ、私マダ主管ノ方面ノ説明ヲ十分ニ聽取シ、自分ノ考ヲ纏メルダケノ餘裕ノ就任以來持ツテ居ラナイノデアリマスガ、ヤハリ相當ノ歲月ヲ要スルコト思ヒマス、癩ニ關スル完全ナ手當ヲ國家ガ致シテ、日本カラ癩患者ト云フモノヲ絶滅スル、サウ致シタイト私ハ熱願シテ居ルノデアリマスガ、是ハ中々一舉ニ行ハレナイノデアリマス、今日ト雖モ癩ノ豫防、治療ト云フコトニ付キマシテハ非常ニ遺憾ナ點ガ殘ツテ居リマスガ、是ハヤハリ一方財政計畫ノコトモゴザイマス、又取扱モ非常ニ困難ナ仕事デゴザイマスノデ、ソレヲ實現致シマスニハ相當ノ歲月ヲ要スルノデアリマスガ、假ニ理想ガ實現セラレマシタ時期ヲ想像致シマスレバ、今日アリマスルヤウナ癩豫防法ト云フヤウナモノハ必要ガナクナルカ、或ハ内容ヲ一變シナケレバナラヌト云フ時期ガ來ルノデハナカラウカト思ヒマス、又一日モ早くサウ云フ時期ガ來ルヤウニ私共努力スルコトガ自分達ノ務ダト考ヘテ居リマス、今日ノ經過の場合ニ於キマシテハ今度提案致シテアリマスルヤウナ癩豫防法ノ改正ト云フコト、一應ノ段階トシテ當分ノ間已ムヲ得ザルコトデハアルマイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯ソレハ癩患者、癩病ノ傳染ト云フコトヲ抛ツテ置イテ

宜イト云フ意味デ、斯ウ云フコトヲ提案シテ居ル譯デハ毛頭アリマセヌコトヲ、能ク御諒解置キテ願ヒタイト思フノデアリマス

○田中委員 私ハ大臣ガ、自分ノ所管カラ出シタ法案ダカラ、ドウノラリカラ言ツテデモ通サナケレバナラヌト云フ考ヲ止メテ載キタイ、ドウゾ其ノ御積リデ……

○吉田國務大臣 一寸其ノコトニ付テ私ノ考ヲ申上ゲテ置キマス、私共ハ此ノ法案ハ洵ニ一時代ヲ劃スル重要ナ法案デアリ、又此ノ御審議ヲ仰イデ居リマスル内容ノ事ヲ實施致シマスルコトガ、今日國家トシテ大切ナ問題デアルト云フコトヲ確信シテ提案致シテ居リマス、併シ事ノ内容ハ極メテ重大デアリマス、隨テ出シタノダカラ何デモ彼デモ原案通り通サナケレバイケナイノダト云フヤウナ、政治經濟ノ政策ニ關スル實行ニ於テ持ツ確信ト、此ノ立法ニ於テ持ツマスル確信トハ、私ハ意味ガ違ツテ宜シイト思ツテ居ルノデアリマス、隨テ本會ハ固ヨリノコト、斯様ナ委員會ニ於キマシテソレノ皆サシノ御論議ヲ伺ヒ、御教ヲ仰ギタイト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ハドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○八木委員長 一寸申上ゲマスガ、明日ハ午後八部屋ガナイサウデアリマスノデ、日曜ノ午前十時カラ開會スルコトニ致シテ居リマス、大臣モ御出席ニナツテ能ク御話ニナルト云フコトデスカ……

○田中委員 モウ一點ダケ……、大臣ハ無論御承知ノコトト思ヒマスガ、私ガサウ云フコトヲ申シマシタノモ、此ノ間申シタヤウニ、此ノ不幸ナ患者ヲ世ノ中カラ一人デモナクシヨウデヤナイカ、結構ナコトデヤト云フ常識カラ、此ノコトヲ成ベク完成ヲ

期シタイト云フ建前カラ、若シ是ガ學問的ニハツキリシタ基礎ガアルカト云フコトニナリマス、非常ニ私ハ疑問ガ起ツテ來ルノデス、昨年丁度マル一年前ニ此ノ委員會ガ開カレタ時ハ、政府ハ此ノ案ニ對スル基礎ノ調査モ何モナカツタ、ソレカラ政府ハ何遍カ何十遍カ知ラスガ委員會ヲヤツテ、此ノ起草案ト云フ統計ノヤウナモノヲ御出シニナツタノガ今度出デ居ルノデアリマスガ、三千家族トカ何トカ言フ、偶、一年間ニ三千家族、結構ナコトデ、ソレハ感謝致シマスガ、ソシナコトデ此ノ基礎ハ——殊ニ遺傳ノハツキリシタ基礎ガ出來ルトハ思ヒマセヌ、ソレヲ今無理ニ追究シヨウトハ思ヒマセヌケレドモ、ソレダカラ尙更此處ハ常識デ一ツ之ヲ取扱フト云フ建前デ行キタイト申シマス、今次ニ申シマスルヤウニ非常ナ逆轉デヤナイデスカ、アナタガ常識ガ判斷ナスツテ……、今申スヤウニ遺傳デアリ恐ロシイカラ今之ヲ斷種シヨウト言ツテ居ル此ノ精神病、然ルニ遺傳デアツタト云フモノガ遺傳デナイト決ツタモノヲ今改メ、私ハ此處ヲアナタノ常識ニ懇ヘタイト思ヒマスノハ、今マデ斷種シテ居ツタ、是ハ私ハ結構ナコトト思ヒマス、又實際問題トシテハ必要ナコトト思ヒマスノデ斷種シテ居ツタ、其ノ理論カラ行キマス、今マデハ法デ斷種シテ居ツタガ、愈、此ノ癩病ハ遺傳デナイト云フコトガ分ツタカラ、今マデハ法デ斷種シテ居ツタケレドモ、寧ロ便法デ是カラ斷種シテ行カウト云フ方ガ常識デヤナイデセウカ、遺傳ダト決ツテ居ツタノガソレガ遺傳デナイト決ツテ、是マデノ間ハ便法デヤツテ居ツタガ、遺傳デナイト決ツテシマツタカラ法ヲ拵ヘテ又斷種

シテ行クト云フコトハ、常識論トシテハ非常ナ矛盾デハゴザイマセヌカ、大臣自體サ、ウ云フ考ガ起リマセヌカ、是ハ遺傳ダカラ斷種スル、學問ノ研究ノ結果遺傳デナクナツタカラ法律ハ止メル、併シソコニ色々事情ガアルカラ、何カノ便法ヲ講ズルト云フコトハ否ミマセヌガ、此ノ根本ニ於ケル恐ロシイ矛盾ヲアナタガ常識デ御考ニナツタナラバドウデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○吉田國務大臣 常識ト申シマス、ドノ邊マデガ常識デアリマスカ、今マデハ斷種シテ居リマシタノデ、ソレハ斷種ヲシテ善イ惡イト云フサウ云フ條文ハ今マデ何處ニモナカツタ、一二ソレハ刑法ノ解釋ト申シマスカ、常識ト申シマスカ、サウ云フコトデヤツテ居ツタ譯デアリマス、今度優生法案ガ出マシタニ付キマシテハ、斷種ハ一般ニハ行ツテハナラヌ、行フ場合ハ是レノ場合ダト云フコトヲ限定致シマシテ、ソレニ伴ツテ今マデヤツテ居ル程度ノコトヲ癩ニ付テ行ハウトスレバ、一ツノ立法ヲ致サナイト、其ノ趣意ガ明確ニナラナイ事態ニ優生法案ノ提出ニ依ツテナツテ來ルノデアリマス、ソレデ癩豫防法ヲ完全ニシヨウ斯ウ云フ趣意デアリマス

○田中委員 サウスルト今出デ居ル優生法案ハ、遺傳デアアルガ故ニ之ヲ斷種スルト云フ主張ハ通りマセヌネ、サウ云フ建前デ行キマス、是ハ遺傳デアアルガ故ニヤラウト云フノデアリマセウ、同ジ斷種デモ遺傳デアアルカラヤルト云フノト、何カコノ根本ガグラ付イテ來ルヤウニ思ヒマスガ、如何デセウカ

○吉田國務大臣 私共ノ考デハ、詰リ優生

シテ行クト云フコトハ、常識論トシテハ非常ナ矛盾デハゴザイマセヌカ、大臣自體サ、ウ云フ考ガ起リマセヌカ、是ハ遺傳ダカラ斷種スル、學問ノ研究ノ結果遺傳デナクナツタカラ法律ハ止メル、併シソコニ色々事情ガアルカラ、何カノ便法ヲ講ズルト云フコトハ否ミマセヌガ、此ノ根本ニ於ケル恐ロシイ矛盾ヲアナタガ常識デ御考ニナツタナラバドウデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○吉田國務大臣 常識ト申シマス、ドノ邊マデガ常識デアリマスカ、今マデハ斷種シテ居リマシタノデ、ソレハ斷種ヲシテ善イ惡イト云フサウ云フ條文ハ今マデ何處ニモナカツタ、一二ソレハ刑法ノ解釋ト申シマスカ、常識ト申シマスカ、サウ云フコトデヤツテ居ツタ譯デアリマス、今度優生法案ガ出マシタニ付キマシテハ、斷種ハ一般ニハ行ツテハナラヌ、行フ場合ハ是レノ場合ダト云フコトヲ限定致シマシテ、ソレニ伴ツテ今マデヤツテ居ル程度ノコトヲ癩ニ付テ行ハウトスレバ、一ツノ立法ヲ致サナイト、其ノ趣意ガ明確ニナラナイ事態ニ優生法案ノ提出ニ依ツテナツテ來ルノデアリマス、ソレデ癩豫防法ヲ完全ニシヨウ斯ウ云フ趣意デアリマス

○田中委員 遺傳デアアルガ故ニ之ヲ斷種スルト云フ主張ハ通りマセヌネ、サウ云フ建前デ行キマス、是ハ遺傳デアアルガ故ニヤラウト云フノデアリマセウ、同ジ斷種デモ遺傳デアアルカラヤルト云フノト、何カコノ根本ガグラ付イテ來ルヤウニ思ヒマスガ、如何デセウカ

○吉田國務大臣 私共ノ考デハ、詰リ優生

シテ行クト云フコトハ、常識論トシテハ非常ナ矛盾デハゴザイマセヌカ、大臣自體サ、ウ云フ考ガ起リマセヌカ、是ハ遺傳ダカラ斷種スル、學問ノ研究ノ結果遺傳デナクナツタカラ法律ハ止メル、併シソコニ色々事情ガアルカラ、何カノ便法ヲ講ズルト云フコトハ否ミマセヌガ、此ノ根本ニ於ケル恐ロシイ矛盾ヲアナタガ常識デ御考ニナツタナラバドウデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

○吉田國務大臣 常識ト申シマス、ドノ邊マデガ常識デアリマスカ、今マデハ斷種シテ居リマシタノデ、ソレハ斷種ヲシテ善イ惡イト云フサウ云フ條文ハ今マデ何處ニモナカツタ、一二ソレハ刑法ノ解釋ト申シマスカ、常識ト申シマスカ、サウ云フコトデヤツテ居ツタ譯デアリマス、今度優生法案ガ出マシタニ付キマシテハ、斷種ハ一般ニハ行ツテハナラヌ、行フ場合ハ是レノ場合ダト云フコトヲ限定致シマシテ、ソレニ伴ツテ今マデヤツテ居ル程度ノコトヲ癩ニ付テ行ハウトスレバ、一ツノ立法ヲ致サナイト、其ノ趣意ガ明確ニナラナイ事態ニ優生法案ノ提出ニ依ツテナツテ來ルノデアリマス、ソレデ癩豫防法ヲ完全ニシヨウ斯ウ云フ趣意デアリマス

法案が遺傳スベキ病氣ヲ取扱フ法律デアリ
マスカラ、其ノ中ノ一般ノ斷種ヲ禁ズル、
妊娠中絶ヲ禁ズルト云フヤウナ條文ハ一般
的規定ナラバデアリマス、其ノ儘放ツテ置キ
マス、癩ニ付キマシテモソレハ禁ゼラレ
タヤウナ恰好ニナツテシマフノデアリマス、
尤モ故ナクト云フコトノ解釋ノ問題デアリ
マス、ケレドモ、故アリト言ヘバ、結局刑法
ノ條文ノ解釋ノヤウニナツテシマフカモ知
レマセヌガ、優生法案ノ中ニアリマス一般
ノ場合ニハ、此ノ優生法案ニ列舉セラレテ
居ルモノノ外ハ斷種、妊娠中絶ハアレナイ
ト云フコトヲ今度ハツキリサセタノデアリ
マス、是ハ先刻來申上ゲテ居ル人口ノ積極
的增加對策ニ該當スル部分デアリマス、併
シ限ラレタ場合ハ認メヨウト云フノハ、遺
傳スベキモノノ場合ニ付キマシテハ優生法
案ノ中ニアラズデアリマス、遺傳病質ニ付
キマシテハソレハ是デ全部盡サレテ居リマ
ス、遺傳セザルモノデ特ニ認メラレルモノ
ハ癩豫防法中ニ規定シヨウ、今マデヨリモ
其ノ方ヲ大ニ強化シテヤルト云フヨリモ、
必要已ムヲ得ザル本人ノ希望アル場合ハ、
癩豫防法ノ改正ニ依リマシテ實行出來ルヤ
ウニ致シタイ、斯ウ云フ趣意デアリマスカ
ラ、少シモ矛盾ノナイヤウニ私ハ考ヘテ居
ルノデアリマス

○田中委員 今ノ故ナクト云フ解釋デアリ
マスガ、私ノ言フ便法ハ故アリト云フ——本
人ノ希望モアリ、色々ノ理由ハ特殊ダト云フ
コトハ故ガアルノデアリマスガ、其ノ解釋
ニ依ツテ、私ノ便法ト云フコトハ語弊ガア
ルカモ知レマセヌガ、ソレデナゼナサラヌ
カ、斯ウ云フ恐ロシイ馬鹿ナ矛盾ハアリマ
セヌ、ソレガ出來ルカ出來ヌカ、是ハ私ハ
法律ノ技術ヤ何カラ能ク存ジマセヌカラ、
其ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイ、斯ウ云フ恐
シイ馬鹿ゲタ矛盾ハアリマセヌヨ、コンナ
馬鹿ナ事ヲヤリマスエライコトニナリマ
スヨ

○一松政府委員 私カラ御答サセテ戴キマ
ス、只今ノ故アリト云フコトカ云フ點ニ
付テハ、大臣ヨリ御答シタコトニ依ツテ御
諒解ヲ願ヘタコトト思ツタノデアリマスガ、
只今田中委員ノ是ハ故アルノダト云フ其ノ
點ノ質問ニ限リマシテ、私カラ專門的ニ答
ヘテ見タイ、其ノ故ナクト云フコトハ、刑
法方面カラ申シマス、正當ノ理由ナク
シテ、ソレヲ以テ故ガアルカナイカト云フ
コトヲ通俗的ニ解釋スルト、少シ意味ガ徹
底シナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、ソ
コデ今マデ癩ノ點ニ付テ法文ニ於テ之ヲヤ
ツテ宜シイト云フ積極的ノ規定ノナカツタ
コトハ、大臣ヨリ御答申上ゲタ通りデアリ
マス、ソコデ今回優生法ヲ制定セラレテ、
正當ノ理由ノナイ斷種ト云フコトハ禁ズル、
斯ウ云フコトヲ明ニ優生法ニ明定シタ以上
ハ、癩ノ點ニ付テモ所謂禁ゼラレタヤウニ
世間ノ人ニ誤解ヲ招イテモイケナイダラウ
シ、現ニ今マデヤツテ居ルノデアアルカラ、
是ハヤハリ正當ノ理由ガアルト云フコトニ
於テ刑法第三十五條ノ規定ニ依ツテ職務上
當然ノ行為デアアル、是ハ規定ガナクテモ宜
シイト云フ風ニ解釋スレバ、解サレヌコト
ハナイト私ハ思フノデアリマス、併シナガラ
ヤハリ疑ガアレバ疑フ解ク爲ニソコニ法文
ヲ設ケルト云フコトハ一ツノ立法技術デア
ル、斯ウ云フヤウナ意味カラシテ、所謂故
ナクスルコトハ出來ヌト云フ場合ニ、癩ノ

場合ニハヤハリ斯ウ云フ方法ニ依ツテスル
コトガ出來ルト云フコトヲ明ニ規定シテ、
サウシテ此ノ優生法ノ法文ト同ジ趣旨ニ於
テ認メテヤルト云フコトニ於テ立法化スル
必要ガアル、斯ウ云フ意味デ之ヲ提案シタノ
デアラウト、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデア
リマス

○田中委員 只今ノ辯明ニ依リマスルト、
便法ガナイコトハナイデスネ、専門家デモ
ヤハリソコニ餘地ガアルノデスカラ、吾々
素人デソコガ一番分リマセヌガ、出來ルナ
ラバソレデ何故行カスカト云フノデ

○一松政府委員 アナタノ御質問ノ通り、
若シ癩ノ時ニ今マデサウ云フ法文ガナクテ
モヤツテ居ツタ、法文ガ出來タ爲ニ今マデ
ヤツテ居ツタコトハ違法ニナルカドウカト
云フト、今マデハヤハリ醫ノ正當ノ業務ト
シテ刑法上ニ於テ認メテ居ツタ、斯ウ解釋
シナケレバ、今マデヤツテ居ツタ事ハ全部
違法ノ行為ダト云フコトニナルノデアリマ
ス、ソコデ理論的ニ申シマスルナラバ、今
アナタノ御質問ノ通りニ、今マデヤツテ居
ツタカラシテ、ソレガ法ガ認メテ居ツタカ
ラ特ニ法文ハ要ラナイデヤナイト云フ議論
モ、スレバ出來ルト私ハ思フケレドモ、ソ
レデハヤハリ疑ヲ抱クノミナラズ、只今大
臣ノ御話ニナリマシタヤウニ、優生法ト云
フモノニ依ツテ斷種ト云フモノヲ是々ノ方
法ニ依ツテ斷種スルゾ、是以外ニ出來ナイ
ゾト禁ジテシマツタ時ハ、今マデ癩ニ付テ
ヤツテ居ツタ事ニ付テモ、疑ノナイヤウニ
明文化スルコトガ必要デアルト云フ意味ニ
於テ、之ヲ立法スルコトノ方ガ宜イデヤナ
イカ、斯ウ云フ趣旨カラ之ヲ提案スルコト
ニナツタノデアルト御諒承願ツタ方ガ宜イ

ト私ハ思フ

○田中委員 私ノ聽キタイノハソコデス、
所謂何カノ便法、是ハ難カシイカモ知レマ
セヌガ、出來ヌナラバ宜シイ、今マデ斷種ハ
便法ニ依ツテヤツテ居ツタノデスヨ、ソレ
ヲ今度偶、サウ云フモノヲ作ツタガ爲ニモ
ウ是ガ出來ヌ、而モ其ノ斷種スル對象ニナ
ル癩ト云フモノガ、今マデトスツカリ學說
ガ變ツタノデスカラ、ソレヲ尙且ツ今逆サ
マニ持ツテ行クト云フコトハ、其ノ便法ヲ
心配シテアナタ方ガ作リナサルノト、學問
ノ權威カラ言ツテ、此ノ逆轉ヲ認メルノト
ドツチガ大キイカ、遺傳ナラバ宜シイケレ
ドモ、是ハ非常ニ矛盾ガアルノダカラ、此
ノ恐ロシイ矛盾ヲ犠牲ニスルヨリモ、私ハ
斷種ニハ反對デハナイノダカラ、便法ガア
ルナラバナゼ便法デ行タヤウニ出來ヌカ、
立法技術上絕對ニナイト仰シヤレバ餘地ガ
ナイカラ已ムヲ得マセヌケレドモ、其ノ點
ヲ一ツ聽イテ置キタイ

○一松政府委員 只今田中委員ノ御質問ハ
二ツノ意味ヲ含シテ居ルヤウニ思フ、第一
ハ今マデヤツテ居ツタノダカラ特ニ明文化
シナクテモ宜イデヤナイカト云フコトガ一
ツト、今マデハ癩ト云フモノハ遺傳性ノモ
ノデアルト云フ學說ガアツタノニ、今日デ
ハ遺傳性デヤナイト云フコトガ明ニナツ
タ、明ニナツタ以上ハモウ必要ハナイデヤ
ナイカ、斯ウ云フヤウニ承リマシタ、第一
ノ點ニ對シマシテハ、法文ノナイ時ニ色々
ナ判例トカ、或ハ習慣トカ云フコトニ於テ
正當行為ト認メテ居リマシタモノヲ、色々
ナ法律ガ出來ル爲ニ特ニ明文化スル必要ガ
アルト云フコトデ、法律ヲ拵ヘル例ハ幾ラ
モアルノデアリマス、サウ云フ趣旨ニ於テ

ハ是ハ提案ノ必要ガアル、斯様ニ考ヘラレ
ル、今一ツノ、遺傳デアルト考ヘテ居ツタ
時ニヤツテ居ツタノダカラ、遺傳デナイト
云フコトニナツタナラバ云々ト云フ御説ニ
對シマシテハ、先刻大臣カラ御答ニナリマ
シタヤウニ、詰リ遺傳性ノモノデナイト云
フコトガ決ツタナラバ、或ハ醫術ガ非常ニ
進歩シテ、癩癪防ニ對スル此ノ提案ノ法文
ハ必要ノナイ時期ガ到達スルデアラウ、サ
ウ云フ時ニハ、此ノ法律ハ撤回スル、サウ
云フ時期ノ早ク來ランコトヲ希望スルノダ、
併シ今日ノ程度ニ於テハ、今マデヤツテ居
ツタカラシテ之ヲ法文化シテヤルコトガ出
來ルヤウニシタ方ガ政策上宜イト考ヘルカ
ラ之ヲ提案シタノデアルト云フ大臣ノ御説
明ハ、私ハソレガ宜イト思ツテ居リマスル
カラ、左様一ツ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス。

○野方委員 幸ヒ大臣ガ見エマシタカラ一
言申上ゲマス、私ハ此ノ優生問題ニ對シテ
ハ初メヨリ賛成ノ意ヲ表シテ居ルノデアリ
マス、併シ私ハ只今保健調査會ニ於テ非常
ニ政府ニ反對シテ居ルガ、必ズシモ何デモ
反對スルノデハナイ、只今ノ癩癪防法ニ付
キマシテモ、實ハ吾々ハ三十年間ニ我國ノ
疾病ヲ無クシタイ、癩ハ天刑病デ、國辱デ
アル、隨テ「シ」型ノ血液ハ繁殖スル、微
菌ノ力ハ猛烈デアアル、斯様ナ意味ニ於テ今
回法律案ガ出タト思ヒマス、尙ホ此ノ際申
上ゲテ置キタイノハ、私ハ何デモ政府ニ反
對スル者デハナイ、斯ウ云フ良イモノハ直
チニ賛成シタイト云フ私ノ前提ヲ申上ゲタ
ノデアリマス、而シテ政府ノ信念ガ缺ケテ
居ルト思フノハ、只今田中委員ノ質問ノ際
ニモアツタガ、女ノ方ハ子供ニ病毒ヲ遺傳

セヌデモ、必ズ子孫ニ傳ヘル、是ハ「メン
デル」ノ遺傳學ニ於テモ、「ゴールドン」モ
之ヲ證明シテ居ル、是ハ田中君モ學者デア
リテ分ツテ居ルノデアリマスガ、政府ノ信
念ガ足リヌカラ田中君ガ斯様ナコトヲ言フ
ノデアラウト思フ、私ハ斯様ナ意味ニ於テ
ドウカ斯ウ云フ重大ナ問題ヲ議スルニ當ツ
テハ、米國ノ大統領ガ排日ノ理由ニシタノ
ハ、アノ大和民族ガドン／＼殖エテハ困ル
ト言ツテ排斥シタノデアリマスガ、斯様ニ
シテ米國ノ大ヲ成シタ、富ノ力ヨリハ優生
ヲ實行シタ結果デアアル、是ハ獨逸モサウデ
アルガ、ドウカ獨逸、亞米利加以上ノ信念
ヲ以テ本案ノ通過ニ努力セラレンコトヲ希
望シテ置キマス

○吉田國務大臣 本案ヲ提案致シマシタニ
付キマシテハ、先刻モ田中委員ノ御話ニ付
キマシテ述ベマシタ如ク、今日ノヤウナ重
大ナ時局ニ於テ、國民ノ保健上ニ最モ意義
ノアル斯様ナ法案ト云フモノハ是非御協賛
ヲ願ヒ、通過サセタイト云フ強イ信念ノ下
ニ提案致シタノデアリマス、非常ニ重大デ
アリマスルニ付テハ、御審議ハ存分ナスツ
テ戴キタイ、此ノ二ツノ心持ヲ併セ御諒察
願ヒタイト思フノデアリマス

○杉山委員 本會議デ御尋致シマシタ所
ガ、詳シイコトハ委員會デ答ヘルト云フコ
トデゴザイマシタノデ、此ノ際時間ノ關係
上癩ノ問題ニ付テ少シ伺ツテ置キタイト思
フノデアリマス、第一ハ、療養所擴充計畫ガ
ドウ云フヤウニ進捗シテ居ルカト云フコト
デアリマス、昭和十一年十一月三井報恩會
ノ援助ニ依ツテ癩患者ノ收容施設ヲ三千床
増加スル、斯ウ云フヤウニナルノヲ待ツテ
居リマスガ、其ノ三千床ガ完成致シマシテ

モ、尙ホ收容シナケレバナラナイ者モ多數
アルト思フノデアリマスガ、兎モ角モ其ノ
擴張計畫ガ豫定通り著々進捗シテ居ルカド
ウカ、此ノ點ヲ第一ニ御伺シタイノデス、
時間ノ關係カラズツト並ベテ申上ゲテ置キ
マス

第二ハ、將來尙ホ療養所ヲ擴張スル必要
ハナイカト云フ點デアリマス、昭和十年三
月政府ノ癩患者實數調査ニ依リマス、其ノ
數ハ一万五千九百九十三名アルト云フコトデ
アリマス、然ルニ之ニ對シマシテ一万人ノ
收容施設ヲシタノデハ、豫防上尙ホ遺憾ノ
點ガアルト思ハレルノデアリマス、癩癪防
法ノ第三條デハ、癩患者ニシテ病毒傳播ノ
虞アル者ハ國立又ハ公立療養所ニ入所セシ
メル、斯ウ云フ規定ニナツテ居リマスガ、病
毒傳播ノ虞アル患者ヲ悉ク收容シマスルニ
ハ、速ニモウ少シ擴張ヲシナケレバナラナ
イノデハナイカ、本會議デモ申シマシタヤ
ウニ、九州、沖繩ダケデモマダ二千八百三十
四人ト云フ多數ノ收容出來ナイ人ガ居リマ
スノデ、是等ノ人ヲ一日モ早く收容シテ、
惡疾ノ根絶ヲ圖リマスノニハ、ドウシテモ
モウ少シ擴張シテ行カナレケバナラナイト
考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ政
府ハ尙ホ擴張スル意思ガアルノカドウカ、
斯ウ云フ點デアリマス

第三ノ點ハ、公立療養所ヲ國立ニ移管シ
テ貫ヒタイト云フ點デアリマス、現在ノ法
令ニ基キマスル所ノ療養所ハ、府縣聯合立
ト國立トノ二ツニナツテ居リマスコトハ御
承知ノ通りデアリマシテ、此ノ兩者間ニハ
設備ノ上ニ於キマシテモ、又職員、患者ノ
待遇ニ於キマシテモ、相當ノ距リガアルヤ
ウニ見テ居ルノデアリマス、斯ノ如ク國立

ト府縣立トノ差別ニ依ツテ相違ノアリマス
ルコトハ、運営上甚ダ面白クナイ事ガ起ツ
テ來ルノデアリマス、例ヘテ見マスト、府
縣立ノ方ニ勤メタル人達ハヤハリ國立ノ方ニ
行ツテ見タイ、國立ノ方デアアルナラバ所謂
待遇ガ好イバカリデハナイ、官吏デアリマ
スカラ位階勳等ヲモ戴クコトガ出來ル、併
シ府縣立ノ方ハ同ジヤウニ苦勞ヲシナガラ
何モ其ノ恩惠ニ與ラナイ、斯ウ云フヤウニ
色々ノ點ニ付テ差違ガ出來テ參リマスルノ
デ、出來ルナラバ今日ノ府縣立ト云フモノ
ヲ國立ニ移管シテ貰フコトガ出來レバ結構
ダ、其ノ費用モ今日デハ大シタ費用デナイ
ト思ウテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ對
スル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイ

ソレカラ第四ハ癩患者ノ待遇改善ノ問題
デアリマス、癩療養所ニ收容サレテ居リマ
スル患者ノ待遇ハ、他ノ類似施設ト比較致
シテ見マスト、甚ダシク下位ニ在ルノデア
リマス、例ヘテ申シマスト、公立結核療養所
ニ居リマスル人ハ、恐ラクツ療養所ノ收容
者ニ比較シテ約倍位ノ待遇ニアルヤウニ思
ウテ居リマス、恐ラクハ是ハ癩患者ノ待遇
ガ惡イト云フノハ浮浪者ヲ收容スルト云フ
其ノ當時ノ其ノ儘ノ考ヘ方ヲ、今日マデ持
ツテ來テ居ルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウ
ニ考ヘマスノデ、特ニ氣ノ毒ナ人達ヲ收容
シテ餘生ヲ送ラスト云フヤウナ場合ニハ、
モツト良イ待遇ヲ與ヘルコトハ當然デナイ
カト云フヤウニ考ヘテ居リマスルノデ、今
ノ待遇ヨリ良クスル點ニ付テ政府ハドウ
考ヘテ居ルカ、第五ノ點ハ癩ノ研究所ノ設
置ノ問題デアリマスガ、モウ既ニ癩ノコト
ニ付テハ明カニモナツテ來テ居リマスルケ
レトモ、尙ホ癩ノ根絶ノ爲ニハ、又病毒ヲ

防止致シマスル爲ニハ、斯ウシタ研究所ガ必要デアルト考ヘルノデアリマスガ、尙ホツレバカリデナシニ、豫防方面バカリデナシニ積極的ニ治療ヲ致シマスル爲ニモ、其ノ治療ノ研究モスル必要ガアルト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ癩ノ特別ノ研究所ヲ置クト云フヤウナ付テノ御考ガアルカドウカ、尙ホ色々申上ゲタイ點モアリマスケレドモ、態々時間ヲ引止マツテ戴イタ關係モゴザイマスノデ、私ハ癩ニ關スル此ノ五點ダケ御尋シテ置キタイト考ヘテ居リマス

○吉田國務大臣 御答致シマス、尙ホ私ノ説明ノ足りナイ點ハ係ノ政府委員カラ補足シテ戴クコトニ願ヒタイト思ヒマス、今日持ツテ居リマス計畫ハ順調ニ進行シテ居ルノカト云フ御尋ダゴザイマスガ、略々豫定通り進行シテ居ルト思ヒマス、ドレダケ進捗シテ、後ドレダケ残ツテ居ルト云フコトハ、一ツ政府委員カラ申上ゲサセルコト致シマス、尙ホ癩療養施設ニ付テノ擴張スル意思ガアルカドウカト云フコトデアリマス、擴張スレバ致シマスルダケ早ク癩ノ絶滅ト云フコトヲ期待シ得ルノダト思ヒマシテ、出來レバ左様ニ致シ得タガ結構ダラウト思フノデアリマスガ、是ハ一ツ此處デシツカリサウ云フ御約束スルコト云フダケノ研究ヲ致シテ居リマセスカラ、能ク實情ヲ取調ベマシテ、成ベク速ニ癩ノ對策ト云フモノガ其ノ目的ヲ達スルヤウナ風ニ努力致シタイト思ヒマス、ソレカラ公立ノ療養所ヲ國立ニ統一スル意思ハナイカト云フコトデアリマス、是ハ兩方ニ通リノ扱ヒニナツテ居リマスルコトハ萬事ニ付テ洵ニ御指摘ノヤウナ都合モアルカト思ヒマス、是ガ若干費用ヲ要スルコトデアリマスルガ、他ノ機會

ニ他ノ議員諸公カラモ御質問ヲ受ケタコトモゴザイマス、此ノ問題ハ一ツ眞面目ニ考ヘテ見タイ、斯様ニ思ツテ居リマス、唯ソレヲ實現スルト云フ御約束ハ此處申上ゲルト云フ程度マデニハ、煮エ切ツテ居ラナイノデアリマスケレドモ、一ツ能ク檢討致シマシテ、何トカ始末ガ付クモノナラ付ケテ見タイ、斯様ナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ患者ノ待遇ガ非常ニ惡イ、ソレハ元不浪者ト考ヘテ居ツタ時ノ待遇ガ其ノ儘残ツテ居ルセイデヤナイカト云フ御尋ダゴザイマス、若干左様ナ影響モアルカト思フノデゴザイマスガ、サウ酷クモ違ハナイノデヤナイカト私モ實ハ思ツテ居ルノデゴザイマス、是ハ御話ノヤウナコトガアリマスレバ、サナキダニ氣ノ毒ナ患者ニ對シテ、外ノ一般療養所ト比ベテ半分ノ待遇モナイト云フコトハ、御氣ノ毒極マル話ダト思ヒマス、此ノ問題モ實情ヲ取調ベマシテ、善處ヲサセテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ研究所設置ノ必要ガアルカナイカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ其ノ問題ニ付キマシテハマダ考ヘタコトハゴザイマセスカラ、是モ今日ノ實情ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ、政府委員カラ御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス、私モ考ヘマス

○高野政府委員 療養所擴張計畫ハ大體順調ニ進シテ居リマシテ、唯一箇所新シク造ラウト思ツテ居リマシタ部分ガ、土地敷地ノ關係デ稍々行惱シテ居リマスガ、是ハ又何トカ工夫シマシテ、詰リ一万人收容計畫ハ遠カラズ完成スル狀態デゴザイマス、全國ノ癩患者ガ前ノ調査ニ依リマスト一万五千程アリマス、實際ニハモウ二割、二割ハアルノデアラウト存ジマスガ、重イ患者、即

チ病毒傳播ノ虞アル患者ト云フノハ大體一万デヤナイカト云フ見當デ、今ノ計畫ハ出來テゴザイマスケレドモ、苟モ癩患者デアリマスレバ、輕カラウガ重カラウガ、實ハ病毒傳播ノ危險ガ絶無デアルト云フ譯デハナイノデアリマスカラ、能フ限りハ患者全部收容ト云フコトニスベキモノト思ヒマス、サウ云フ氣持デ新シイ計畫ヲ樹立シタイト目下研究ヲ致シテ居リマス、ソレカラ患者ノ待遇デゴザイマスガ、御指摘ノ如ク幾何カハ——是ハ公立、官立ト言ハンヨリハ其ノ病院ノ所在地等ノ關係デ、經費ノ上ニ於テハ多少ノ差ガゴザイマス、例ヘバ食費ガ沖繩方面デハ少シ安イト云フヤウナ意味合ノコトガゴザイマスガ、大體是ハ均齊ヲ取ラセル積リデ指導シテ居リマスカラ、患者ノ不平ヲ來ス程ニハナイノデハナカラウカト存ジテ居リマス、尙ホ氣ヲ付ケルコトニ致シマス、研究所設置ノコトモ實ハ當局トシマシテハ一應計畫シツツアルノデアリマシテ、未ダ豫算化シタコトハゴザイマセスカラ、豫算ノ準備程度ニハ今マデモ考ヘテ居リマスヤウナ次第デアリマス

○杉山委員 モウ一點ダケ御伺シタイト思ヒマス、國立療養所ニナツテ居リマシテモ、今御話ノヤウニ場所ニ依ツテハ費用ガ違ツテ居リマス、特ニ今沖繩ノ御話ガ出マシタガ、沖繩ノ療養所ガ非常ニ一人當ノ費用ガ少イノデス、ソレハ單ニ場所柄低イト云フダケデナシニ、沖繩振興計畫ノ中ニ之ヲ入ラレテシマフ關係デ、癩豫防ノ費用トシテ行ツタモノガ直接ニ其ノ方ニ行カナイデ、振興計畫ノ方ニ紛レ込シテ行ツテシマフノデアリマス、其ノ結果少イ、斯ウ云フ話ヲ承ツテ居ルノデアリマス、政府ノ方デ

モ十分御調ヲ戴イテ、サウ云フ話ヲ病院當局ガ申シテ居ルノデアリマスカラ、恐ラク間違ヒハナイト私ハ信ジテ居マスガ、若シサウ云フコトデアリマスト由々シイ問題ダト思ヒマスノデ、是非此ノ點ハ注意シテ、地方的ニ多少ノ差ガアルコトハ是ハ已ムヲ得マセスケレドモ、サウデナシニ會計ガ餘所ノ方ニ廻ツテ行ク爲ニ少クナルト云フコトニナルト、是ハ宜シクナイト思フノデアリマス、ソレカラ今費用ノ點ニ付テサウ大シタ達ヒガナイト斯ウ云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、公立、官立ノ結核療養所ノ方ノ調ヲ見マス、昭和十三年度ノ豫算申シマス、國立村松晴嵐莊、是ハ肺結核ノ方デアリマスガ、一人當ノ食費ガ豫算デ五十錢ニナツテ居リマシテ、決算デ四十六錢、函館療養所ノ方ハ一人當ガ豫算ガ六十錢ニナツテ、決算ガ五十九錢六厘トナツテ居ル、大阪ノ刀根山病院ハ豫算ダケデアリマスガ五十錢一厘七毛ニナツテ居リマス、サウ云フヤウニ大概一番下デ三十錢ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、所ガ癩療養所ノ方ハ官公立デ見マシテモ長島ノ愛生園ハ豫算デ二十二錢、決算デ二十錢四厘八毛、星塚ノ敬愛園ヲ見マス、豫算デ二十二錢、決算デ十七錢三厘斯ウ云フヤウナコトデ、平均シマスト十九錢六厘程ニシカナラナイ、斯ウ云フ狀態デ待遇ガ非常ニ惡イ、肺結核ノ療養所ト比較致シマス、特別ノ差ガアリマス、是ハ病氣ノ關係ダト申スカモ知レマセスケレドモ、ヤハリ是ハ結核療養所ト同一位ニ出シテヤルコトガ當然デハナイカト考ヘマスノデ、其ノ點ヲ尙ホ十分御考慮戴キタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 沖繩振興計畫ノ中ニアリ

マス癩療養所ノ經費、是ハ縣ヲ通シテ參リマスコトハ御示シノ通りデアリマス、其ノ爲ニ途中デ其ノ減リガ出來ル云フコトハ、實ハナカルベキ筈デアリマス、但シ管理ヲ縣ガ直接ヤツテ居リマスノデ、雜費ナドガ餘計ニ掛カルヤウナコトガ或ハ多少アルカモ知レマセヌノデ、其ノ點十分注意スルコトニ致シマス、尙ホ振興計畫デヤツテ居リマスコトヲ直接國營ニ模様替フスルコトモ、實ハ先程ノ官立、公立一體ニスルト同ジヤウナ意味ニ於キマシテ、振興計畫モヤハリ全部直接國營ニシタ方ガ宜シイカモ知レナイト存ジマス、ソレカラ癩ノ患者費ト結核ノ患者費、是ハ御示シノ通り大分差ガゴザイマシテ、成ルベク癩ノ患者ノ方モ待遇ヲ好ク致シタイと思ツテ居リマスガ、只今御示シ戴キマシタヤウニ、食費ニ於テモ二十錢内外ト五十錢内外デハ半分モナイノデアリマシテ、甚ダ差ガアルノデアリマスガ、是ハ多少内輪ノコトヲ申添ヘマス、癩療養所ハ大體敷地ヲ非常ニ廣ク取ツテ居リマシテ、其ノ中ノ健康者自ラ耕作等モ致シマシテ、食品等ニハ多少補ヒノ附クヤウナ事情モアルノデアリマス、是ハ勘定ノ表ニ出マセヌガ、左様ナコトデ別途ニ裕トリモゴザイマス、併シナガラ虐待シテ宜シイト云フ譯デハアリマセヌ、十分注意スルコトニ致シマス

○杉山委員 モウ一點ダケ伺ヒマス、浮浪癩患者ノ特別收容ノコトデスガ、癩患者ハ誰モ嫌フト云フ關係デ、時々亂暴ヲシタリシテ大變困ツタノデス、例ヘバ大阪邊リデモ随分出テ來マシテ、警察モ手ヲ焼クヤウナ場合ガ随分アルノデアリマス、一方療養所ハ滿員デ收容出來ナイ、併シサウ云フ者ヲ

棄テテ置クコトハ癩其ノモノニ於テ非常ニ困ルバカリデナク、其ノ癩ヲ惡用シテ民衆ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナ場合ガ今日マデ随分アルノデアリマス、斯ウ云フ浮浪癩患者ニ對スル療養所ヲ特別ニ設置スルカ、何カデ取締ルコトヲ考ヘテ戴クコトガ出來ルカドウカ、序デニ此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○高野政府委員 私カラ御答申上ゲマス、浮浪癩患者ヲ先ヅ第一ニ收容致シマス方針デ、大體左様取計ツテ居リマスガ、今マデハ何分收容設備ガ少クゴザイマシテ、相當數ノ浮浪者ガアツタヤウナ實情デゴザイマス、最近ハ癩療養所ガ段々擴充サレマシテ、一二ノ療養所、殊ニ最近出來マシタ療養所ニ於テハ未ダ定員全部ヲ滿タシテ居ラスヤウナ所モアルノデアリマシテ、努メテ浮浪性ノ患者ヲ收容スルコトニ致シタイと思ツテ居リマス、左様致シマシテモ尙ホ相當數餘ルノデアリマスカラ、此ノ點十分注意ヲシタイと思ヒマス

○杉山委員 私ハ是デ打切ツテ置キマス

○八木委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマスガ質問ハ日曜日ニ終結シタイと思ヒマスカラ、ドウゾ其ノ御積リデ御出席ヲ願ヒマス

午後六時十五分散會